

Y a m e

八女市内遺跡群 1 6

福岡県八女市酒井田・柳瀬所在遺跡の発掘調査報告書

八女市文化財調査報告書 第124集

2019

八女市教育委員会

Y a m e

八女市内遺跡群 1 6

福岡県八女市酒井田・柳瀬所在遺跡の発掘調査報告書

八女市文化財調査報告書 第124集

2019

八女市教育委員会

序

合併前の八女市において実施された、八女市南部地区県営圃場整備事業に伴う発掘調査では、多数の遺跡がその存在を知られるに至りました。これらの遺跡の保存とその周知については、今後八女市が取り組まなければならない重要な課題となっています。

今回、未報告となっていた平成4・5年度に実施された八女南部第2地区県営圃場整備事業に伴い、酒井田、柳瀬地区で実施された発掘調査についての報告書を刊行することになりました。酒井田地区の国伏遺跡では、カマドを設けた竪穴住居が半数以上を占め、また^{ふいご}輪の羽口の出土もありました。柳瀬の松ノ本遺跡ではまとまった規模の甕棺墓列の検出がありました。

最後に、発掘調査や報告書作成にあたりご協力いただきました関係各位、地元の皆様、ご指導・ご助言にいただきました方々に感謝の意を申し上げます。また今後とも文化財行政にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成29年3月31日

例言

- ・本書は八女市南部第2地区県営圃場整備事業にともなうともなう八女市酒井田国伏、および柳瀬松ノ本に所在する国伏遺跡・松ノ本遺跡の発掘調査報告書である。
- ・発掘調査は八女市教育委員会が実施し、出土遺物は八女市文化財整理室で整理を行い、本書に関する調査記録、及び出土遺物は八女市教育委員会で保管・収蔵している。
- ・本書使用の方位については、すべて座標北を基準としている。
- ・本書の執筆、及び編集は永田が行った。
- ・土層図に土色の示されていないものは、土色の記録がなされていないものである。

本文目次

1 はじめに	1
(1)調査に至る経緯	1
(2)調査体制	1
2 遺跡の立地と環境	3
3 発掘調査の概要	3
(1)国伏遺跡の調査	3
(2)松ノ本遺跡の調査	21
ア A地点の調査	21
イ B地点の調査	28
ウ C地点の調査	47
エ D地点の調査	49
オ E地点の調査	49
4 総括	53

挿図目次

第 1 図 国伏遺跡・松ノ本遺跡 位置図[1/125,000].....	3
第 2 図 国伏遺跡・松ノ本遺跡 周辺遺跡図[1/25,000]	4
第 3 図 国伏遺跡・松ノ本遺跡および周辺遺跡 調査範囲図[1/3,000]	5
第 4 図 国伏遺跡 遺構配置図[1/500]	6
第 5 図 国伏遺跡 1号竪穴住居(SB01)実測図[1/40]	7
第 6 図 国伏遺跡 2号竪穴住居(SB02)実測図[1/40]	7
第 7 図 国伏遺跡 3号竪穴住居(SB03)実測図[1/40]	8
第 8 図 国伏遺跡 4号竪穴住居(SB04)実測図[1/40]	8
第 9 図 国伏遺跡 1・2・3・4号竪穴住居(SB01・02・03・04)出土遺物実測図[1/4]	9
第 10 図 国伏遺跡 5号竪穴住居(SB05)実測図[1/40]	9
第 11 図 国伏遺跡 5号竪穴住居(SB05)出土遺物実測図[1/4]	10
第 12 図 国伏遺跡 6号竪穴住居(SB06)実測図[1/40]	10
第 13 図 国伏遺跡 6号竪穴住居(SB06)出土遺物実測図[1/4]	11
第 14 図 国伏遺跡 7号竪穴住居(SB07)実測図[1/40]	11
第 15 図 国伏遺跡 8号竪穴住居(SB08)実測図[1/40]	12
第 16 図 国伏遺跡 9号竪穴住居(SB09)実測図[1/40]	12
第 17 図 国伏遺跡 10号竪穴住居(SB10)実測図[1/40]	13
第 18 図 国伏遺跡 7・8・10号竪穴住居(SB07・08・10)出土遺物実測図[1/4]	13
第 19 図 国伏遺跡 11号竪穴住居(SB11)実測図[1/40]	14
第 20 図 国伏遺跡 12・13号竪穴住居(SB12・13)実測図[1/60]	15
第 21 図 国伏遺跡 11・13号竪穴住居(SB11・13)出土遺物実測図[1/4]	16
第 22 図 国伏遺跡 1号土坑(SK01)実測図[1/40]	16
第 23 図 国伏遺跡 1号土坑(SK01)出土遺物実測図[1/4]	16
第 24 図 国伏遺跡 1号溝状遺構(SD01)出土遺物実測図[1/4]	17
第 25 図 国伏遺跡 1号溝状遺構(SD01)出土遺物実測図[1/4]	17
第 26 図 国伏遺跡 1号不明遺構(SX01)実測図[1/40]	17
第 27 図 国伏遺跡 2号不明遺構(SX02)実測図[1/40]	18
第 28 図 国伏遺跡 2号不明遺構(SX02)出土遺物実測図[1/4]	19
第 30 図 国伏遺跡 表採遺物実測図[1/4]	19
第 29 図 国伏遺跡 ピット出土遺物実測図[1/4]	19
第 31 図 松ノ本遺跡A地点 遺構配置図[1/500]	20
第 32 図 松ノ本遺跡A地点 1号竪穴住居(SB01)実測図[1/40]	21
第 33 図 松ノ本遺跡A地点 1号竪穴住居(SB01)出土遺物実測図[1/4]	22
第 34 図 松ノ本遺跡A地点 1号竪穴住居(SB01)カマド内出土遺物実測図[1/4]	22
第 35 図 松ノ本遺跡A地点 2号竪穴住居(SB02)実測図[1/40]	23
第 36 図 松ノ本遺跡A地点 3号竪穴住居(SB03)、4号土坑(SK04)実測図[1/40]	24

第 37 図	松ノ本遺跡A地点 2・3号竪穴住居(SB02・03)出土遺物実測図〔1/4〕	25
第 38 図	松ノ本遺跡A地点 2号竪穴住居(SB02)出土遺物実測図〔1/4〕	25
第 39 図	松ノ本遺跡A地点 1～3号土坑(SK01～03)実測図〔1/40〕	26
第 40 図	松ノ本遺跡A地点 4・6・7・8・10号溝状遺構(SD04・06・07・08・10)実測図〔1/60〕	27
第 41 図	松ノ本遺跡A地点 1号土坑(SK01)、3・9・10号溝状遺構(SD03・09・10) 出土遺物実測図〔1/4〕	27
第 42 図	松ノ本遺跡A地点11号溝状遺構(SD11)出土遺物実測図〔1/4〕	28
第 43 図	松ノ本遺跡A地点 1・11号溝状遺構(SD01・11)、1号不明遺構(SX01)出土遺物 (石製品)実測図〔1/3〕	28
第 44 図	松ノ本遺跡A地点 1・2号不明遺構(SX01・02)、表採遺物実測図〔1/4〕	28
第 45 図	松ノ本遺跡B地点遺構配置図〔1/500〕	29
第 46 図	松ノ本遺跡B地点 3号竪穴住居(SB03)出土遺物実測図〔1/4〕	30
第 47 図	松ノ本遺跡B地点 3号竪穴住居(SB03)出土遺物実測図〔1/4〕	30
第 48 図	松ノ本遺跡B地点 1～8号甕棺実測図〔1/40〕	31
第 49 図	松ノ本遺跡B地点 1号甕棺実測図〔1/8〕	32
第 50 図	松ノ本遺跡B地点 2号甕棺出土遺物実測図〔1/4〕	32
第 51 図	松ノ本遺跡B地点 2号甕棺出土遺物実測図〔1/4〕	32
第 52 図	松ノ本遺跡B地点 3号甕棺実測図〔1/8〕	33
第 53 図	松ノ本遺跡B地点 4号甕棺実測図〔1/8〕	33
第 54 図	松ノ本遺跡B地点 4号甕棺実測図〔1/8〕	33
第 55 図	松ノ本遺跡B地点 5号甕棺実測図〔1/8〕	34
第 56 図	松ノ本遺跡B地点 6号甕棺実測図〔1/8〕	35
第 57 図	松ノ本遺跡B地点 8号甕棺実測図〔1/8〕	35
第 58 図	松ノ本遺跡B地点 9・14号甕棺実測図〔1/40〕	36
第 59 図	松ノ本遺跡B地点 9号甕棺実測図〔1/8〕	37
第 60 図	松ノ本遺跡B地点 10号甕棺実測図〔1/8〕	38
第 61 図	松ノ本遺跡B地点 11号甕棺実測図〔1/8〕	38
第 62 図	松ノ本遺跡B地点 12号甕棺実測図〔1/8〕	38
第 63 図	松ノ本遺跡B地点 13号甕棺実測図〔1/8〕	38
第 64 図	松ノ本遺跡B地点 13号甕棺出土遺物実測図〔1/4〕	38
第 65 図	松ノ本遺跡B地点 1～4号土坑(SK01～04)、18～22・25・26号土坑墓実測図 〔1/40〕	39
第 66 図	松ノ本遺跡B地点 1・4・10号土坑(SK01・04・10)、1・3・5・10・13・17号溝状遺構 (SD01・03・05・10・13・17)出土遺物実測図〔1/4〕	40
第 67 図	松ノ本遺跡B地点 13・16号土坑(SK13・16) 1・3・4・7～13・15・17・24・32号 土坑墓実測図〔1/40〕	41
第 68 図	松ノ本遺跡B地点 28号土坑墓・3号不明遺構(SX03)実測図〔1/40〕	42

第 69 図 松ノ本遺跡B地点 30号土坑墓・8号溝状遺構(SD08)・2号不明遺構(SX-02) 実測図〔1/40〕	42
第 70 図 松ノ本遺跡B地点 33～51,53,54号土坑墓実測図〔1/40〕	43
第 72 図 松ノ本遺跡B地点 3・7・8・10・15～18号溝状遺構(SD03・07・08・10・15～18) 土層図〔1/60〕	44
第 71 図 松ノ本遺跡B地点 31号土坑墓出土遺物実測図〔1/4〕	44
第 73 図 松ノ本遺跡B地点 1号不明遺構(SX01)実測図〔1/40〕	44
第 74 図 松ノ本遺跡B地点 ピット出土遺物実測図〔1/4〕	45
第 75 図 松ノ本遺跡B地点 1～8号トレンチ土層図〔1/60〕v	46
第 76 図 松ノ本遺跡B地点 トレンチ内出土遺物実測図〔1/4〕	47
第 77 図 松ノ本遺跡C地点 遺構配置図〔1/200〕	48
第 78 図 松ノ本遺跡C地点 1号土坑(SK01)実測図〔1/40〕	49
第 79 図 松ノ本遺跡C地点 2号土坑(SK02)実測図〔1/40〕	49
第 80 図 松ノ本遺跡C地点 1～3号溝状遺構(SD01～03)土層図〔1/60〕	49
第 81 図 松ノ本遺跡C地点 1号土坑(SK01)、3号溝状遺構(SD03)ほか出土遺物 実測図〔1/4〕	50
第 82 図 松ノ本遺跡C地点 3号溝状遺構(SD03)出土遺物実測図〔1/3〕	50
第 83 図 松ノ本遺跡D・E地点 遺構配置図〔1/400〕	50
第 84 図 松ノ本遺跡D地点 1号土坑(SK01)実測図〔1/40〕	51
第 85 図 松ノ本遺跡E地点 1号土坑(SK01)実測図〔1/40〕	51
第 86 図 松ノ本遺跡E地点 1・52号土坑(SK01・52)、1・3・13・14号溝状遺構 (SD01・3・13・14)出土遺物実測図〔1/4〕	51
第 87 図 松ノ本遺跡E地点 15～54号土坑(SK15～54)実測図〔1/60〕	52

表目次

遺物観察表	54
-------	----

図版目次

図版 1 国伏遺跡 1	64
1.国伏遺跡 全景(西から)	
2.国伏遺跡 1 号竪穴住居(SB01)(西から)	
3.国伏遺跡 3 号竪穴住居(SB03)(南から)	
4.国伏遺跡 4 号竪穴住居(SB04)(南西から)	
5.国伏遺跡 5 号竪穴住居(SB05)(西から)	
6.国伏遺跡 6 号竪穴住居(SB06)(南から)	
7.国伏遺跡 7・8 号竪穴住居(SB07・08)(東から)	
8.国伏遺跡 7 号竪穴住居(SB07)カマド(南西から)	
図版 2 国伏遺跡 2	65
1.国伏遺跡 8 号竪穴住居(SB08)(東から)	
2.国伏遺跡 9 号竪穴住居(SB09)(南から)	
3.国伏遺跡 10号竪穴住居(SB10)(東から)	
4.国伏遺跡 11号竪穴住居(SB11)(西から)	
5.国伏遺跡 12号竪穴住居(SB12)(北から)	
6.国伏遺跡 13号竪穴住居(SB13)(西から)	
7.国伏遺跡 1 号土坑(SK01)(東から)	
8.国伏遺跡 1 号溝状遺構(SD01)(西から)	
図版 3 松ノ本遺跡 1	66
1.松ノ本遺跡 調査前(東から)	
2.松ノ本遺跡A地点 全景(南西から)	
3.松ノ本遺跡A地点 全景	
4.松ノ本遺跡A地点 1 号竪穴住居(SB01)(南東から)	
5.松ノ本遺跡A地点 1 号竪穴住居(SB01)(カマド)(南から)	
6.松ノ本遺跡A地点 1 号竪穴住居(SB01)(南から)	
7.松ノ本遺跡A地点 3 号竪穴住居(SB03)(南東から)	
8.松ノ本遺跡A地点 3 号竪穴住居(SB03)カマド(南東から)	
図版 4 松ノ本遺跡 2	67
1.松ノ本遺跡A地点 1 号土坑(SK01)(南東から)	
2.松ノ本遺跡A地点 4 号土坑(SK04)(北から)	
3.松ノ本遺跡A地点 4 号溝状遺構(SD04)(北西から)	
4.松ノ本遺跡A地点 6 号溝状遺構(SD06)(西から)	
5.松ノ本遺跡A地点 7 号溝状遺構(SD07)(南西から)	
6.松ノ本遺跡A地点 8 号溝状遺構(SD08)(北から)	
7.松ノ本遺跡A地点 9 号溝状遺構(SD09)(南西から)	
8.松ノ本遺跡A地点 10号溝状遺構(SD10)(南西から)	

図版 5 松ノ本遺跡 3	68
1. 松ノ本遺跡A地点 1号不明遺構(SX01西側)(南東から)	
2. 松ノ本遺跡A地点 1号不明遺構(SX01中央付近)(南西から)	
3. 松ノ本遺跡A地点 1号不明遺構(SX01)東側(南から)	
4. 松ノ本遺跡B地点 全景(西から)	
5. 松ノ本遺跡B地点 全景(南から)	
6. 松ノ本遺跡B地点 1号甕棺(南から)	
7. 松ノ本遺跡B地点 1号甕棺(北西から)	
8. 松ノ本遺跡B地点 1号甕棺(南東から)	
図版 6 松ノ本遺跡 4	69
1. 松ノ本遺跡B地点 2号甕棺(北西から)	
2. 松ノ本遺跡B地点 2号甕棺(北西から)	
3. 松ノ本遺跡B地点 3号甕棺(南西から)	
4. 松ノ本遺跡B地点 5号甕棺(北西から)	
5. 松ノ本遺跡B地点 6号甕棺(南西から)	
6. 松ノ本遺跡B地点 8号甕棺(南東から)	
7. 松ノ本遺跡B地点 9号甕棺(南東から)	
8. 松ノ本遺跡B地点 10号甕棺(西から)	
図版 7 松ノ本遺跡 5	70
1. 松ノ本遺跡B地点 11号甕棺(北西から)	
2. 松ノ本遺跡B地点 13号甕棺(南西から)	
3. 松ノ本遺跡B地点 2号土坑墓(北西から)	
4. 松ノ本遺跡B地点 7号土坑墓(南東から)	
5. 松ノ本遺跡B地点 8号土坑墓(南西から)	
6. 松ノ本遺跡B地点 8号土坑墓(南東から)	
7. 松ノ本遺跡B地点 9号土坑墓(南東から)	
8. 松ノ本遺跡B地点 13号土坑墓	
図版 8 松ノ本遺跡 6	71
1. 松ノ本遺跡B地点 18号土坑墓(SK06)	
2. 松ノ本遺跡B地点 19号土坑墓(SK09)(東から)	
3. 松ノ本遺跡B地点 20号土坑墓(SK07)	
4. 松ノ本遺跡B地点 22号土坑墓(南から)	
5. 松ノ本遺跡B地点 23号土坑墓(北西から)	
6. 松ノ本遺跡B地点 24号土坑墓(北西から)	
7. 松ノ本遺跡B地点 25号土坑墓(南西から)	
8. 松ノ本遺跡B地点 26号土坑墓(南東から)	

図版9 松ノ本遺跡7	72
1.松ノ本遺跡B地点 30号土坑墓(SK29)(北西から)	
2.松ノ本遺跡B地点 31号土坑墓(南西から)	
3.松ノ本遺跡B地点 32号土坑墓(南西から)	
4.松ノ本遺跡B地点 32号土坑墓(北西から)	
5.松ノ本遺跡B地点 33号土坑墓(南東から)	
6.松ノ本遺跡B地点 34号土坑墓(北西から)	
7.松ノ本遺跡B地点 35号土坑墓(南東から)	
8.松ノ本遺跡B地点 36号土坑墓(北西から)	
図版10 松ノ本遺跡8	73
1.松ノ本遺跡B地点 37号土坑墓(北西から)	
2.松ノ本遺跡B地点 39号土坑墓(北西から)	
3.松ノ本遺跡B地点 41号土坑墓(南西から)	
4.松ノ本遺跡B地点 41号土坑墓(北西から)	
5.松ノ本遺跡B地点 42号土坑墓(南西から)	
6.松ノ本遺跡B地点 42号土坑墓(南東から)	
7.松ノ本遺跡B地点 43号土坑墓(南東から)	
8.松ノ本遺跡B地点 44号土坑墓(西から)	
図版11 松ノ本遺跡9	74
1.松ノ本遺跡B地点 45号土坑墓(南西から)	
2.松ノ本遺跡B地点 45号土坑墓(南東から)	
3.松ノ本遺跡B地点 46号土坑墓(北西から)	
4.松ノ本遺跡B地点 46号土坑墓(北西から)	
5.松ノ本遺跡B地点 47号土坑墓(南西から)	
6.松ノ本遺跡B地点 47号土坑墓(南東から)	
7.松ノ本遺跡B地点 48号土坑墓(東から)	
8.松ノ本遺跡B地点 48号土坑墓(南東から)	
図版12 松ノ本遺跡10	75
1.松ノ本遺跡B地点 50号土坑墓	
2.松ノ本遺跡B地点 51号土坑墓(東から)	
3.松ノ本遺跡B地点 1号土坑(SK01)(南西から)	
4.松ノ本遺跡B地点 1号土坑(SK01)(北東から)	
5.松ノ本遺跡B地点 2号土坑(SK02)(東から)	
6.松ノ本遺跡B地点 2号土坑(SK02)(北東から)	
7.松ノ本遺跡B地点 4号土坑(SK04)	
8.松ノ本遺跡B地点 5号土坑(SK05)	

図版13 松ノ本遺跡11	76
1.松ノ本遺跡B地点 16号土坑(SK16)(北西から)	
2.松ノ本遺跡B地点 1号溝状遺構(SD01)(南から)	
3.松ノ本遺跡B地点 2号溝状遺構(SD02)	
4.松ノ本遺跡B地点 5号溝状遺構(SD05)(北西から)	
5.松ノ本遺跡B地点 8号溝状遺構(SD08)(南西から)	
6.松ノ本遺跡B地点 15号溝状遺構(SD15)(北西から)	
7.松ノ本遺跡B地点 1号不明遺構(SX01)(南西から)	
8.松ノ本遺跡B地点 3号不明遺構(SX03)	
図版14 松ノ本遺跡12	77
1.松ノ本遺跡B地点 3号不明遺構(SX03)(北西から)	
2.松ノ本遺跡C地点 3号溝状遺構(SD03)	
3.松ノ本遺跡D地点 全景(南東から)	
4.松ノ本遺跡D地点 全景(南から)	
5.松ノ本遺跡D地点 1号土坑(SK01)	
6.松ノ本遺跡D地点 1号土坑(SK01)(西から)	
7.松ノ本遺跡D地点 2号溝状遺構(SD02)	
8.松ノ本遺跡D地点 5号溝状遺構(SD05)	
図版15 松ノ本遺跡13	78
1.松ノ本遺跡D地点 10号溝状遺構(SD10)(南西から)	
2.松ノ本遺跡E地点 全景	
3.松ノ本遺跡E地点 波板状遺構(南から)	
4.松ノ本遺跡E地点 波板状遺構(北から)	
5.松ノ本遺跡E地点 1号溝状遺構(SD01)	
6.松ノ本遺跡E地点 1・3・9・10号溝状遺構(SD1・3・9・10)(南西から)	
7.松ノ本遺跡E地点 11号溝状遺構(SD11)(南から)	
8.松ノ本遺跡E地点 12・13号溝状遺構(SD12・13)(南東から)	
図版16 国伏遺跡 出土遺物 1	79
1.国伏遺跡 9図4	
2.国伏遺跡 11図1	
3.国伏遺跡 11図2	
4.国伏遺跡 13図1	
5.国伏遺跡 13図2	
6.国伏遺跡 13図6	
7.国伏遺跡 18図1	
8.国伏遺跡 18図2	
9.国伏遺跡 18図5	

10.国伏遺跡	18図6	
11.国伏遺跡遺跡	18図10	
12.国伏遺跡	18図11	
図版17 国伏遺跡 出土遺物 2		80
1.国伏遺跡	21図2	
2.国伏遺跡	21図3	
3.国伏遺跡	21図4	
4.国伏遺跡	21図5	
5.国伏遺跡	23図2	
6.国伏遺跡	24図4	
7.国伏遺跡	24図6	
8.国伏遺跡	24図7	
9.国伏遺跡	24図8	
10.国伏遺跡	24図9	
11.国伏遺跡	24図13	
12.国伏遺跡	24図15	
図版18 国伏遺跡 出土遺物 3		81
1.国伏遺跡	25図16	
2.国伏遺跡	25図18	
3.国伏遺跡	25図19	
4.国伏遺跡	25図21	
5.国伏遺跡	25図27	
6.国伏遺跡	28図1	
7.国伏遺跡	28図2	
8.国伏遺跡	30図2	
9.国伏遺跡	33図13	
図版19 松ノ本遺跡 出土遺物 1		82
1.松ノ本遺跡	9図1	
2.松ノ本遺跡	9図7	
3.松ノ本遺跡	33図3	
4.松ノ本遺跡	33図5	
5.松ノ本遺跡	33図11	
6.松ノ本遺跡	34図1	
7.松ノ本遺跡	34図3	
8.松ノ本遺跡	34図4	

図版20 松ノ本遺跡 出土遺物 2	83
1.松ノ本遺跡 37図 2	
2.松ノ本遺跡 37図 4	
3.松ノ本遺跡 37図 14	
4.松ノ本遺跡 41図 3	
5.松ノ本遺跡 41図 11	
6.松ノ本遺跡 42図 2	
7.松ノ本遺跡 42図 4	
8.松ノ本遺跡 43図 2	
9.松ノ本遺跡 43図 3	
10.松ノ本遺跡 44図 1	
図版21 松ノ本遺跡 出土遺物 3	84
1.松ノ本遺跡 44図 3	
2.松ノ本遺跡 46図	
3.松ノ本遺跡 47図 4	
4.松ノ本遺跡 47図 5	
5.松ノ本遺跡 3号甕棺 上:上甕 下:下甕	
図版22 松ノ本遺跡 出土遺物 4	85
1.松ノ本遺跡 2号甕棺	
2.松ノ本遺跡 2号甕棺墓出土遺物	
3.松ノ本遺跡 3号甕棺 上甕	
4.松ノ本遺跡 4号甕棺 上甕	
図版23 松ノ本遺跡 出土遺物 5	86
1.松ノ本遺跡 5号甕棺 下甕	
2.松ノ本遺跡 6号甕棺 下甕	
3.松ノ本遺跡 8号甕棺 下甕	
図版24 松ノ本遺跡 出土遺物 6	87
1.松ノ本遺跡 9号甕棺 上:上甕 下:下甕	
2.松ノ本遺跡 10号甕棺 上:上甕 下:下甕	
図版25 松ノ本遺跡 出土遺物 6	88
1.松ノ本遺跡 11号甕棺	
2.松ノ本遺跡 12号甕棺	
3.松ノ本遺跡 13号甕棺	
4.松ノ本遺跡 66図 1	
5.松ノ本遺跡 66図 5	
6.松ノ本遺跡 66図 10	
7.松ノ本遺跡 71図	

図版26 松ノ本遺跡 出土遺物 6 89

1. 松ノ本遺跡 74図2

2. 松ノ本遺跡 74図6

3. 松ノ本遺跡 76図3

4. 松ノ本遺跡 76図9

5. 松ノ本遺跡 76図10

6. 松ノ本遺跡 81図3

7. 松ノ本遺跡 81図4

図版27 松ノ本遺跡 出土遺物 6 90

1. 松ノ本遺跡 81図5

2. 松ノ本遺跡 82図1

3. 松ノ本遺跡 87図4

4. 松ノ本遺跡 87図6

5. 松ノ本遺跡 87図12

1 はじめに

(1)調査に至る経緯

昭和57年度を初年度として行われた八女市南部地区県営圃場整備事業では、農地約209haを対象に、毎年20ha程度の圃場整備事業が実施された。平成元年度には国武、緒玉地区が事業地となり、事業地内の一部で埋蔵文化財の包蔵が推測され、これを受けて八女市教育委員会と八女市南部土地改良区で協議が行われ、八女市教育委員会による事前調査により、遺跡の範囲が広大に及ぶことが判明した。そこで、圃場整備により削平を免れる箇所については遺跡保護の観点から現状保存とし、削平される約20,000㎡を対象に遺跡の記録保存を目的に発掘調査が行われた。平成3年度に実施された八女市南部第2地区県営圃場整備事業でも、矢部川によって形成された沖積平野の右岸地区が中心となる多くの地区を対象範囲とし、原ノ前遺跡（新庄）、京田、二反田、宮ノ前遺跡（酒井田）、宿町、野田、水洗遺跡（緒玉）、柿園、御輿休で調査が行われた。それにひきつづき今年度報告書を刊行する国伏遺跡、アモメ遺跡（酒井田）、松ノ本遺跡（柳瀬）についての調査が行われた。なお、発掘調査については国庫補助事業として実施されている。

(2)調査体制

【平成4年度】（国伏遺跡調査時）

八女市教育委員会

教育長	坂 田 不二夫
教育部長	松 延 繁 太（平成5年2月まで）
社会教育課長	山 口 龍 一
社会教育課長補佐兼文化財係長	中 村 武 紀
文化財係	赤 崎 敏 夫 大 塚 恵 治
囑託	中 川 寿賀子（調査担当）

八女南部第2地区土地改良区

理事長	近 藤 義 竹
理事長職務代理者	松 崎 勝 美（平成5年3月より）
事務局長	片 岡 孝 行
事務局員	秋 山 由 美

【平成5年度】（松ノ本遺跡調査時）

八女市教育委員会

教育長	坂 田 不二夫
教育部長	渡 辺 勲
社会教育課長	山 口 龍 一
社会教育課長補佐兼文化財係長	中 村 武 紀
文化財係	赤 崎 敏 夫 大 塚 恵 治

囑託 中 川 寿賀子(調査担当)

八女南部第2地区土地改良区

理事長職務代理者 松 崎 勝 美

事務局長 片 岡 孝 行

事務局員 秋 山 由 美

福岡県筑後川水系農地開発事務所

工事一課

[県営かんがい排水路事業]

第一係長 黒 屋 孝

係員 永 岡 義 規 富 田 陽 一 中 島 正 美

[八女南部地区県営圃場整備事業第2地区]

第二係長 田 川 澄 生

係員 久保田 巖 渡 辺 潔 宇 津 正 司

【平成29年度】(整理作業・報告書作成・刊行時)

八女市教育委員会

教育長 西 島 民 生

教育次長 永 溝 弘 幸

文化振興課長 持 丸 末 喜

文化財保護係長 中 川 寿賀子

同 主任 永 田 寧 (整理・報告書担当)

同 係員 檀 佳 克

同 係員 渡 部 真 弓

同 係員 甲 斐 郁

同 囑託 多 賀 晴 司

【平成30年度】(整理作業・報告書作成・刊行時)

八女市教育委員会

教育長 橋 本 吉 史

教育部長 永 溝 弘 幸

文化振興課長 持 丸 末 喜

文化係係長 中 川 寿賀子

同 主任 永 田 寧 (整理・報告書担当)

同 係員 檀 佳 克

同 係員 馬 渡 洋 平

同 係員 甲 斐 郁

同 囑託 多 賀 晴 司

2 遺跡の立地と環境

八女市南部地区県営圃場整備事業の実施地区は、旧八女市市街地の南部にあり、その南部を流れる矢部川によって形成された肥沃な沖積平野が一面にわたって広がっている。平野は、東側から西側に向かって緩やかに高さを減じているが、ほぼ平坦地であり大半が水田や畑地として利用されている。

平成4年度八女南部第二地区県営圃場整備事業は八女市柳瀬地区に所在する国伏遺跡、平成5年度には酒井田地区に所在する松ノ本遺跡の調査が行われた。

柳瀬地区は、旧八女市域の最も南に位置しており、国伏遺跡は、三河小学校より南東130mの所に位置しており、小学校から西へ100mの所には、前年度調査の京田遺跡など、弥生時代から歴史時代までの遺跡群が広がっている。

酒井田地区に所在する松ノ本遺跡は、南側を流れる矢部川の氾濫によって形成された自然堤防上に位置し、自然堤防上にも幾度となくくり返された厚い砂の堆積が観られる。

南側に隣接して縄文時代後期の集落であるアモメ遺跡が発見され、自然堤防上やその周辺に縄文時代後期から人が住み始めた形跡が見られる。弥生時代の集落としては宿町遺跡、二反田遺跡、宮ノ前遺跡がある。



第1図 国伏遺跡・松ノ本遺跡 位置図 [1/125,000]

3 発掘調査の概要

(1) 国伏遺跡の調査

国伏遺跡は、矢部川右岸の、酒井田集落のある微高地から150mほど南東側に位置し、現地における調査は平成4年8月10日から平成4年10月2日にかけて行われた。調査面積は約2,300㎡である。

遺構と遺物

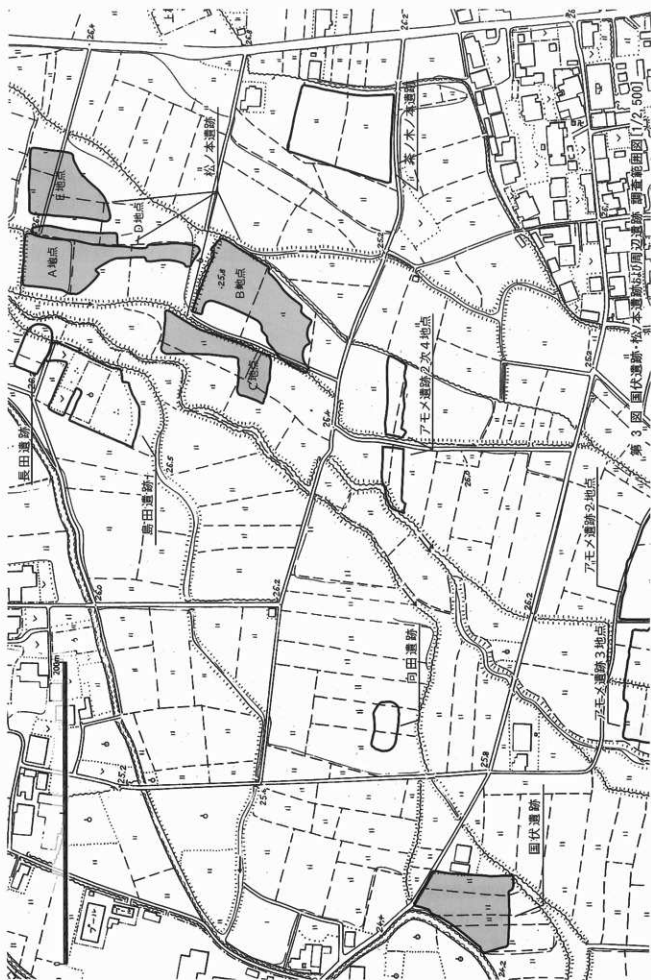
竪穴住居は調査時の図面によると13号まで付番されている。10号竪穴住居は2基の竪穴住居が切り合っているものと考え、少なくとも14基の竪穴住居が調査区内で検出されている。調査区中央よりやや南を東西に横切る1号溝状遺構SD01によって、1～5号竪穴住居と6～13号竪穴住居のグループに分かれているようである。いずれの竪穴住居も柱

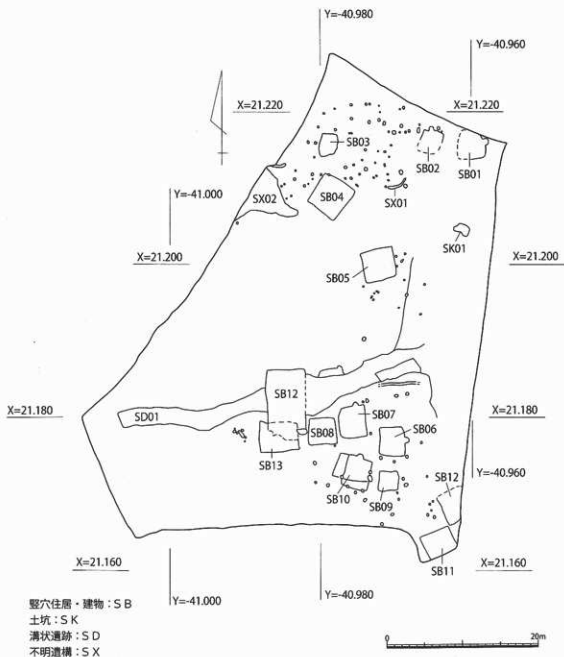


※ 国土地理院の電子地図 25000『八女』の一部を切り取って掲載

- | | | | |
|-------------|-----------|--------------|-------------|
| 1. 松ノ本遺跡 | 2. 国伏遺跡 | 3. 前古賀・五反田遺跡 | 4. 新庄・六反田遺跡 |
| 5. 宮ノ后遺跡 | 6. ヒヤケ遺跡 | 7. 中里遺跡 | 8. 深田遺跡 |
| 9. 京田遺跡 | 10. 野田遺跡 | 11. 二反田遺跡 | 12. 宿町遺跡 |
| 13. 立野・大坪遺跡 | 14. 樋の口遺跡 | 15. 川原遺跡 | 16. 川犬古墳群 |
| 17. 西山ノ上遺跡 | 18. 亀ノ甲遺跡 | 19. アモメ遺跡 | |

第 2 図 国伏遺跡・松ノ本遺跡 周辺遺跡図[1/25, 000]





第4図 国伏遺跡 遺構配置図[1/500]

穴を検出できていない。9基の竪穴住居でカマド跡が検出されており、いずれも住居壁を切り込む。4基は北側壁、5基が東側壁に設置される。また2・7・9号竪穴住居のカマドは壁に向かって左右どちらかに偏った場所に設けられている。11号のカマドは東側コーナーに設置されている可能性もあるが、焼土しか記録されていないため不明である。

1号溝状遺構が調査区を東西に横切り、それに沿う配置で7・8・13号竪穴住居が検出されており、南北の集落の間に何らかの区画が設定されている可能性も考えられるが、調査時の記録のみで判断するのは難しい。

1号竪穴住居(SB01)[第5図 図版1の2]調査区の北東端付近で検出された竪穴住居で、東側壁にカマドを設ける。北側は調査区域境界によって切れ、西側半分も不明瞭である。出土遺物[第9図] 1はツマミを持つ須恵器の坏蓋、2は土師器の鉢で、いずれもカマドの右手前側で出土している。

2号竪穴住居(SB02)[第6図] 1号竪穴住居の東に約2m離れた地点で検出された竪穴住居で、1号竪穴住居と同様、不明瞭であるが、カマドを設けられた北側の壁面の長さは約1.47mを図る。カマドは住居の北側の壁を切り込んで造られている。

出土遺物[第9図] 3は須恵器の坏。

3号竪穴住居(SB03)[第7図 図版1の3]調査区の北西より、4号竪穴住居の北側で検出された竪穴住居で南北方向に長い不整形な隅丸方形のプランを呈する。規模は南北方向に最大約3m、東西方向に約2.4mで、カマドは設けられていないものの北東部の落ち込み付近から甕の把手が出土している。

出土遺物[第9図] 5は高台のある土師器の鉢、6は甕の把手。

4号竪穴住居(SB04)[第8図 図版1の4] 3号竪穴住居の南側で検出された竪穴住居で規

模は短軸4.3m、長軸4.8mである。中央北西寄りに焼土跡が観察できる。遺物も焼土跡付近で出土している。

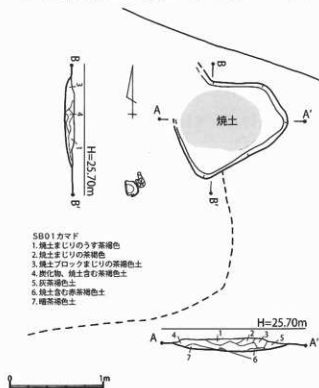
出土遺物[第9図] 4は土師器の甕、7は砥石。

5号竪穴住居(SB05)[第10図 図版1の5] 4号竪穴住居の南東で検出された竪穴住居で、規模は長軸約4.2m、短軸約4.15mでほぼ正方形、東側の壁面中央にカマドが設けられており、図面から遺物はカマドの南側に集中して出土しているようである。

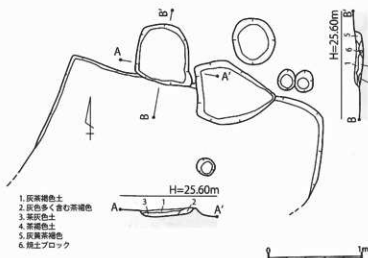
出土遺物[第11図] 1、3・4は須恵器で1は高台のついた坏、4は壺の肩部。2は土師器の鉢の底部。

6号竪穴住居(SB06)[第12図 図版1の6] 1号溝状遺構の南側の竪穴住居のグループの内、溝状遺構に近いところの東端にある竪穴住居で、東側の壁面中央に壁を切り込んだプランでカマドを設ける。規模は長軸(南北方向)約3.8m、短軸(東西方向)約3.4mである。

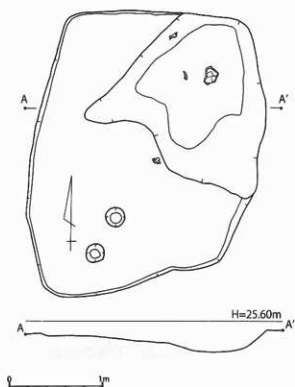
出土遺物[第13図] 4・9はカマド内、2・6・8・10はカマドに向かって右側(南側)で出土しており、他は覆土中で出土している。1~3は土



第5図 国伏遺跡 1号竪穴住居(SB01)実測図[1/40]



第6図 国伏遺跡 2号竪穴住居(SB02)実測図[1/40]

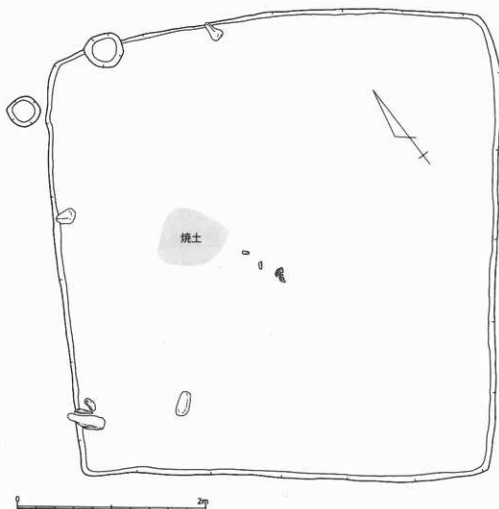


第 7 図 国伏遺跡 3号竪穴住居 (SB03) 実測図 [1/40]

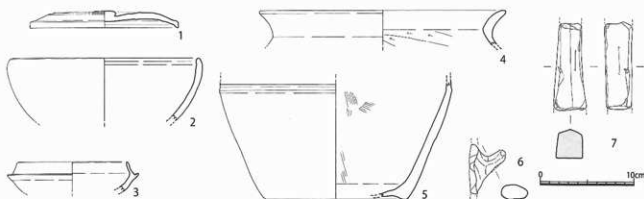
師器の坏、4・6～8は土師器の甕で、10は高坏。5は須恵器の壺の口縁部片、11は格子状のタタキ目のある須恵器。

7号竪穴住居(SB07)[第14図 図版1の7・8] 6号竪穴住居の北西で検出された竪穴住居で、規模は長軸(南北方向)約4.2m、短軸(東西方向)約3.6m。7・8・13号竪穴住居はおおよその方向を合わせて1号溝状遺構に沿って建てられている。竪穴住居北側壁中央から東に約0.5m寄りに壁を切り込みカマドが設けられる。また住居の北東側にも焼土が確認されているが詳細は不明。

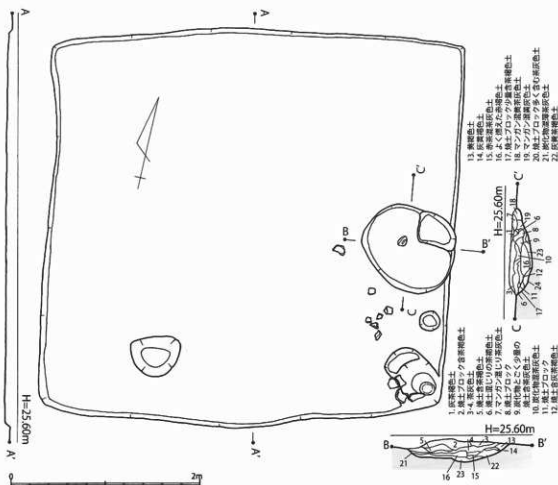
出土遺物[第18図]遺物はいずれもカマド周辺から出土しており、1～3は土師器の坏で、1・2は高台が付く。4は土師器の小型の甕。



第 8 図 国伏遺跡 4号竪穴住居 (SB04) 実測図 [1/40]



第 9 図 国伏遺跡 1・2・3・4号竪穴住居 (SB01・02・03・04) 出土遺物実測図 [1/4]



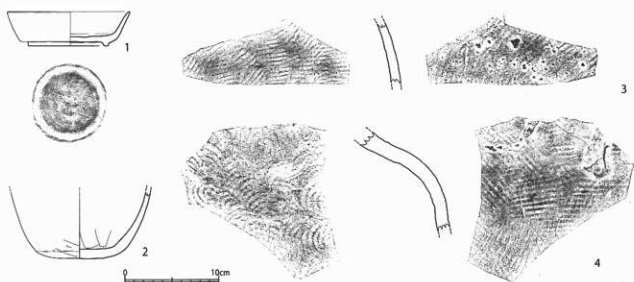
第 10 図 国伏遺跡 5号竪穴住居 (SB05) 実測図 [1/40]

8号竪穴住居(SB08)[第15図 図版1の7 2の1] 7号竪穴住居の南西側に隣接し、規模は長軸(東西方向)3.8m短軸(南北方向)3.4m

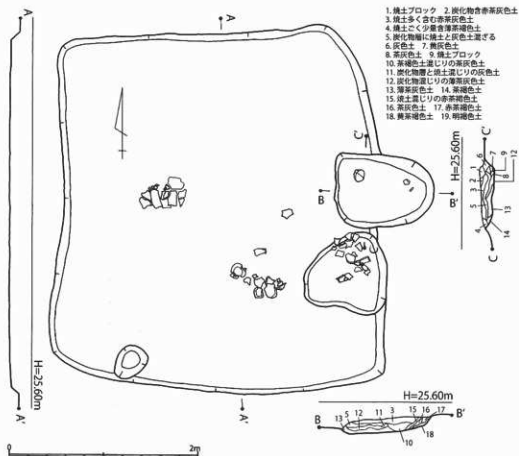
出土遺物[第18図] 5は紡錘車、出土状況は不明。

9号竪穴住居(SB09)[第16図 図版2の2] 6号竪穴住居の南側で検出され、規模は一辺約2.6mの不整形な方形プランで、北側壁東寄りに焼土が確認でき、カマドと考えられるほか、中央北西寄りにも焼土が確認されている。出土遺物は無い。

10号竪穴住居(SB10)[第17図 図版2の3] 7号竪穴住居の南側、9号竪穴住居の西側で検出された竪穴住居で、調査時には1基の竪穴住居とされているが、図面から、検出時に東側

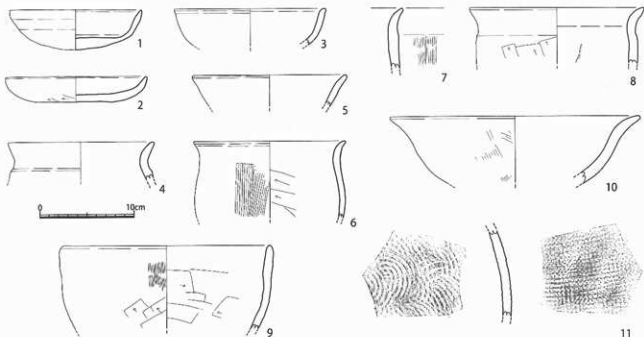


第 11 図 国伏遺跡 5号竪穴住居 (SB05) 出土遺物実測図 [1/4]



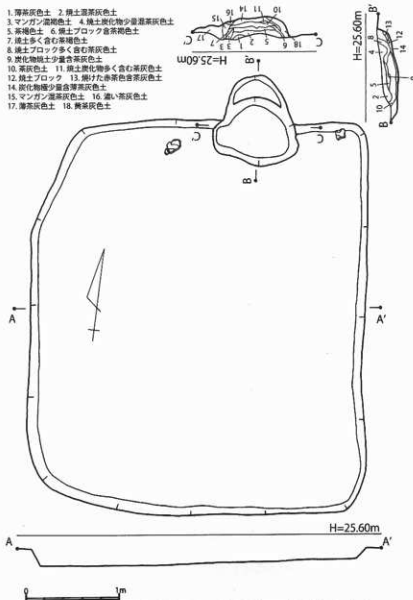
第 12 図 国伏遺跡 6号竪穴住居 (SB06) 実測図 [1/40]

部分との切り合いを確認しベルトを残して掘削しており、おそらく当初東西方向に長い方形プランであった竪穴住居を切った形で南北方向に長いプランの竪穴住居が造られた(あるいは建て替えられた)と推測した。この推測だと、規模が長軸(東西方向)4.6m、短軸3.1m(南北方向)の竪穴住居を長軸3.9m(南北方向)、短軸3.5mの建物が切り、後の竪穴住居の北側中央にカマドが設けられたと考えられるが、北東隅の焼土、東寄りの床面の焼土が前後どちらの竪穴住居に付随するかは不明である。



第 13 図 国伏遺跡 6号竪穴住居 (SB06) 出土遺物実測図 [1/4]

1. 薄茶灰色土 2. 焼土混茶灰色土
3. マンガン混茶灰色土 4. 焼土灰化物少量混茶灰色土
5. 高褐色土 6. 焼土ブロック含む茶褐色土
7. 焼土多く含む茶褐色土
8. 焼土ブロック多く含む茶褐色土
9. 炭化物焼土少量混茶灰色土
10. 茶灰色土 11. 焼土灰化物多く含む茶灰色土
12. 焼土ブロック 13. 焼けた赤茶色茶灰色土
14. 炭化物焼土少量混茶灰色土
15. マンガン混茶灰色土 16. 濃い茶灰色土
17. 薄茶灰色土 18. 焼茶灰色土



第 14 図 国伏遺跡 7号竪穴住居 (SB07) 実測図 [1/40]

出土遺物[第18図] 6は須恵器の蓋坯の蓋、7～12は土師器の甕で、6・7、11・12はカマド周辺で出土している。

11号竪穴住居(SB11)[第19図 図版2の4] 調査区の南東端で検出された竪穴住居で、規模は南側が調査区域境界によって切られており東西方向のみ測ると4.1mの方形プランで、図面には東側壁面にてカマドの記述があるものの詳細は不明。出土遺物[第21図] 1は須恵器の胴部片、出土状況は不明。

12・13号竪穴住居(SB12・13)[第20図 図版2の5・6] 12号竪穴住居は調査区を東西に走る1号溝状遺構を切る形で検出され、規模は長軸(南北方向)9.3m、短

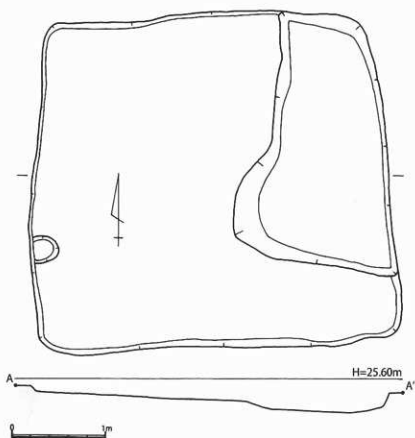
軸(東西方向)4.9mの長大な
 方形プランで、2基以上の住
 居が重複している可能性も考
 慮する必要がある。図面から
 は南側の13号竪穴住居との
 切り合い関係は不明であるこ
 とから、東側壁のカマドがど
 ちらの竪穴住居に付随するも
 のかは分からない。13号竪
 穴住居の規模は長軸(東西方
 向)5.1m、短軸(南北方向)3.7
 mである。

出土遺物[第21図]12号竪穴
 住居からの出土とされる遺物
 は無い。13号竪穴住居出土の
 遺物は2は土師器の坏、3は
 須恵器で高台の付いた坏、4
 は須恵器の高坏の脚部、5は
 砥石。しかし出土箇所が12号
 竪穴住居との境界が不明瞭な
 箇所であり、いずれ
 の住居の出土かは注意を要す
 る。

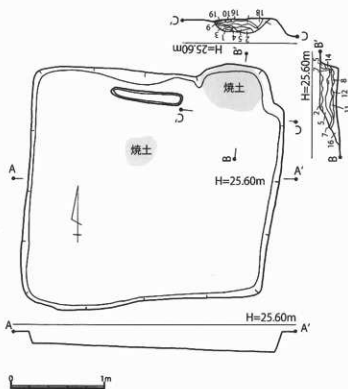
1号土坑(SK01)[第22図 図
 版2の7]5号竪穴住居の東
 側で検出された土坑で、規模
 は長軸(東西方向)約4.1m、短
 軸(南北方向)約2.6mの不定
 形なプランを呈する土坑であ
 る。

出土遺物[第23図]1は弥生
 土器の甕、あるいは壺の底部、
 2は石庖丁で出土状況は記録
 がなく不明。

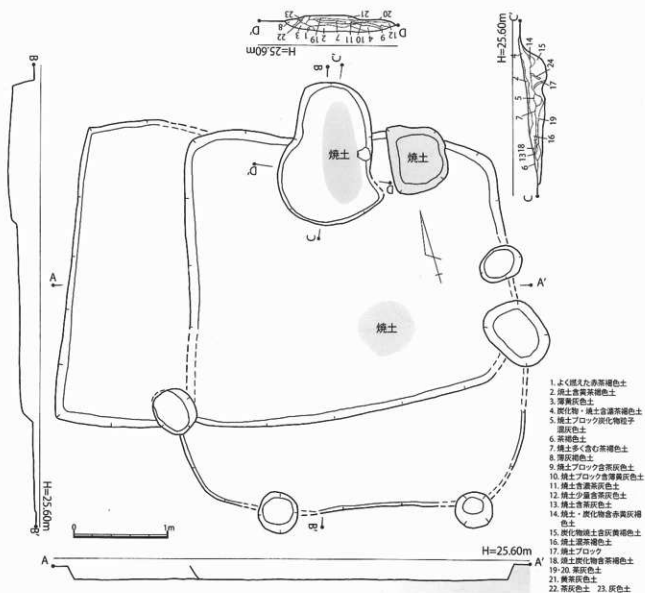
1号溝状遺構(SD01)[第4図
 図版2の8]調査区を東西に
 横切る溝状遺構で、12号竪穴



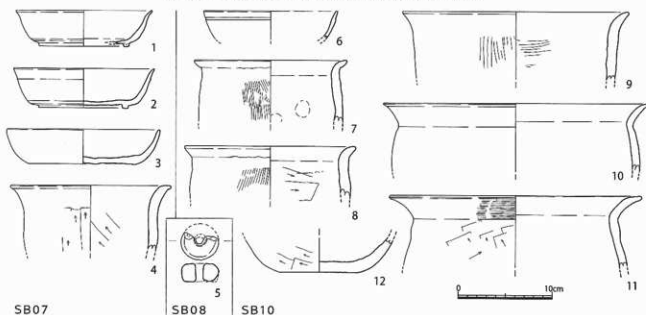
第15図 国伏遺跡 8号竪穴住居(SB08)実測図[1/40]



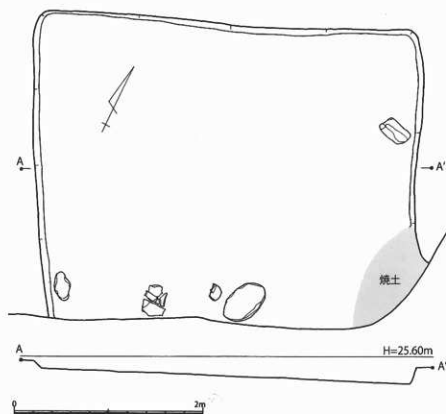
第16図 国伏遺跡 9号竪穴住居(SB09)実測図[1/40]



第 17 図 国伏遺跡 10号竪穴住居(SB10)実測図[1/40]



第 18 図 国伏遺跡 7・8・10号竪穴住居(SB07・08・10)出土遺物実測図[1/4]



第 19 図 国伏遺跡 11号竪穴住居 (SB11) 実測図 [1/40]

号竪穴住居の間にあり、詳細は不明、規模は深さ約0.1m、幅0.3m弱の南側に湾曲した溝状の遺構で、遺物の出土は無い。

2号不明遺構(SX02)[第27図] 4号竪穴住居の西側で検出され、西側の調査区域境界で切られる不定形の遺構である。

出土遺物[第28図]いずれも須恵器で1は坏で、2・4が壺で、2は頸部に絞り込みと閉塞技法がみられる。

その他の遺物

ピット出土遺物[第29図] 1は土師器の坏で、2は土錘。

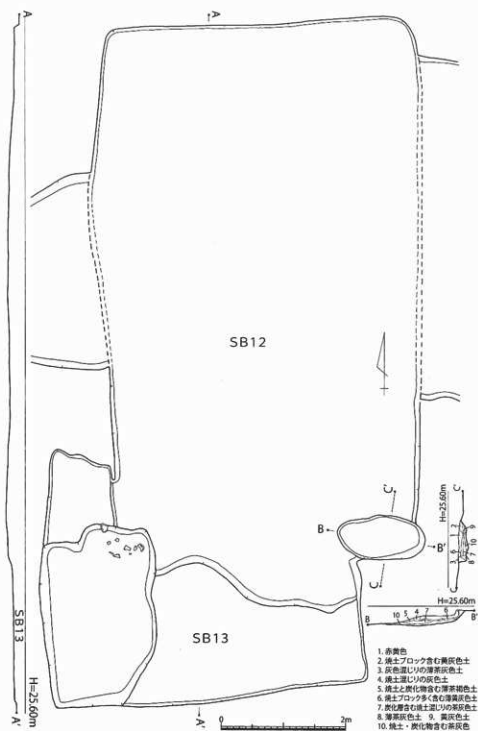
表採遺物[第30図]いずれも須恵器で、2の底部片には植物の葉の圧痕がみられる。

住居に切られる。深さは検出面から平均して約0.2m程度である。溝状遺構から出土する遺物は8号竪穴住居付近に集中しているようである。

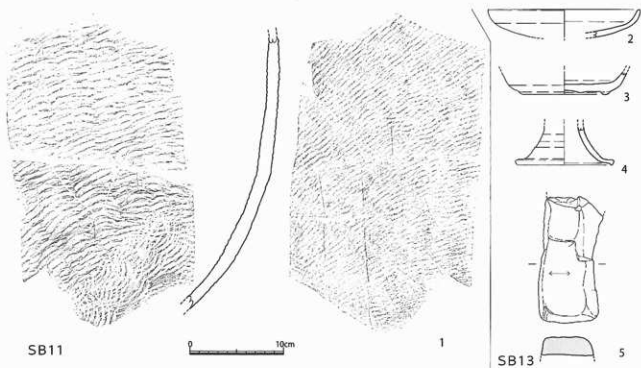
出土遺物[第24・25図]

1～20は須恵器で1～7は坏蓋、9～15は坏身、8は蓋。16・18・20は壺で、17は甕、21～24の甕の把手のほか、27鞠の羽口も出土している。

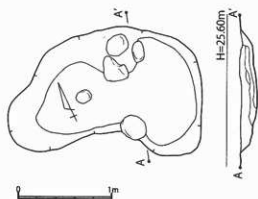
1号不明遺構(SX01)[第26図] 2号竪穴住居と4



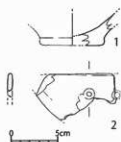
第 20 図 国伏遺跡 12・13号竪穴住居 (SB12・13) 実測図 [1/60]



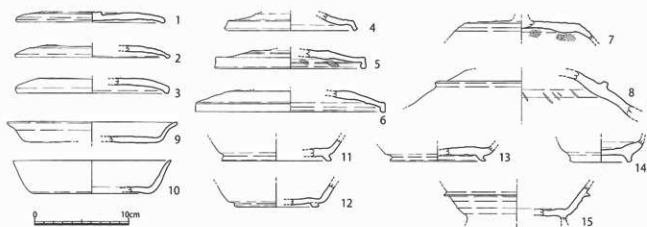
第 21 图 国伏遺跡 11・13号竪穴住居 (SB11・13)出土遺物実測図 [1/4]



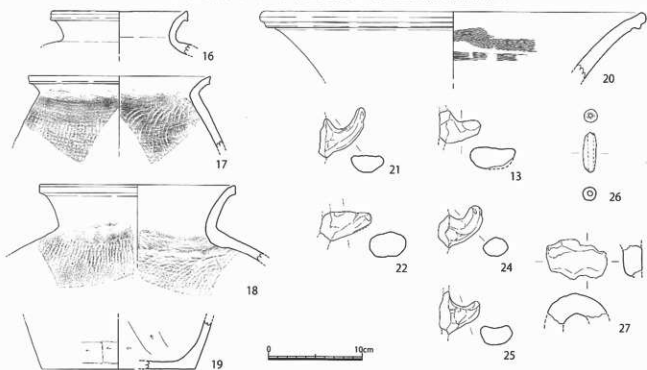
第 22 图 国伏遺跡 1号土坑 (SK01)実測図 [1/40]



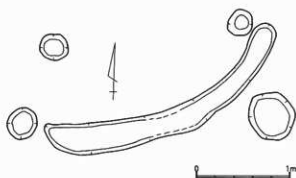
第 23 图 国伏遺跡 1号土坑 (SK01)
出土遺物実測図 [1/4]



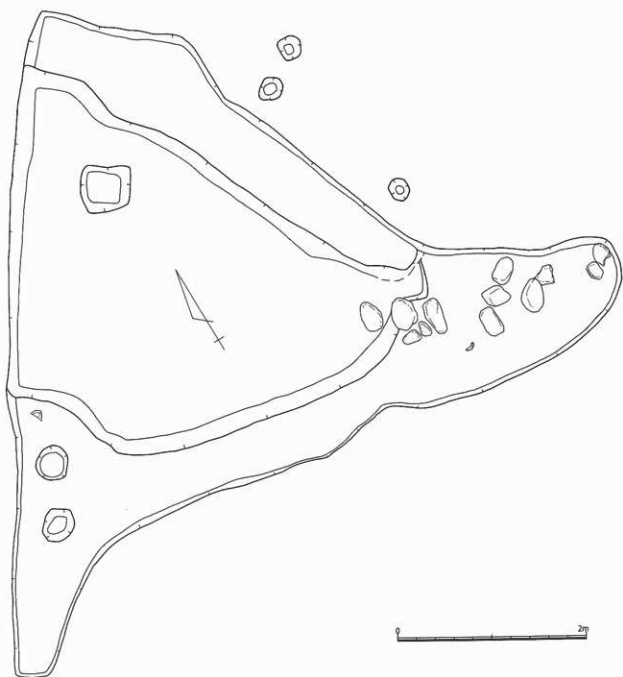
第 24 图 国伏遺跡 1号溝状遺構 (SD01) 出土遺物実測図 [1/4]



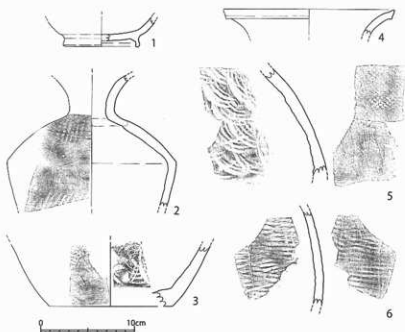
第 25 图 国伏遺跡 1号溝状遺構 (SD01) 出土遺物実測図 [1/4]



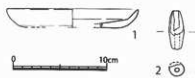
第 26 图 国伏遺跡 1号不明遺構 (SX01) 実測図 [1/40]



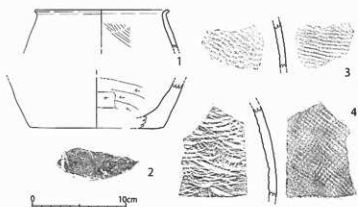
第 27 図 国伏遺跡 2号不明遺構(SX02)実測図[1/40]



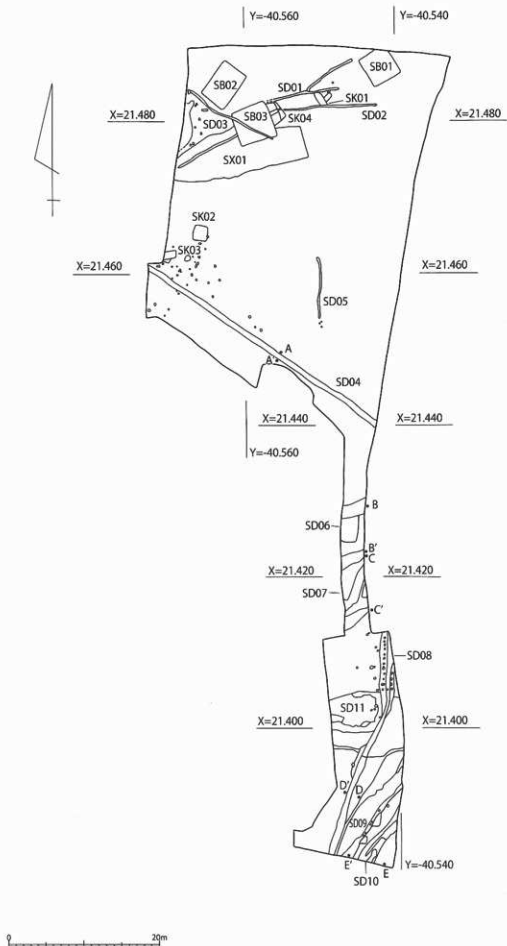
第 28 図 国伏遺跡 2号不明遺構 (SX02) 出土遺物実測図 [1/4]



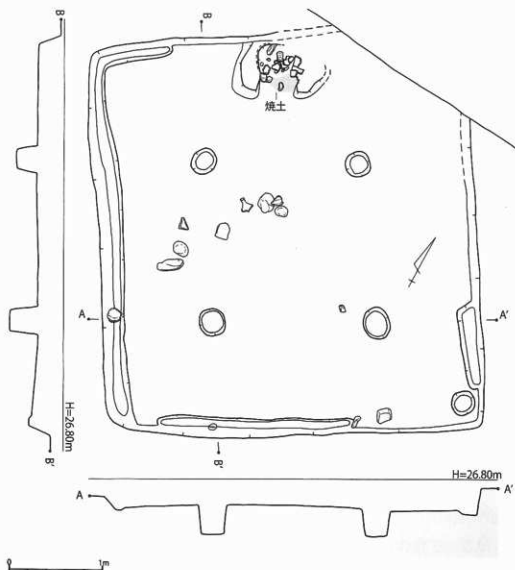
第 29 図 国伏遺跡
ピット出土遺物実測図
[1/4]



第 30 図 国伏遺跡 表探遺物実測図 [1/4]



第 31 図 松ノ本遺跡A地点 遺構配置図 (1/500)



第 32 図 松ノ本遺跡A地点 1号竪穴住居 (SB01) 実測図 (1/40)

(2) 松ノ本遺跡の調査

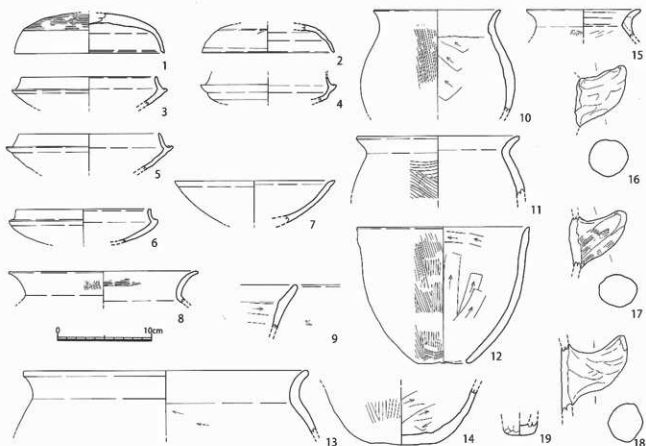
発掘調査の概要[第2・3図]

松ノ本遺跡は、八女市柳瀬字松ノ本に所在する遺跡で、5地点に分けて調査が実施された。調査前の地形は、花宗用水から分岐した数条の用水が酒井田集落と柳瀬集落の間を北東側から南西側に流れる狭間にあたる。

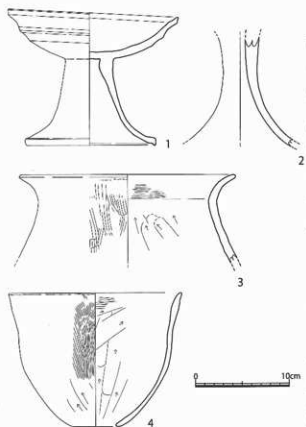
遺構と遺物

ア A地点の調査

松ノ本遺跡の調査はA～Eの5つの地点に分けて調査が行われ、A地点は最も北側にある地点である。現地における調査は平成5年7月5日～平成5年9月16日まで行われ、調査面積は約2,100㎡である。調査の結果古墳時代の竪穴住居が3基、土坑が3基、数条の溝状遺構が検出された。溝状遺構は主に調査区の南側において、北東側から南西側にかけて流れる。



第 33 図 松/本遺跡A地点 1号竪穴住居 (SB01) 出土遺物実測図 [1/4]



第 34 図 松/本遺跡A地点 1号竪穴住居 (SB01)
カマド内出土遺物実測図 [1/4]

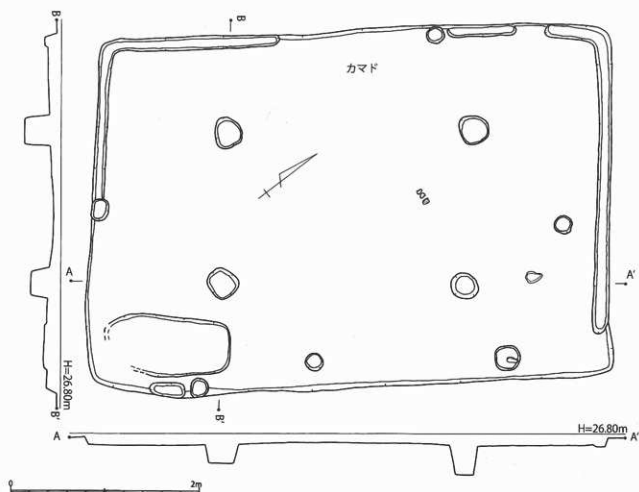
1号竪穴住居 (SB01) [第32図 図版3の4~6]
調査区北端中央付近にあり、調査区境界で北側
を切られる。規模は長軸(南北方向)に約4.3m、
短軸(東西方向)に約4mの整った方形プランで、
北側壁中央にカマドが設けられる。柱穴が4本
確認されている。

出土遺物 [第33図] 5と13は柱の内側で出土、1
~6は須恵器の蓋环、7~10、12~18は土師
器で、12は甗、15~18は把手、19はミニチュ
ア土器。

1号竪穴住居カマド内出土遺物 [第34図] 1・2
は須恵器の高坏、3・4は土師器の甕と甗。

2号竪穴住居 (SB02) [第35図] 調査区の北西端
付近で検出された竪穴住居で、規模は、長軸(北
東-南西方向)約5.3m、短軸(北西-南東方向)
約3.7m、図面から北西壁面中央にカマドを設
けていたと考えられており、南東壁以外で壁溝
が検出された。柱穴が4カ所確認されている。

出土遺物 [第37・38図] 2号竪穴住居出土の遺物



第 35 図 松ノ本遺跡A地点 2号竪穴住居 (SB02) 実測図 [1/40]

はいずれも土師器で1・2・8の坏、9・11・12・15の甕で、2が4本の柱穴間中央北東寄り出土しているほかは出土状況は不明。

3号竪穴住居(SB03)[第36図 図版3の7] 2号竪穴住居の南東で検出され、4号土坑を切り、1・2号溝状遺構、1号不明遺構を切り、3号溝状遺構に切られる方形の竪穴住居である。規模は(南北方向)約4.7m、(東西方向)約4.9m北側壁中央にカマドが設けられ、柱穴が4か所確認されている。

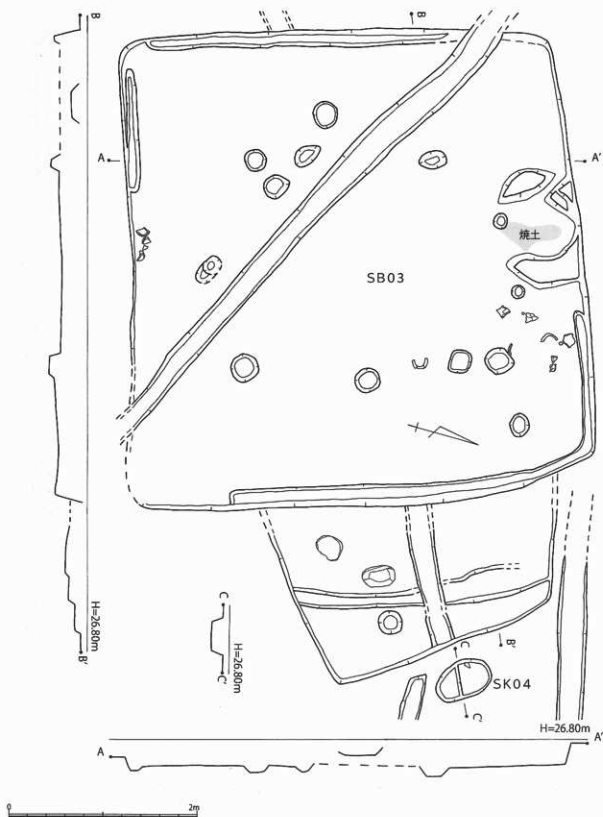
出土遺物[37・38図]18を除くと出土地点はカマドの右側(東側)に集中しているようである。3～5は須恵器の坏身、6・7は土師器の坏、11・12・14は甕、16は壺である。17・18は把手。

1号土坑(SK01)[第39図 図版4の1] 1号溝状遺構の南西側で、1号溝状遺構と2号溝状遺構に挟まれた形で見つかった土坑で、2号溝状遺構に切られているので規模は長軸(南北方向)が約1.9mまで確認でき、幅(東西方向)が約0.9mの土坑である。

出土遺物[第41図]下層から土師器の坏、上層から甕が出土している。

2号土坑(SK02)[第39図] 3号溝状遺構と4号溝状遺構の間の西側で検出された土坑で、1辺約2mの隅丸方形を呈する。遺物は無い。

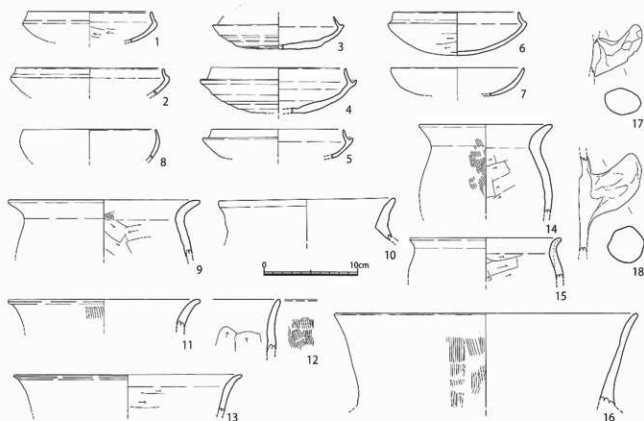
3号土坑(SK03)[第39図] 2号の南西側で検出された土坑で、西側は調査区境界によって切られ、規模は軸(東西方向)1.7m以上、幅(南北方向)0.9m、遺物は無い。



第 36 図 松/本遺跡A地点 3号竪穴住居(SB03)、4号土坑(SK04)実測図[1/40]

4号土坑(SK04)[36図 図版4の2] 3号竪穴住居に切れ、底面の溝は3号竪穴住居西側に延びる溝状遺構の延長がこの遺構の底部で検出されていると考えられる。なお1号溝状遺構との切り合いは図面からは判別し難い。他の竪穴住居、あるいは立て替えが行われた跡である可能性も考えられる。

1号溝状遺構(SD01)[第31図]調査区北側を南北に走る溝状遺構で、長さは約9.3m確認さ



第 37 図 松/本遺跡A地点 2・3号竪穴住居 (SB02・03) 出土遺物実測図 [1/4]



第 38 図 松/本遺跡A地点
2号竪穴住居 (SB02)
出土遺物実測図
[1/4]

れ、西側は1号竪穴住居に切られる。出土遺物は無い。

出土遺物[第43図] 1は砥石で側面4面が使用されている。

3号溝状遺構(SD03)[第31図]調査区北西隅から南に約5mの調査区端から出て2号竪穴住居の南側を通り、3号竪穴住居を切る溝状遺構。

出土遺物[第41図] 3は口縁部にキザミのある突帯の付く弥生土器の口縁部片で、出土状況は不明。

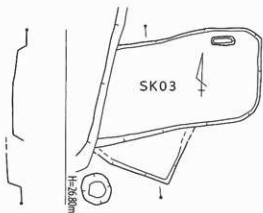
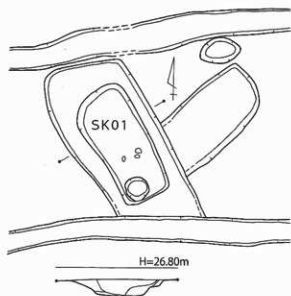
4号溝状遺構(SD04)[第31・40図 図版4の3] 3号土坑の南側を西側調査区境界から出て2号溝状遺構とほぼ平行に南東に向かって東側端まで走る溝状遺構で、遺物は無い。

5号溝状遺構(SD05)[第31図] 4号溝状遺構の北側の調査区の中心からやや東よりのところで南北に走る長さ約7.9mの溝状遺構で、遺物は無い。

6号溝状遺構(SD06)[第31・40図 図版4の4]調査区が南側で幅が狭くなっているか所を東西に横切る幅約7.9mの溝状遺構。遺物は無い。

7号溝状遺構(SD07)[第31・40図 図版4の5] 6号溝状遺構の南側で北東-南西方向に走る溝状遺構。遺物は無い。

8号溝状遺構(SD08)[第31・40図 図版4の6]調査区の南側で北北東-南南西方向に走る溝状遺構で、北側で平行に走る2条の溝状遺構が南に約11mのところで合流し、調査区南



第 39 図 松ノ本遺跡A地点 1～3号土坑(SK01～03)
実測図[1/40]

端まで走る。平行に走る2条の溝状遺構の底部にはピットが並び、ピットの間隔は両方の溝で揃っているようである。遺物は出土していない。

9号溝状遺構(SD09)[第31図 図版4の7]調査区の南東端から北に11mの調査区境界から南南西側に走り、8号溝状遺構の東側約2.4mで調査区南端に達する。

出土遺物[第41図] 4・5は弥生土器の甕の口縁部片、6～9は底部片である。

10号溝状遺構(SD10)[第31・40図 図版4の8] 9号溝状遺構よりさらに東側に検出され、9号と平行に北北西～南南西方向に走り、調査区の南東端付近で7.6mの長さを確認した。

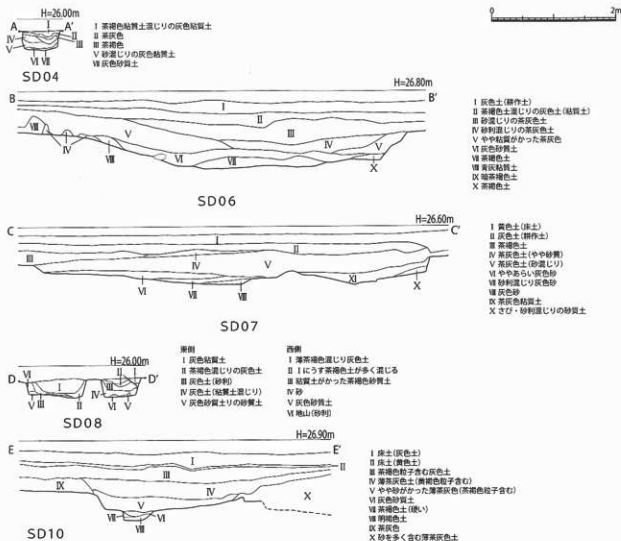
出土遺物[第41図] 9は口頸部が外側に開く弥生土器の壺。

11号溝状遺構(SD11)[第31図]調査区の南側を東西方向に横切る幅約7.7mの溝状遺構で、8号溝状遺構に切られる。土層断面の記録もなく詳細は不明。

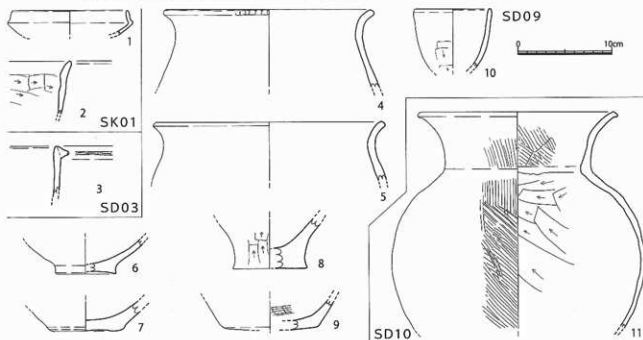
出土遺物[第42図] 1は口縁部が貼り付けられて小さく立ち上がる甕、2は複合口縁の壺、3は口縁部が厚く平坦で内側に突出する壺で、4は凸レンズ状の底部を持つ甕。出土遺物[第43図] 2は4面が使用された砥石。

1号不明遺構(SX01)[第31図 図版5の1～3] 3号竪穴住居、2・3号溝状遺構に切られる長軸(東西方向)約18.2m、短軸6.4m(南北方向)の不定形の遺構、遺構検出面からの深さも約15cm程度で、詳細は不明。出土遺物[第43・44図] 44図1は複合口縁の壺の口縁部。43図3は凹み石。

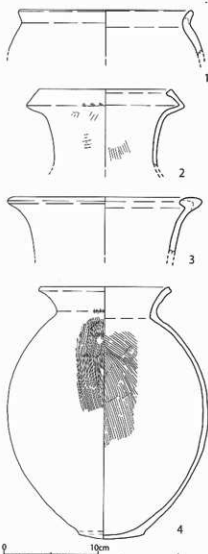
その他の遺物[第44図] 2は調査区の西側で出土したと記録のある土師器の坏、3は脚部片、4は壺の頸部か。



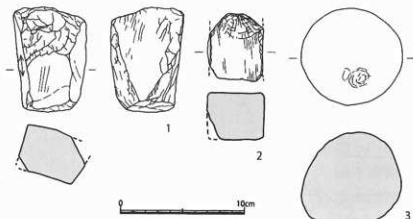
第 40 図 松/本遺跡A地点4・6・7・8・10号溝状遺構(SD04・06・07・08・10)実測図 [1/60]



第 41 図 松/本遺跡A地点 1号土坑(SK01)、3・9・10号溝状遺構(SD03・09・10)出土遺物実測図 [1/4]



第 42 図 松/本遺跡A地点11号
溝状遺構(SD11)出土遺物実測図 [1/4]



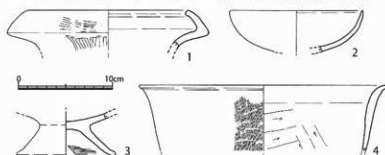
第 43 図 松/本遺跡A地点 1・11号溝状遺構(SD01・11)、
1号不明遺構(SX01)出土遺物(石製品)実測図 [1/3]

イ B 地点の調査

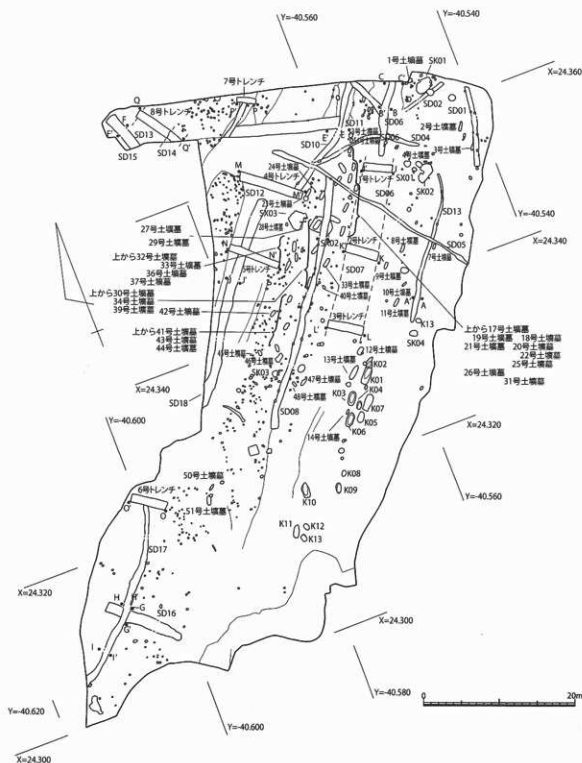
B 地点は、A 地点の南側に位置する調査地点で、現地における調査は平成 5 年 10 月 25 日から平成 6 年 1 月 31 日まで行われ、調査面積は 3,000㎡である。他の 4 地点では墓は見つかっておらず、B 地点に集中して土坑墓、甕棺墓群が見つかっている。なお松ノ本遺跡の他の地点でこの墓地と同時期と考えられる竪穴住居は無い。

3 号竪穴住居(SB03)[第 45 図] B 地点内には竪穴住居検出の記録は無く、また出土遺物の記録が B 地点以外の地点の竪穴住居とも照合できないため、あるいは同時期に調査した他の遺跡の遺物の混入の可能性も捨てきれないものの、ここに掲載する。よって参考程度とされたい。

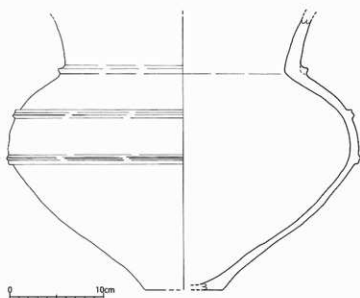
出土遺物[第 46・47 図] 3 号竪穴住居は平面図上に検出地点が記されていないため詳細は不明だが、比較的遺物が多いため、そのまま調査時の通り 3 号竪穴住居として記載する。46 図は弥生土器の壺で、胴部と頸部の



第 44 図 松/本遺跡A地点 1・2号不明遺構(SX01・02)、表探
遺物実測図 [1/4]



第 45 図 松ノ本遺跡B地点遺構配置図 (1/500)

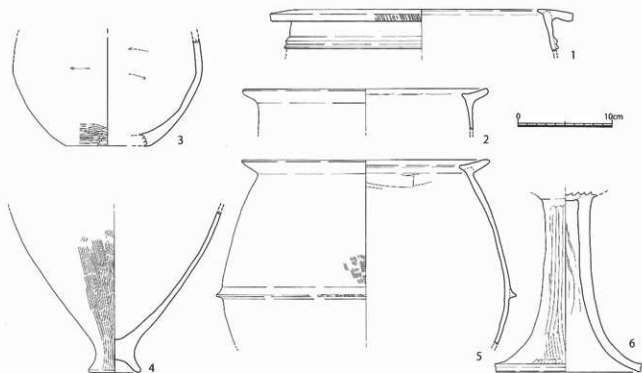


第 46 図 松ノ本遺跡B地点 3号竪穴住居 (SB03)
出土遺物実測図 [1/4]

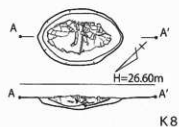
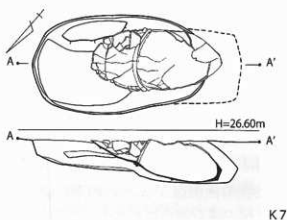
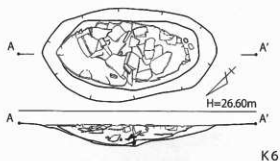
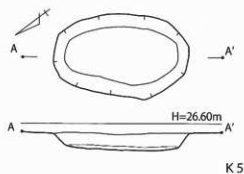
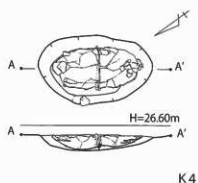
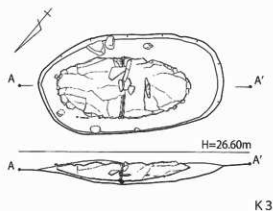
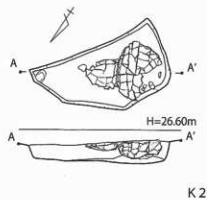
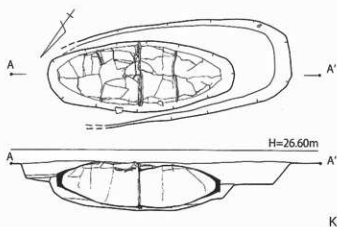
境に突帯、胴部に2条のM字型突帯を貼付される。47図の1・2は逆L字型の口縁部片で、口縁端部が内傾する。3は平底の壺の底部、4は台付の甕、5は逆L字型口縁の甕で胴部に刻み目の入った突帯が貼付される。6は高坏の脚部で外面はミガキが施され、内面は絞り痕がみられる。遺構の詳細が不明であるものの、時期的にはB地区の甕棺墓の時期とおおよそ一致する。

1号甕棺墓(K01)[48図・49図 図版5の6～8]松ノ本B地点における甕棺墓は調査区の東側に甕棺墓列を

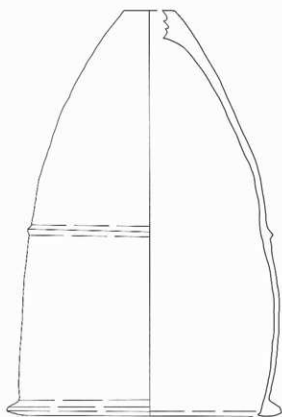
形成している。上甕が北東に向く。堀方の規模は長軸約2.8m、短軸約1.0mの隅丸方形で主軸はN-47°-E。今回は調査時の観察に従い、南西側を上甕として掲載したが、ほぼ並行に据えられている。上甕の口縁部は外側に三角形に張り出しており、胴部は口縁下でややすばまる。胴部中央に三角凸帯が1条巡り、底部の厚みは欠損しているが厚く、約60mmはあると考えられる。下甕の口縁は内傾し、外側に小さく張り出し、内側にもわずかに張り出している。胴部はわずかにすばまり、中央に三角凸帯が1条巡る。底部の厚みは30mm以上はあったようである。



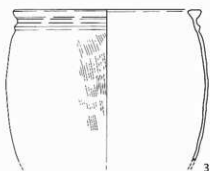
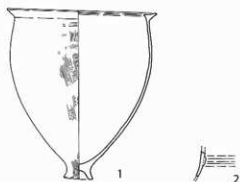
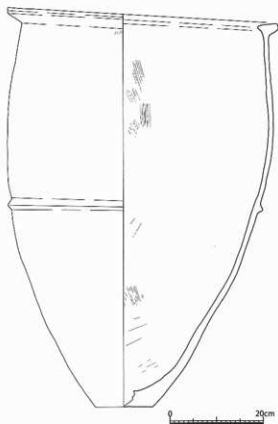
第 47 図 松ノ本遺跡B地点 3号竪穴住居 (SB03) 出土遺物実測図 [1/4]



第 48 図 松/本遺跡B地点 1-8号甕棺墓(K01-08)実測図[1/40]



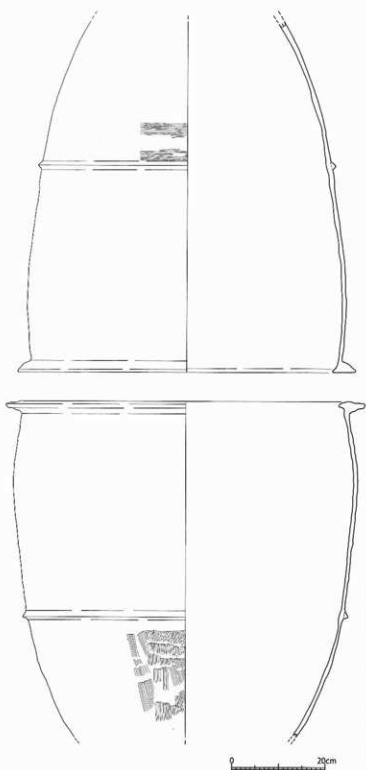
第 49 図 松/本遺跡B地点 1号甕棺図[1/8]



第 50 図 松/本遺跡B地点 2号甕棺出土遺物実測図
[1/4]

第 51 図 松/本遺跡B地点 2号甕棺出土遺物
実測図[1/4]

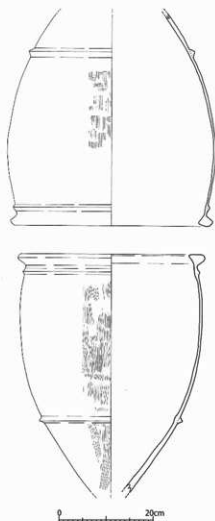
2号甕棺墓(K02)[第48・50・51図 図版6の1・2] 1号甕棺の堀方の北東側を切る形で検出された甕棺墓で、北東に上甕を向け、堀方の長軸は約1.4m、幅は約1.0m、主軸はN-46°-E.である。上部は削平されて欠損している。2号甕棺として整理されていた遺物は複数存在し、その中には1号甕棺と考えられる物が含まれており、それについては1号甕棺として分けて報告、他の遺物はここで2号甕棺として一括して報告する。48図の断面図から、50図下の甕が上甕、右の小片が下甕と考えられる。上甕は口縁下がすばまり丸みを帯び、三角口縁の下に凸帯を付す。下甕は胴部にM字型凸帯を付す。50図上の



第 52 図 松/本遺跡B地点
3号甕棺実測図 [1/8]



第 53 図 松/本遺跡B地点
4号甕棺出土遺物実測図
[1/8]

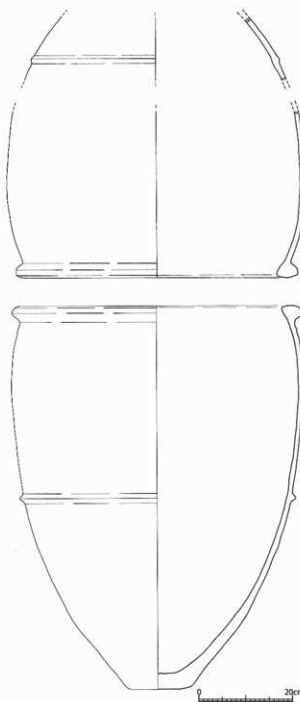


第 54 図 松/本遺跡B地点 4号甕棺
実測図 [1/8]

台付き甕は出土状況は不明だが、口縁部が逆L字状を呈し、内側にわずかに内傾する。胴部は細くひきしまり、上げ底である。51図の器台は2号甕棺と共に出土した器台と思われる。

3号甕棺墓(K03)[第48・52図 図版6の3] 1号甕棺の南西で検出され、上部は削平されている。上甕を北東に向

け、堀方の長軸は約1.9m、幅約1.0m、N-35°-Eである。上甕の口縁部は逆L字状で平坦、胴部は外に開き気味である。底部は欠損して不明、胴部中央あたりに1条の三角凸帯が巡る。凸帯下部に水平方向のハケメが残る。下甕は逆L字状で外側へ張り出し、内側も少し張り出す。口縁は外側に低く傾斜する。胴部は口縁部下ですばまり、胴部中央に三角凸帯が1条巡り、凸帯下部でハケメが残る。



第 55 図 松/本遺跡B地点 5号甕棺実測図[1/8]

4号甕棺(K04)[第48・54図] 3号甕棺墓と5号甕棺墓の間で検出された甕棺墓で、南西側に上甕が向く。長軸約1.2m、短軸約0.7m、N-36°-Eの楕円形の堀方で、上甕は三角口縁の下に三角凸帯が1条巡り、胴部中央より下に1条の三角凸帯が巡る。胴部はすぼまり、やや丸みを帯びる。底部は欠損して不明。胴部下の凸帯上に縦方向のハケメが残る。下甕は三角口縁の下に1条の三角凸帯が巡り、口縁部下ですぼまり、底部は細くひきしめる。胴部中央より下に三角凸帯が巡る。口縁部下の凸帯より下全体に縦方向のハケメが残る。

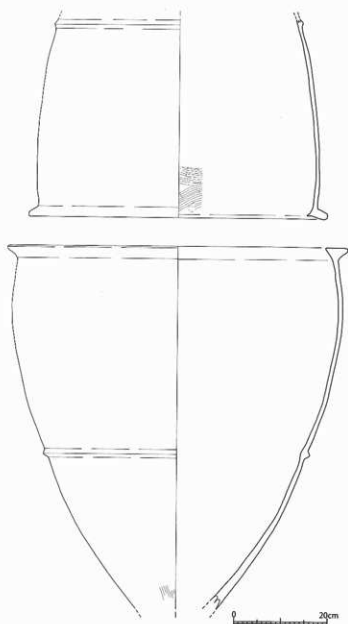
5号甕棺(K05)[第48・55図 図版6の4] 3号甕棺墓の東側で検出され、堀方は長軸約1.4m短軸約0.9m、主軸はN-41°-Eである。断面図が記録されておらず、7号墓の甕棺が5号のものである可能性もある。上甕は三角口縁で、胴部は口縁部下ですぼまり丸みを帯びる。胴部中央より下に低い三角凸帯が巡る。底部は欠損して不明。下甕は三角口縁を呈し、口縁部付近ですぼまる。底部の厚さは約34mm。口縁部下にハケメを残す。

6号甕棺墓(K06)[第48・56図 図版6の5] 4号甕棺墓の南西で検出され、上部が大きく削平され、堀方の規模は不明。主軸はN-37°-Eで、南西向きに上甕が向く。上甕は逆L字状で内側に低く傾斜する。胴部下半を欠くが、胴部中央より少し下あたりに三角凸帯が巡っていると思わ

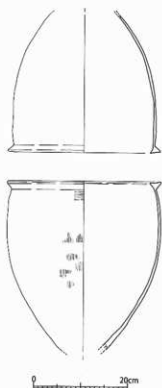
れる。口縁部下で若干すぼまる。下甕は口縁部が外側に張り出し、口縁部は水平、胴部は上半でやや張っている。底部は欠損して不明。

7号甕棺墓(K07)[第48図] 1号甕棺墓の南西側で検出された甕棺墓で、北東に上甕を向ける。堀方の長軸は約1.8m、短軸は1.0mで主軸はN-41°-Eである。甕棺本体及び実測図が無く詳細は不明であるが、現地調査時の断面図からは三角口縁の胴部中央に三角凸帯が巡る、底部の厚い下甕であることがわかる。

8号甕棺墓(K08)[第48・57図 図版6の6] 6号甕棺から南西に約6mのところで検出された甕棺墓で、主軸はN-37°-Eである。上甕を南西に向ける。上部が削平され、堀方の規模は長軸約0.9m、短軸約0.5mの楕円径。上甕は三角口縁で外に低く傾斜し、凸帯は無い。胴



第 56 図 松/本遺跡B地点 6号甕棺実測図[1/8]



第 57 図 松/本遺跡B地点 8号甕棺実測図[1/8]

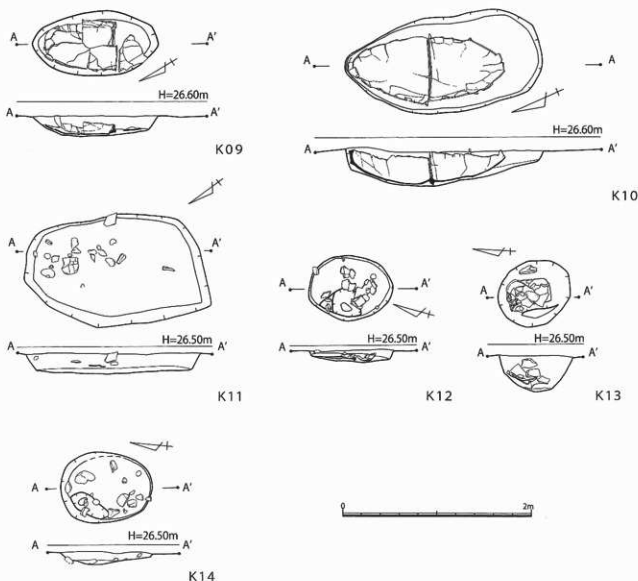
部上半は上方にまっすぐ立ち上がりすばまらない、底部は丸みを帯びる。底部は欠損して不明。下甕は三角口縁が僅かに内傾している。口縁部下ですばまり、凸帯は無い。口縁部下で横方向、胴部で縦方向のハケメが残る。底部は欠損して不明。

9号甕棺墓(K09)[第58・59図 図版6の

7] 8号甕棺の南西で検出された甕棺墓で堀方の規模は長軸約1.3m短軸約0.6m、これより北側の8号までと主軸が異なり、N-19°-Eで上甕を南南西に向けるが、甕棺墓の配置は8号までの甕棺墓列の線上である。上甕は三角口縁で外側に低く傾斜している。胴部下半を欠き、凸帯は確認できない。外面にハケメが残る。下甕は三角口縁で水平、口縁部下でややすばまり、胴部中央に三角凸帯が1条巡る。底部は欠損して不明。

10号甕棺墓(K10)[第58・60図 図版6の8] 9号甕棺の西北西4mで検出された甕棺墓で、9号と主軸をほぼ同じくして南南西に上甕を向け、主軸はN-13°-Eである。堀方の規模は長軸約2.1m、短軸約1.0m、上甕は逆L字状の口縁を呈し、口縁部は水平、胴部中央に三角凸帯が1条巡る。底部は細くひきしめる。縦方向のハケメが残る。下甕は逆L字状の水平な口縁部で、胴部中央より少し下に三角凸帯が1条巡る。底部の厚さは約36mm口縁部下ですばまり、底部は細くひきしめる。外面に縦方向のハケメが残る。

11号甕棺墓(K11)[第58・61図 図版7の1]10号甕棺墓の南西に4mのところで検出された



第 58 図 松/本遺跡B地点 9-14号甕棺墓(K09-K14)実測図 (1/40)

甕棺墓で、堀方は長軸約1.7m、短軸0.8mで主軸はN-29°-Eである。削平を受け、下甕しか図示できていない。下甕は三角口縁で外側に張り出している。口縁部下と底部を欠ため正確では無いが、おそらく胴部中央あたりに凸帯が巡っている。外面にハケメが残る。

12号甕棺墓(K12)[第58・62図]11号甕棺墓の東で検出された甕棺墓で、削平を受け、主軸はN-21°-E。残存する堀方の規模は長軸0.8m短軸0.7mの楕円径である。図化されている甕棺は断面からみておそらく上甕と思われ、水平な三角口縁を呈し、口縁部下に三角凸帯が1条巡る。口縁部下ですばまる。

13号甕棺墓(K13)[第58・63・64図 図版7の2]この甕棺墓は1号甕棺墓の北東約9.1mで検出され、甕棺墓列から外れた地点で検出された。堀方は径約0.8mの円形で、出土した甕棺が上甕か下甕かは分からない。外側に張り出す口縁が水平の三角口縁を呈する甕棺で、口縁部下ですばまる。底部は細くひきしまり、上げ底である。外面はハケメが残る。64図は出土状況は不明だが13号甕棺墓から出土したとされるレンズ状の底部片。

14号甕棺墓(K14)[第58図]11号甕棺の南東で検出された甕棺墓で、堀方から主軸はN-12°

である。図面等は残されていない。

1号土坑墓[第67図]調査区の北端東側、1号土坑の北西で検出され、主軸を北東-南西方向とし、規模は長軸約0.7m、幅約0.4m、深さ約0.2m。

2号土坑墓(SK16)[第67図 図版7の3]調査区の北東側、1号溝状遺構の西側で検出され、主軸を北東-南西方向とし、規模は長軸約1.3m、幅約0.3m、深さ約0.1m。

3号土坑墓[第67図]調査区の北東側、1号溝状遺構に、東側を切られ主軸を北東-南西方向とし、規模は長軸約0.9m、幅約0.4m、深さ約0.1m。

4号土坑墓[第67図] 2号土坑の北側、主軸を北東-南西方向とし、規模は長軸約0.6m、幅約0.4m、深さ約0.1m。

7号土坑墓[第67図 図版7の4] 3号溝状遺構と5号溝状遺構が交差する南側で検出され、主軸を北東-南西方向とし、規模は長軸約0.9m以上、幅約0.3m、深さ約0.1m。

8号土坑墓[第67図 図版7の5・6] 7号土坑墓の4mほど西側付近で検出され、主軸を北東-南西方向とし、規模は長軸約1.2m、幅約0.4m、深さ約0.1m。

9号土坑墓[第67図] 8号土坑墓から約3m西南西の地点で検出され、主軸を北東-南西方向とし、規模は長軸約1.0m、幅約0.4m、深さ約0.1m。

10号土坑墓[第67図] 9号土坑墓から約3mほど南南東の地点で検出され、主軸を北東-南西方向とし、規模は長軸約0.6m以上、幅約0.4m、深さ約0.2m。

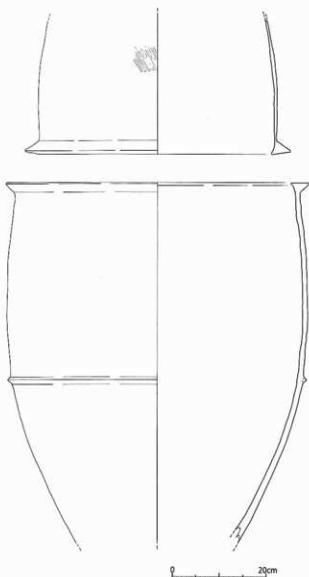
11号土坑墓[第67図]10号土坑墓から約2m南西の地点で検出され、主軸を北東-南西方向とし、規模は長軸約1.1m、幅約0.4m、深さ約0.1m。

12号土坑墓[第67図] 1号甕棺墓の約3m北の地点で検出され、主軸を北東-南西方向とし、規模は長軸約1.2m、幅約0.7m、深さ約0.2m。

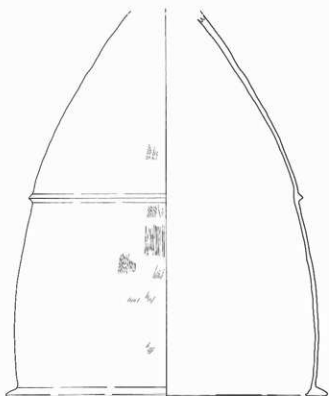
13号土坑墓[第67図 図版7の8] 1号甕棺の約2m北西の地点で検出され、主軸を北東-南西方向とし、規模は長軸約2.0m、幅約0.7m、深さ約0.3m。

15号土坑墓[第67図]調査区北側、6号溝状遺構と11号溝状遺構の間で検出され、主軸を北東-南西方向とし、規模は長軸約0.8m、幅約0.3m、深さ約0.1m。

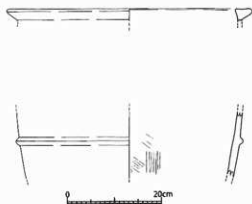
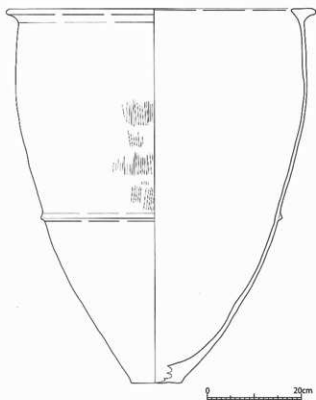
17号土坑墓[第67図]調査区北側、4号溝状遺構の南側で検出され、主軸を北東-南西方向



第59図 松/本遺跡8地点 9号甕棺実測図 [1/8]



第 60 図 松/本遺跡B地点 10号甕棺実測図 [1/8]



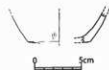
第 61 図 松/本遺跡B地点 11号甕棺実測図 [1/8]



第 62 図 松/本遺跡B地点 12号甕棺実測図 [1/8]



第 63 図 松/本遺跡B地点 13号甕棺実測図 [1/8]

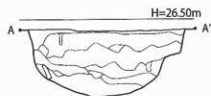


第 64 図 松/本遺跡B地点 13号甕棺
出土遺物実測図 [1/4]

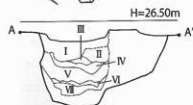
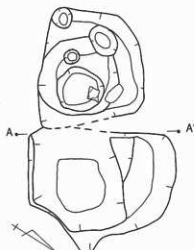
とし、規模は長軸約0.7m、幅約0.5m、深さ約0.2m。

18号土坑墓(SK06)[第65図 図版8の1]調査区北側で4・5号溝状遺構の間で検出された土坑墓で、主軸N-26°-E、長軸約1.1m、短軸0.4m、深さ0.4m、遺物は無い。

19号土坑墓(SK09)[第65図 図版8の2]20号土坑墓の北にあり、主軸は20号と異なり南北方向、規模は長軸(南北方向)約1.5m、短軸0.6m、深さは北半分が未掘だが約0.4mを確認

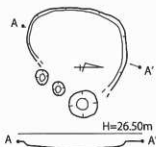


SK01

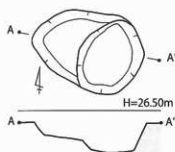


SK02

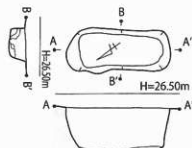
- I マンガン+薄茶褐色
- II マンガン+黄褐色
- III マンガン+やや暗茶褐色
- IV 茶褐色
- V 薄茶褐色土
- VI 茶色混じりの茶褐色土
- VII 薄茶褐色土



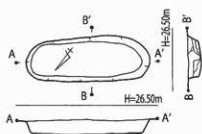
SK03



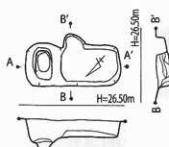
SK04



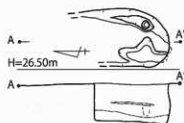
18号土坑墓



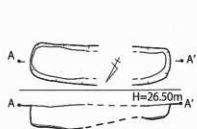
20号土坑墓



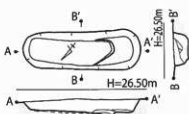
22号土坑墓



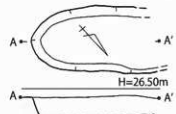
19号土坑墓



21号土坑墓

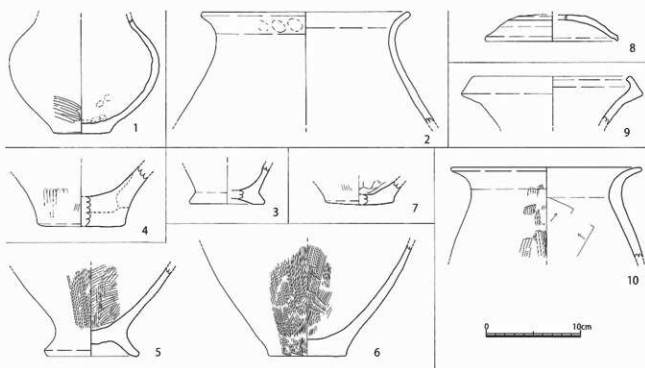


25号土坑墓



26号土坑墓

第 65 図 松/本遺跡B地点 1-4号土坑(SK01-04)、18-22・25・26号土坑墓実測図[1/40]



第 66 図 松ノ本遺跡B地点 1・4・10号土坑(SK01・04・10)、1・3・5・10・13・17号溝状遺構(SD01・03・05・10・13・17)出土遺物実測図[1/4]

している。遺物は無い。

20号土坑墓(SK07)[第65図 図版8の3]調査区北側で5・6号溝状遺構の間で検出された土坑墓で、主軸N-37°-E、規模は長軸約1.3m短軸約0.5m、深さ0.1m、遺物は無い。

21号土坑墓(SK10)[第65図]20号土坑墓の西側で検出された土坑墓で、主軸は20号土坑墓と同じくする。規模は長軸(北東-南西方向)約1.5m、短軸約0.4m深さは北東側が深く0.2m。

出土遺物[第66図] 3は弥生土器の甕、上げ底の底部で、底部の厚さは約10mm。

22号土坑墓(SK08)[第65図 図版8の4]20号土坑墓の南で検出され、主軸はN-42°-Eで、規模は長軸約1.0m、短軸約0.4mで深さ0.2mだが北東側で深く(0.3m)なる。遺物は無い。

24号土坑墓[第67図 図版8の8]調査区北側、8号溝状遺構の北端付近で検出され、東側を8号溝状遺構に切られる。主軸を北東-南西方向とし、規模は長軸約1.1m以上、幅約0.6m、深さ約0.1m。

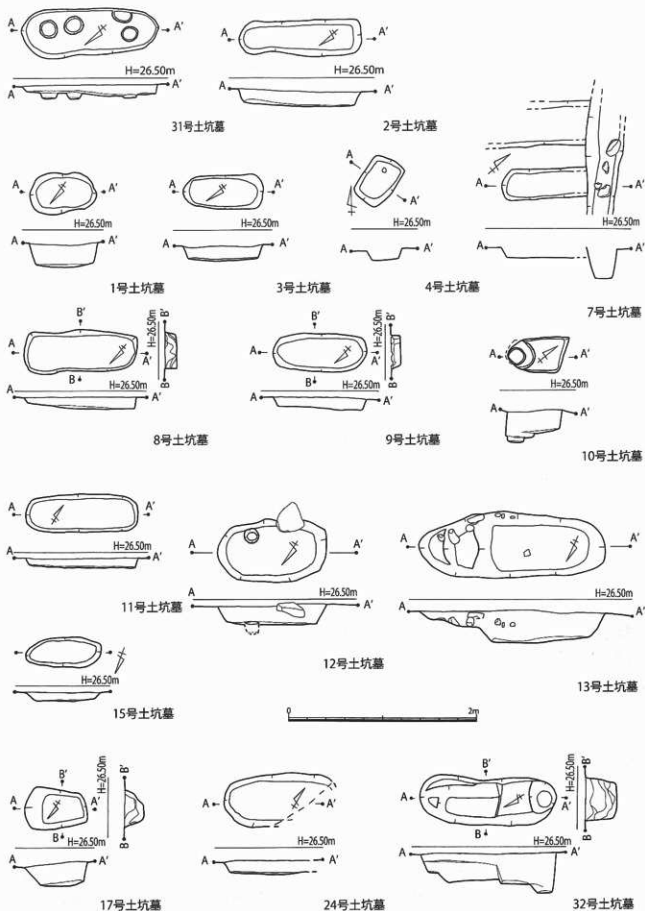
26号土坑墓(SK12)[第65図 図版8の8]8号溝状遺構に切られ、主軸は近くの20号土坑墓などの主軸と異なり、北西-南東方向で、規模は長軸1.3m以上、幅は0.7m、深さは0.2m

31号土坑墓(SK13)[第67図 図版9の2]調査区の北側で2号不明遺構の東側で検出され、主軸を北東-南西方向とし、規模は長軸約1.4m、幅約0.4m、深さ約0.1m。

出土遺物[第71図]サヌカイト製の石錐。

32号土坑墓[第67図 図版9の3・4]3号不明遺構の3m南付近で検出され、主軸を北北東-南南西方向とし、規模は長軸約1.5m、幅約0.5m、深さ約0.3m。

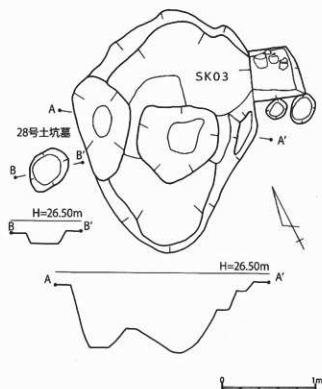
33号土坑墓[第70図 図版9の5]3号不明遺構の3m南側で検出され、主軸を北東-南西方向とする。規模は長軸約0.7m、幅0.3約m、深さ約0.1m。



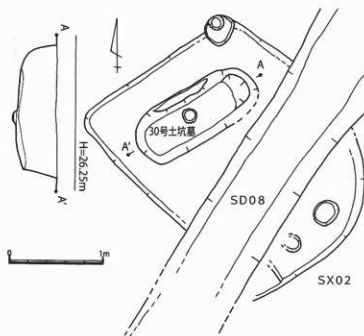
第 67 图 松/本遺跡B地点 13・16号土坑(SK13・16)1・3・4・7・13・15・17・24・32号土坑墓実測図[1/40]

34号土坑墓[第70図 図版9の6] 2号不明遺構の南東で検出され、8号溝状遺構に切られる。主軸を東北東—西南西方向とする。規模は長軸約1.3m以上、幅約0.5m、深さ約0.1m

35号土坑墓[第70図 図版9の7] 34号土坑墓から南南東に約2mの地点で検出され、主軸を北東—南西方向とする。規模は長軸約1.3m、幅0.5約m、深さ約0.1m。



第 68 図 松/本遺跡B地点 28号土坑墓・3号不明遺構 (SK03)実測図 [1/40]



第 69 図 松/本遺跡B地点 30号土坑墓・8号溝状遺構 (SD08)・2号不明遺構 (SK02)実測図 [1/40]

36号土坑墓[第70図 図版9の8] 32号土坑墓の北で検出され、主軸を北北東—南南西方向とする。規模は長軸約1.3m、幅約0.4m、深さ約0.1m。

37号土坑墓[第70図 図版10の1] 36号土坑墓の南西で検出され、主軸を北東—南西方向とする。規模は長軸約1.5m、幅約0.5m、深さ約0.2m

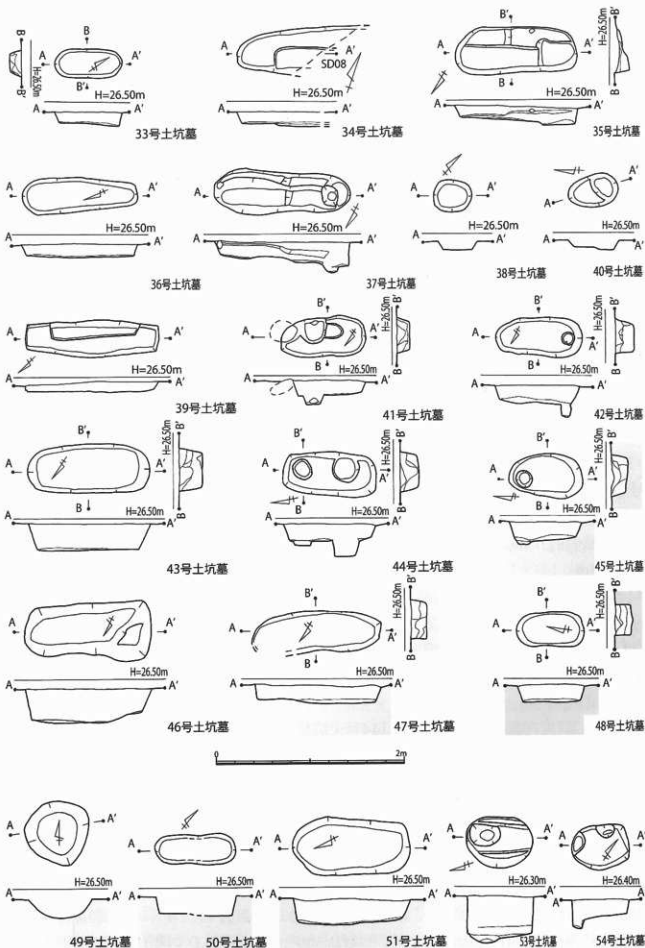
38号土坑墓[第70図] 37号土坑墓の西で検出され、主軸を北東—南西方向とする。規模は長軸約0.4m、幅約0.3m、深さ約0.1m。

39号土坑墓[第70図 図版10の2] 35号土坑墓の南西約3mの地点で検出され、主軸を北東—南西方向とする。規模は長軸約1.4m、幅約0.4m、深さ約0.1m。

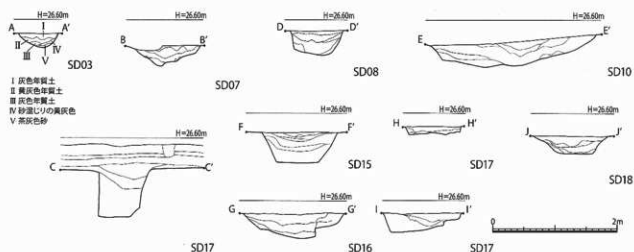
40号土坑墓[第70図] 39号土坑墓の南東約2mの地点で検出され、主軸を北北西—南南東方向とする。規模は長軸約0.5m、幅約0.3m、深さ約0.1m。

41号土坑墓[第70図 図版10の3・4] 39号土坑墓の西南西約2mの地点で検出され、主軸を北東—南西方向とする。規模は長軸約0.9m、幅約0.4m、深さ約0.2m。

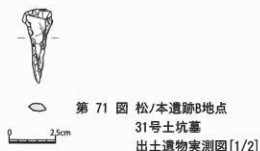
42号土坑墓[第70図 図版10の5・6] 41号土坑墓の西南西約3mの地点で検出され、主軸を北東—南西方向とする。規模は長軸約0.9m、幅約0.4m、深さ約0.2m。



第 70 图 松/本遺跡B地点 33 - 51, 53, 54号土坑墓実測図 [1/40]



第 72 図 松/本遺跡B地点 3・7・8・10・15～18号溝状遺構(SD03・07・08・10・15～18)土層図 [1/60]

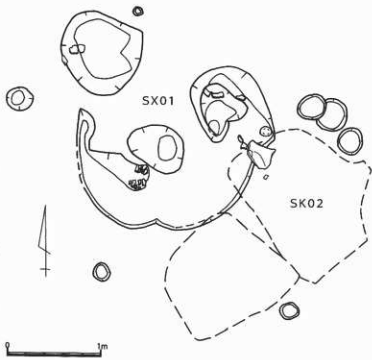


第 71 図 松/本遺跡B地点

31号土坑墓
出土遺物実測図[1/2]

43号土坑墓[第70図 図版10の7]42号土坑墓の南約3mの地点で検出され、主軸を北東—南西方向とする。規模は長軸約1.3m、幅約0.5m、深さ約0.3m。

44号土坑墓[第70図 図版10の8]43号土坑墓の南西約3mの地点で検出され、主軸を北北東—南南西方向とする。規模は長軸約1.0m、幅約0.5m、深さ約0.2m。



第 73 図 松/本遺跡B地点 1号不明遺構(SX01)実測図[1/40]

45号土坑墓[第70図 図版11の1・2]44号土坑墓の約3m西の地点で検出され、主軸を南北方向とする。規模は長軸約0.8m、幅約0.4m、深さ約0.2m。

46号土坑墓[第70図 図版11の3・4]44号土坑墓の南で検出され、主軸を北東—南西方向とする。規模は長軸約1.4m、幅約0.6m、深さ約0.4m。

47号土坑墓[第70図 図版11の5・6]48号土坑墓の東で検出され、主軸を北東—南西方向とする。規模は長軸約1.4m、幅約0.4m、深さ約0.2m。

48号土坑墓[第70図 図版11の7・8]47号土坑墓の西で検出され、主軸を南北方向とする。規模は長軸約0.7m、幅約0.4m、深さ約0.2m。

49号土坑墓[第70図]で検出され、規模は径0.7mの歪んだ円形で、深さ約0.2m。

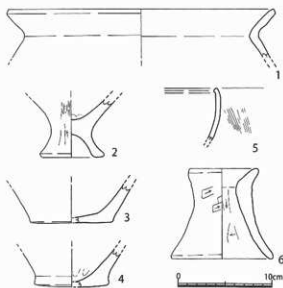
50号土坑墓[第70図 図版12の1]調査区の南側、10号甕棺墓から西南西に約12mの地点で

検出され、主軸を北東－南西方向とする。規模は長軸約0.9m、幅約0.3m、深さ約0.2m。

51号土坑墓[第70図 図版12の2]50号土坑墓の南西で検出され、主軸を北北東－南南西方向とする。規模は長軸約1.2m、幅約0.6m、深さ約0.3m。

53号土坑墓[第70図]調査区の北側、6号溝状遺構と11号溝状遺構の間で検出され、主軸を北東－南西方向とする。規模は長軸約0.7m、幅約0.6m、深さ約0.5m。

54号土坑墓[第70図]53号土坑墓の南で検出され、主軸を北東－南西方向とする。規模は長軸約0.6m、幅約0.5m、深さ約0.2m。



第74図 松ノ本遺跡B地点 ビット出土遺物
実測図 [1/4]

1号土坑(SK01)[第65図 図版12の3・4]B地点の調査時に、土坑として整理された遺構土坑墓として整理された遺構が重複して符番されたものが多くあり、遺構名が多少混乱している。1号土坑は調査区の北東端から7mほど離れた調査区北端付近、2号溝状遺構の北側にある。規模は長軸(北東－南西方向)約2.3m、短軸約1.6mの不定形で、深さ約0.7mである。

出土遺物[第66図] 1は弥生土器の壺で底部はレンズ状を呈する。

2号土坑(SK02)[第65図 図版12の5・6]調査区の北東側、3号溝状遺構の北端と4号溝状遺構の東端の間で検出され、長軸(北東－南西方向)に約2.55m、短軸(南東－北西方向)に約1.5m、深さ約0.6mの不定形の土坑。出土遺物はない。

3号土坑(SK03)[第65図]調査区の西側の8号溝状遺構と18号溝状遺構の間で検出された遺構で、規模は長軸(南北方向)約1.0m短軸(東西方向)約0.8m以上、深さ0.1m以下である。出土遺物はない。

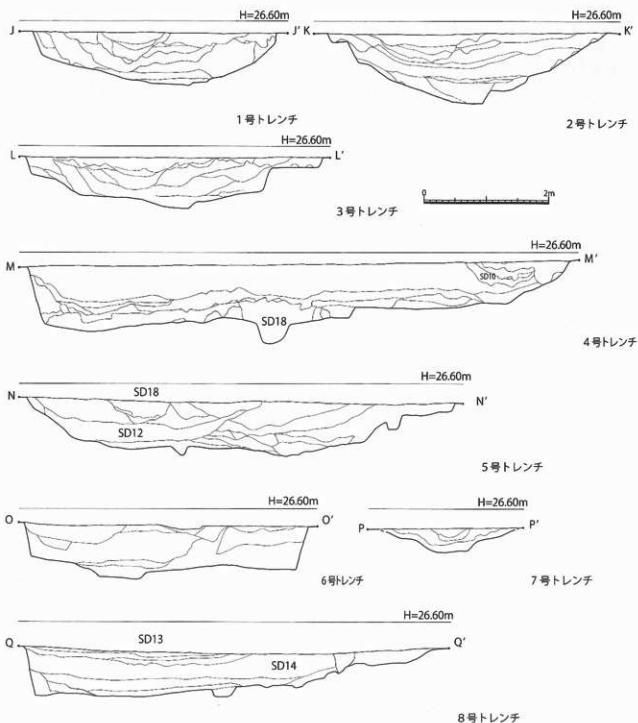
4号土坑(SK04)[第65図 図版12の7]東側の3号溝状遺構の南端、13号甕棺墓の南西付近で検出され、規模は長軸(東西方向)約1.2m短軸(南北方向)約0.7m、深さ0.3mの不定形の遺構。

出土遺物[第66図] 2は弥生土器の壺で、胴部を欠く。

溝状遺構[第45・72図 図版13の2～6]調査区内において、調査時に符番された溝状遺構は18条存在するが、いずれも遺物の出土はない。北東側から南西側に走る溝状遺構が比較的古い、土坑墓や甕棺墓より古い溝状遺構は調査区西側端を北東側から南西側に向かって走る12号溝状遺構とそれに平行して調査区東寄りを守る7号溝状遺構で、いずれもトレンチで確認されているだけで未掘である。

1号不明遺構(SX01)[第73図 図版13の6]

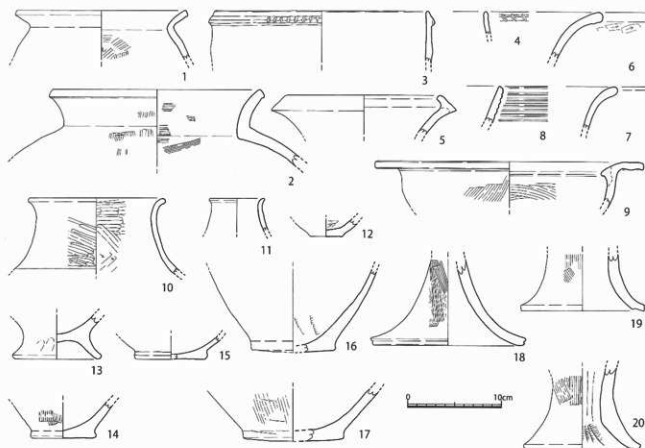
規模東西約2.0m、南北約1.6m程度の不定形な遺構で、2号土坑に南東側を切られる。出土遺物はない。



第 75 図 松ノ本遺跡8地点 1～8号トレンチ土層図[1/60]

2号不明遺構(SX02)[第69図] 8号溝状遺構と18号溝状遺構の間にある不定形の遺構で、長軸(南北方向)2.7m、短軸(東西方向)2.1mである。出土遺物は無い。

3号不明遺構(SX03)[第68・75図 図版13の8、14の1] 2号不明遺構の西側で検出された不定形の遺構で、長軸(南北方向)2.6m短軸(東西方向)2.0mである。なお、この3号不明遺構の西側に12号溝状遺構が北東から南西側に走っているが未掘で、75図のトレンチ5の断面図には12号溝状遺構の記述はないものの、想定される12号溝状遺構の断面と思われる箇所から規模を考えると、幅約3.8m、深さ約0.8mである。



第 76 図 松ノ本遺跡B地点 トレンチ内出土遺物実測図 (1/4)

その他の遺物[第76図]その他ピットやトレンチからの出土遺物があるが、正確な出土位置についての記録に乏しいため一括して掲載する。1・2は口縁部がくの字状に開く弥生土器の甕と壺、3・4は口縁部に刻みの入る凸帯が巡る、5は複合口縁の壺、6・7は壺の口縁か、9は鋤形口縁が外側に垂れ下がる高坏、10・11は壺の口縁で10は内外にミガキが施される、12・14・15は平底の底部、16・17はレンズ状の底部、13は台付き甕、18は高坏の脚部、19・20は器台。

ウ C地点の調査

C地点は東側のB地点と同様、北東から南西に走る数条の溝状遺構が確認できる。遺構の密度はA・B地点と比較して低い。

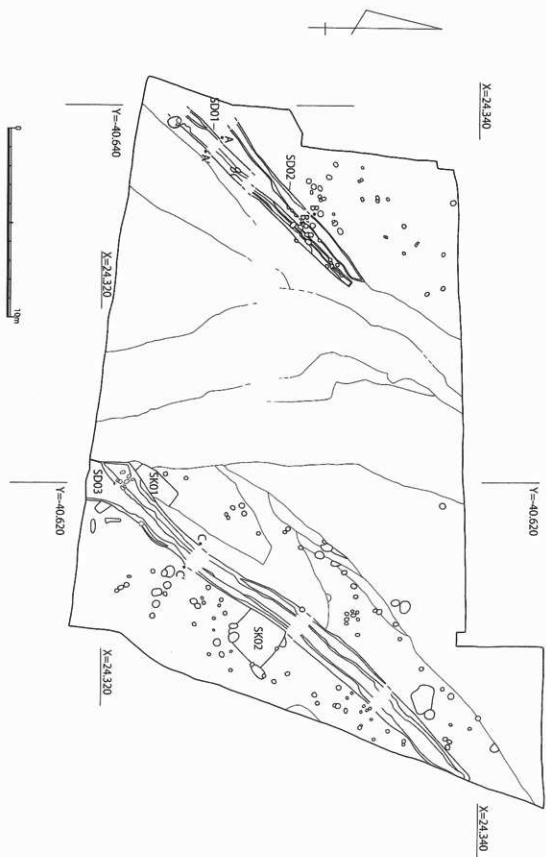
1号土坑(SK01)[第78図]

3号溝状遺構の調査区南端に接するところで検出され、南側を3号溝状遺構に切られる。北東-南西方向を長軸とする不定型な遺構で、規模は長軸2.6m、幅1.1m以上、深さ0.2m
出土遺物[第81図] 1はくの字状の口縁の甕、2はレンズ状の底部片

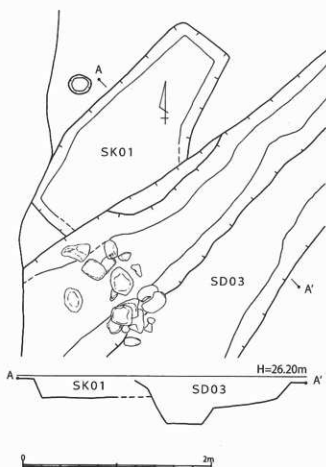
2号土坑(SK02)[第79図]調査区の中心から僅かに南東寄りの地点に3号溝状遺構に北西側を切られる。規模は1辺2.4m、深さ0.1mの歪んだ方形のプランを呈する。出土遺物は無い。

3号溝状遺構(SD03)[第77・80図 図版12の2]調査区の中心を北東から南西に走る溝状遺構で、約幅1.5、m、深さ0.5mである。

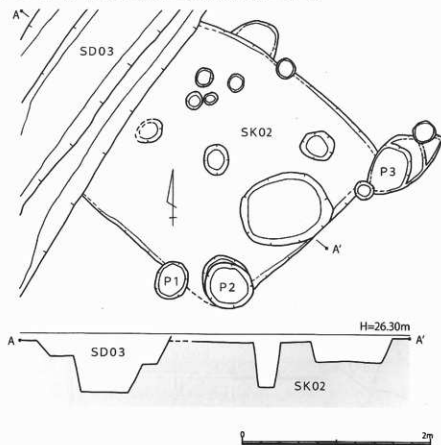
出土遺物[第81・82図]81図の4は小型の丸底短頸壺、82図の1は石甕丁か。



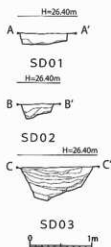
第 77 図 松ノ本遺跡C地点 遺構配置圖 (1/200)



第 78 図 松/本遺跡C地点1号土坑(SK01)実測図 [1/40]



第 79 図 松/本遺跡C地点 2号土坑(SK02)実測図 [1/40]



第 80 図 松/本遺跡C地点1~3号溝状遺構 (SD01~03)土層図 [1/60]

エ D地点の調査

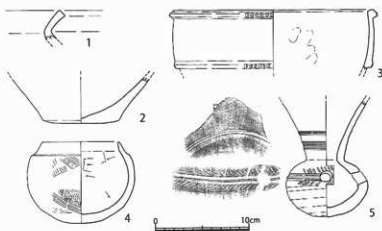
D地点はA地点の東側にある。遺構は溝状遺構とピットの他、土坑を検出したのみで遺物の出土は無い。

1号土坑(SK01)[第84図 図版14の5・6]調査区の南よりで検出された遺構で、規模は長軸(南北方向)約2.0m、短軸(東西方向)約1.3m、深さ約0.3mの楕円径の土坑で、遺物の出土は無い。

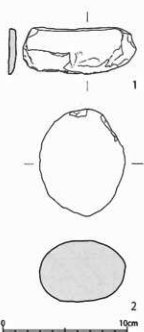
オ E地点の調査

E地点はD地点の東側にあり、遺構は他の地点と同様、北東側から南西方向に走る溝状遺構が確認されたほか、波板状凹凸面が検出されている。

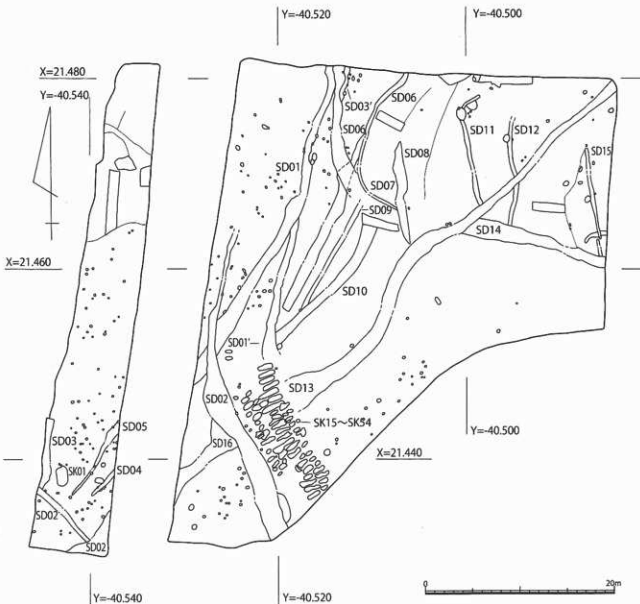
1号土坑(SK01)[第85図]調査区の北東よりで検出された土坑で、規模は長軸(南北方向)約1.4



第 81 図 松ノ本遺跡C地点1号土坑(SK01)、3号溝状遺構(SD03)
ほか出土遺物実測図[1/4]



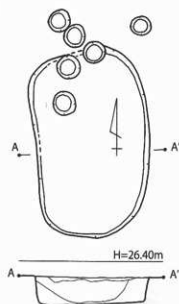
第 82 図
松ノ本遺跡
C地点
3号溝状遺構
(SD03)
出土遺物実測図(1/3)



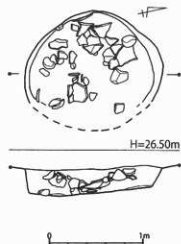
第 83 図 松ノ本遺跡D,E地点 遺構配置図[1/400]

m、短軸(東西方向)約1.2m、深さ約0.3mの楕円径を呈する土坑である。12号溝状遺構に東側を切られる。

出土遺物[第86図] 1はくの字状の口縁の甕、2は平底の底部片。波板状遺構[第87図 図版15の3・4]調査区の南西側において、幅約0.3mの東北東-西南西方向を長軸とする楕円、あるいは不定型なピット群が検出されており、それぞれのピットには約0.2mの深さで砂利が入るといった記録があり、現地における調査時には複数の土坑とし



第 84 図 松/本遺跡D地点1号土坑(SK01)実測図 (1/40)

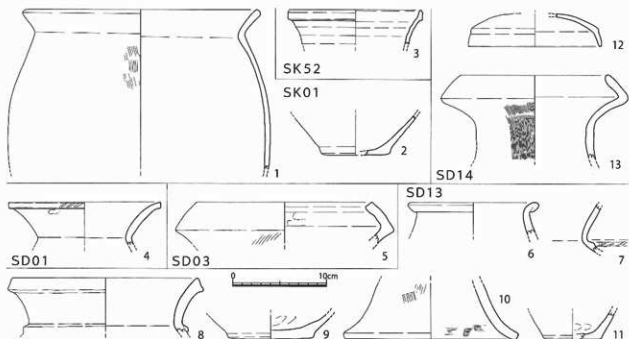


第 85 図 松/本遺跡E地点 1号土坑(SK01)実測図 (1/40)

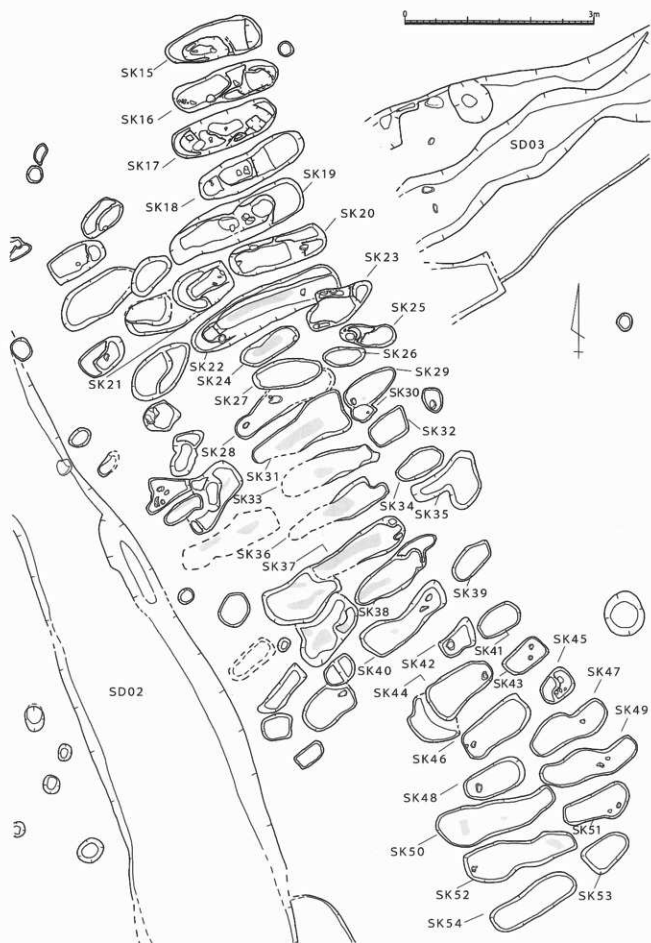
て記録がなされていたが、いわゆる波板状遺構と考えられる。1号溝状遺構が南側で確認できなくなったあたりから南側に検出されている。北北東-南南西方向に、13号(16号)溝状遺構を切って、東側の2号溝状遺構に沿ったラインで調査区北端まで続く。

出土遺物[第86図] 3は甕の頸部。

1号溝状遺構(SD01)[第83図 図版15の5・6]調査区の西側を北北東-南南西に走る溝状遺構で、波板状遺構の北側で消失しているが、波板状遺構と16号(13号)溝状遺構の間に不自然な切り合いがあり、未掘とも考えられる。1号溝状遺構は波板状遺構に沿うようにし



第 86 図 松/本遺跡E地点 1・52号土坑(SK01・52)、1・3・13・14号溝状遺構(SD01・3・13・14)出土遺物実測図 (1/4)



第 87 図 松ノ本遺跡E地点 15～54号土坑(SK15～54)実測図[1/60]

て存在する2号溝状遺構と平行に走る傾向も見受けられ、波板状遺構が1・2号の間の北側に延長していた可能性も考えられる。

出土遺物[第86図] 4はくの字状の口縁の甕。

3号溝状遺構(SD03)[第83図 図版15の6]調査区北端から出て南側に向かい、1号溝状遺構に切られる。

出土遺物[第86図] 5は複合口縁の壺

13号溝状遺構[第83図 図版15の8]波板状遺構に切られて西側に延びる溝状遺構で、おそらく東側の16号溝状遺構と連続しているものと思われる。

出土遺物[第86図] 6は壺の口縁。7・8は甕で口縁基部に三角の凸帯が巡り、7は刻み目が施される。10は器台か。11は平底の底部片。

14号溝状遺構[第83図]調査区東端から出て13号(16号)溝状遺構に切られる。

出土遺物[第86図]12は須恵器の坏蓋、13は複合口縁の壺の口縁。

4 総括

国伏遺跡は調査時に竪穴住居として検出された遺構が13基見つかったが、10・12号竪穴住居は複数の遺構が切り合っていると考えられ、実数はより多い。1～5号竪穴住居と6～13号竪穴住居は、1号溝状遺構付近で南北に分かれ、検出状況から比較的北側のグループの方が古いと考えられる。遺物量は少ないが1号溝状遺構から出土した須恵器には杯蓋のかえりが完全に消滅し、天井部が膨らみをもつもの(24図6)や非常に扁平なもの(24図5)がみられ、7～10号竪穴住居の出土遺物と併せて南側のグループは8世紀後半代と考えられる。

松ノ本遺跡A地点は古墳時代の竪穴住居3基、竪穴住居の可能性のある遺構1基(4号土坑)が確認されており、竪穴住居は4本柱で方形の3基とも北(北西)側壁中央にカマドを設けるものである。B地点における中心となる遺構は土坑墓54基、甕棺墓14基で形成される墓群である。甕棺の形式については橋口達也氏の『棺槨と弥生時代年代論』を参考とさせていただいた。甕棺墓は、調査区中心部に数条走る北東側から南西側に走る溝状遺構に対してほぼ並行に主軸を揃えており、1～8号甕棺墓が平均 $N-40^{\circ}-E$ で甕棺墓列を形成していると考えられるほか、その他に9・10・11号甕棺墓が平均 $N-20^{\circ}-E$ で、12・14号甕棺墓が平均 $N-16^{\circ}-E$ で群を成しているようである。八女市内の甕棺墓群や列をなす遺跡は、八女市文化財報告書122集を参照されたい。1・4・5・10(の上甕)・11・12号甕棺は口縁部が外側に三角に張り出す三角口縁で、2・3・6(の下甕)・8・9・10(の下甕)号甕棺がやや平坦、もしくは外に低く傾斜するものであるが、内側への張り出しはあまり顕著でなく、三角口縁が発達したものとみられ、これらはいずれも南筑後K I期に併行するものとみられる。そのうち6号甕棺墓の上甕が逆L字状を呈し内側に低く傾斜するものが最も新しく、南筑後K I c期とした。いずれも甕棺墓群は南筑後K I期に収まるものと考えられる。なお甕棺墓列(群)に属さない、東側に離れた箇所検出された13号甕棺についても、口縁部が三角口縁で上げ底を呈し、甕棺墓列と同時期か。

探出 遺物番号 発掘調査号	調査区	遺構	種類 器名	口径 長さ等 O内は復元 (cm)	底径 高さ O内は復元 (cm)	器高 長さ等 O内は復元 (cm)	残存	胎土素地	色調	調整
第9図1 R-2	国伏	SB-01 ①	須恵器 甕	(15.6)			4/5		灰白	外ナデ、回転ヘラズリ、ヨコ ナデ 内ナデ、ヨコナデ
第9図2 R-1	国伏	SB-01	土師器 甕	(9.6)			底部を吹く		外壁 内・明赤褐色	内外共摩耗のため不明
第9図3 R-3	国伏	SB-02 覆土	須恵器 杯	(13.8)			1/8	片岩を含む	外・明オリブ灰 内・灰白	内外共ヨコナデ
第9図4 R-10	国伏	SB-04 ①	土師器 甕	(25.8)			口縁部片	片岩を含む	外・浅黄褐色 内・ぶい貴様	外ヨコナデ 内ヨコナデ、ヘラ ズリ
第9図5 R-4	国伏	SB-03 ①	土師器 甕		(15.0)		底部片	片岩を含む	にぶい貴様	外・磨耗のため不明 内・ハケ 目
第9図6 R-9	国伏	SB-03 ②	土師器 把手				絶手		外にぶい壁 内・浅黄褐色	外・不明、ナデ 内・不明
第9図7 R-73	国伏	SB-04 カマド	石製品 碓石	(8.5)	3.3	2.9			灰オリブ	
第11図1 R-15	国伏	SB-05 No.1	須恵器 高台付杯	12.9	8.4	3.6	ほぼ完形	石英を多く含む	外・青灰 内・黄灰	外ヨコナデ、ナデ、ヘラズリ 内ヨコナデ、ナデ
第11図2 R-14	国伏	SB-05 No.2	土師器 甕		7.5		底部	石英を多く含む	外・壁 内・ぶい貴様	外・不明、ヘラ調整 内・ヘラ状 の工具で調整、不明
第11図3 R-11	国伏	SB-05 ②	須恵器 甕?				底部片		灰白	内外共タスキ目
第11図4 R-13	国伏	SB-05 ②	須恵器 甕?						外・赤灰 内・緑灰	
第13図1 R-5	国伏	SB-06 ③	土師器 杯	14.0		4.2	復元完形	1~2mm未満の石英・長石 を含む	橙	外ヨコナデ 内ナデ
第13図2 R-17	国伏	SB-06 ②	土師器 皿	(14.8)	(8.0)			0.5mm以下の片岩・長石 を含む	外・浅黄褐色 内・灰白	外・ヘラズリ 内ナデ
第13図3 R-19	国伏	SB-06 覆土	土師器 甕	(10.0)			底部を欠く	長石を含む	橙	外ヨコナデ 内ナデ
第13図4 R-20	国伏	SB-06 カマド	土師器 甕	(15.4)			口縁部片	長石を含む	外・明黄褐色 内・黄褐色	外ヨコナデ、不明 内ヨコナ デ
第13図5 R-21	国伏	SB-06 覆土	須恵器 甕	(16.0)			口縁部片	石英・長石を含む	にぶい貴様	内外共ヨコナデ
第13図6 R-12	国伏	SB-06 ①	土師器 甕	(16.0)			口縁~体 部片	石英を多く含む	にぶい貴様	外ヨコナデ、不明 内ヨコナ デ、ヘラズリ
第13図7 R-22	国伏	SB-06 カマド	赤生土器 甕			(8.4)	口縁部小 片	~2mm次の石英、赤色粒 子を含む	にぶい貴様	外ヨコナデ、ハケ目 内・不 明、ヘラズリ
第13図8 R-11	国伏	SB-06 ①	土師器 甕	(10.3)			口縁部片	1mm以下の長石、角閃石 を含む	外・壁 内・浅黄褐色	外ヨコナデ、ヘラズリ 内ヨ コナデ、不明、ハケ目
第13図9 R-18	国伏	SB-06 カマド	土師器 甕?	(22.5)			口縁部片	石英を多く含む	橙	外・口縁部付近ヨコナデ、ケ ズリ一部ハケ目、ナデ 内・口 縁部付近ヨコナデ、ナデ
第13図10 R-10	国伏	SB-06 ①	土師器 鉢	(26.4)			口縁部 1/8	~2mm次の角閃石の砂 粒、赤色粒子を含む	外にぶい壁 内・浅黄褐色	外ヨコナデ、ハケ目後ナデ 内ヨコナデ、ナデ
第13図11 R-16	国伏	SB-06 ②	須恵器 細片				細片		外・オリブ灰 内・青灰	外・格子目タタキ 内・青海泡 状文
第18図1 R-7	国伏	SB-07 覆土	土師器 甕	(14.3)	9.4	3.8	1/4	片岩の細砂粒を含む	外にぶい壁 内・壁	内外共ヨコナデ、ナデ
第18図2 R-8	国伏	SB-07 ②	土師器 甕	(14.8)	9.4	4.2	1/2	片岩・長石の細砂粒を含 む	外にぶい壁 内・灰白	外ヨコナデ、ナデ、回転ヘラ ズリ 内ヨコナデ、不 明
第18図3 R-9	国伏	SB-07 覆土	土師器 杯	(16.2)		(11.3)	1/3	精選されている	外にぶい壁 内・にぶい貴様	外ヨコナデ、ヘラズリ 内ヨ コナデ、不明
第18図4 R-23	国伏	SB-07	土師器 甕	(16.9)			口縁部片	~3mm次の片岩・石英の 砂粒を含む	外にぶい壁 内・淡赤褐色	外・口縁部付近ヨコナデ、ケ ズリ 内・口縁部付近ヨコ ナデ、ナデ
第18図5 R-24	国伏	SB-08 覆土	土師器 紡輪				1/2	~3mm次の片岩・長石・赤 色粒子を含む	橙	
第18図6 R-25	国伏	SB-10 カマド東 側	須恵器 杯	(14.1)			口縁部片	精選されている	外・灰白 内・灰白	外・回転ナデ、波線 内・回転 ナデ
第18図7 R-28	国伏	SB-10 カマド	土師器 甕	(16.1)			口縁部片	片岩・石英・角閃石の砂 粒を含む	外・灰白 内・にぶい壁	外・口縁部付近ヨコナデ、ハ ケ目 内・口縁部付近ヨコ ナデ、工具による調整、指押 文

第1表 国伏遺跡・松ノ本遺跡 出土遺物観察表 (1/9)

神宮 遺物番号 発掘調査番号	調査区	遺構	種類 器種	口径 最大径 O内は復元 (cm)	底径 最小径 O内は復元 (cm)	高さ 最大径 O内は復元 (cm)	残存	胎土素地	色調	調整
第18図8 R-28	国伏	SB-10 カマド	土師器 甕	(18.0)			口縁部片	片割・石英の砂粒, 3mm 大の石英も含む	外・覆 内には無い	外・口縁部付近ヨコナデ, ハ ケ目 内・口縁部付近ヨコナ デ, ヘラケズリ
第18図9 R-29	国伏	SB-10 覆土東側	土師器 甕	(23.8)			口縁部片	石英・角閃石・赤色粒子 の砂粒を含む	内には無い	内外共にヨコナデ, ハケ目
第18図10 R-27	国伏	SB-10 覆土東側	土師器 甕	(28.0)			口縁部片	~2.5mm大の片割・石英・ 角閃石の砂粒を含む	に無い	内外共に厚肉のため不明
第18図11 R-26	国伏	SB-10 カマド	土師器 甕	(26.6)			口縁部片	~1.5mm大の片割・角閃 石・赤色粒子の砂粒を含む	に無い	外・ハケ目, ケズリ後ナデ 内: 不明, ナデ
第18図12 R-30	国伏	SB-10 カマド	土師器 甕		3.7		底部片	片割・石英・角閃石の砂 粒を含む	外には無い	外・ケズリ, 不明 内・厚肉のた め不明
第21図1 R-31	国伏	SB-11	須恵器 甕				小片	精選されている	外・灰黄褐 内には無い	外・タタキ目 内・タタキ目, 青 海流状文
第21図2 R-34	国伏	SB-13	土師器 杯	(16.1)			口縁部片	石英・長石の砂粒, 赤色 粒子を含む	黄	外・ナデ, ヘラケズリ 内・ヨコ ナデ, ナデ
第21図3 R-32	国伏	SB-32	須恵器 甕?		(9.2)		底部片	石英・長石・赤色粒子の 砂粒, 5mm大の石英も含む	淡黄	外・ヨコナデ 内・不明
第21図4 R-33	国伏	SB-13	土師器 高杯	(10.4)			底部片	石英・長石の砂粒を少な く含む	黄	外・ヨコナデ, ナデ 内・ナデ調 整
第21図5 R-74	国伏	SB-13 覆土	石製品 砥石	13.3	6.2	2.0			灰白	
第23図1 R-64	国伏	SK-01	弥生土器		(6.0)		底部片	砂を多く含む	褐灰	ナデ
第23図2 R-75	国伏	SK-01	石製品 石包丁	(4.8)	(8.2)	(0.4)			灰	
第24図1 R-63	国伏	SD-01 ②板瓦北 側	須恵器 甕	(19.6)	(2.4)	(1.1)	重1/3片	長石を含む	灰白	外・ナデ, 回転ヘラケズリ, ヨコ ナデ 内・ナデ, ヨコナデ
第24図2 R-44	国伏	SD-01 ③覆土	須恵器 甕	(16.2)			口縁部片	1mm未満の長石を含む	灰白	外・回転ヘラケズリ, 回転ナ デ 内・ナデ
第24図3 R-42	国伏	SD-01 ③覆土	須恵器 甕	(16.2)			口縁部片	1mm未満の長石を含む	外・灰白 内・灰黄	外・回転ヘラケズリ, ヨコナデ 内・ナデ
第24図4 R-39	国伏	SD-01 ③覆土	須恵器 高杯	(14.0)			底部片	精選されている	外・灰褐 内・灰黄褐	内外共にナデ
第24図5 R-43	国伏	SD-01 ③覆土	須恵器 甕	(16.0)			口縁部片	精選されている	灰白	外・回転ヘラケズリ, ヨコナデ 内・回転ナデ
第24図6 R-41	国伏	SD-01 ③覆土	須恵器 甕	(20.0)			1/9	精選されている	灰黄	外・回転ヘラケズリ, ヨコナデ 内・ナデ
第24図7 R-45	国伏	SD-01 ③覆土	須恵器 甕				小片	5mm未満の石英, 1mm未 満の長石を含む	灰	外・回転ヘラケズリ 内・ナデ 後ハケ調整
第24図8 R-40	国伏	SD-01 ③覆土	須恵器 甕					石英・長石の砂粒を少な く含む	外・灰黄 内・灰白	内外共にヨコナデ
第24図9 R-62	国伏	SD-01 ②	須恵器 杯	(18.0)			口縁部片		灰白	外・ヨコナデ, ヘラケズリ 内・ヨ コナデ, ナデ
第24図10 R-37	国伏	SD-01 ③覆土	須恵器 杯	(16.6)	(13.0)	3.5	1/8	精選されている	灰白	内外共にヨコナデ, ナデ
第24図11 R-36	国伏	SD-01 ③覆土	須恵器 甕		(11.7)		底部片	片割・石英の細砂粒を含む	外・灰白 内・灰黄	内外共にナデ
第24図12 R-38	国伏	SD-01 ③覆土	須恵器 高台付杯		(8.9)		底部片	長石の細砂粒を含む	灰白	外・ナデ, ヘラケズリ 内・ヨコ ナデ, ナデ
第24図13 R-59	国伏	SD-01 ②	須恵器 甕	(10.2)			底部片	精選されている	外・灰白 内・灰黄	外・ヨコナデ, ナデ 内・ナデ
第24図14 R-61	国伏	SD-01 ①	須恵器 甕		(6.6)		底部片	1mm未満の長石を含む	灰白	外・ヨコナデ, ナデ, 回転ヘラ ケズリ 内・ナデ
第24図15 R-48	国伏	SD-01 ③	須恵器 杯				底部片	精選されている	灰白	外・ナデ, ヘラケズリ 内・ヨコ ナデ, ナデ
第25図16 R-60	国伏	SD-01	須恵器 甕	(14.3)			口縁部片	1mm未満の長石を含む	灰白	外・ナデ, ヨコナデ 内・ヨコナデ
第25図17 R-46	国伏	SD-01	須恵器 カマ	(19.0)			口縁部片	僅かに長石, 精選されて いる	灰白	外・ナデ, ヨコナデ, 格子目タ タキ 内・ヨコナデ, 同心円状 の当て具後ナデ

第1表 国伏遺跡・松ノ本遺跡 出土遺物観察表 (2/9)

探検 遺物番号 実測図番号	調査区	遺構	種類 器種	口径 長さ等 O内は復元 (cm)	底径 幅等 O内は復元 (cm)	器高 厚さ等 O内は復元 (cm)	残存	胎土素地	色調	調査
第25図18 R-47	国伏	SD-01	須恵器 甕	(20.7)			口縁部片	精選されている。1mm未満の長石を含む	外・灰黄褐 内・灰白	外・ヨコナデ、タタキ 内・ヨコナデ、同心内状のタタキ後ナデ
第25図19 R-35	国伏	SD-01	須恵器 甕	(16.0)			底部片	1mm未満の片岩・長石の砂粒を含む	外・灰 内・灰黄	外・ケズリ 内・ナデ調整
第25図20 R-58	国伏	SD-01	須恵器 甕	(46.0)			口縁部片	長石を含む	外・灰 内・灰白	外・ヨコナデ 内・ヨコナデ後ハケ状の工具による調整、ヨコナデ
第25図21 R-67	国伏	SD-01	土師器 把手片	3.9	3.4	1.8	破片	砂を含む	橙	外・ナデ 内・ヘラケズリ
第25図22 R-70	国伏	SD-01	土師器 把手片	5.4	3.8	2.5	破片	砂を含む	橙	ナデ
第25図23 R-71	国伏	SD-01	土師器 把手片	3.5	4.7	2.5	破片	砂を含む	橙	
第25図24 R-49	国伏	SD-01	土師器 把手片	3.4	2.6	2.0	破片	砂を含む	橙	ナデ
第25図25 R-68	国伏	SD-01	土師器 把手片	3.3	3.3	2.8	破片	砂を含む	にぶい橙	外・ナデ 内・ヘラケズリ
第25図26 R-81	国伏	SD-01	土師器 土罐	4.3	1.4	1.4	ほぼ完整	砂を含む	黄褐色	
第25図27 R-72	国伏	SD-01	土製品 輪羽口	4.3	5.2	2.0	破片	1mm～2mmの長石、石英を含む	外・黒褐 内・橙	
第28図1 R-57	国伏	SX-02	須恵器 甕		(7.8)		底部片	長石を含む	灰	外・ヨコナデ、ナデ、ヘラケズリ 内・ナデ
第28図2 R-46	国伏	SX-02 ①	須恵器 長頸壺				胴中央部片	長石を含む	外・灰白 内にぶい黄橙	外・ヨコナデ、タタキ後カキ目、カキ目 内・ヨコナデ、ナデ、カキ目
第28図3 R-52	国伏	SX-02	須恵器		(13.1)		底部片		外・灰 内・灰黄	外・タタキ、ヘラケズリ 内・青黒褐色文後ヘラナデ、ヘラケズリ後ヘラナデ
第28図4 R-56	国伏	SX-02	須恵器 甕	(18.1)			口縁部片	長石を含む	灰	内外共にヨコナデ
第28図5 R-51	国伏	SX-02	須恵器				小片	長石、石英を含む	外・黄灰 内・灰白	外・椅子目タタキ、ヘラケズリ 内・青黒褐色文
第28図6 R-53	国伏	SX-02	須恵器				小片	長石を含む	外・灰白 内・黄灰	外・タタキ 内・タタキ目
第29図1 R-85	国伏	P-06	土師器 坪	(13.9)			口縁部片	石英・長石を少し含む	橙	
第29図2 R-82	国伏	P-03	土師器 土罐	5.5	1.6	1.6	3/4片	赤粒が混ざる	橙	
第30図1 R-54	国伏	表探	瓦器 甕	(14.0)			口縁部片	石英を含む	外・黒褐 内にぶい黄橙	外・ヘラ調整 内・ハケ状の工具による調整
第30図2 R-55	国伏	表探	須恵器 甕		(7.3)		底部片		外・灰褐 内にぶい橙	外・ナデ、底部ヘラケズリ 内・ヘラケズリ
第30図3 R-49	国伏	表探	須恵器				小片		外・灰 内・灰白	内外共にタタキ
第30図4 R-50	国伏	表探	須恵器 細片				小片		灰白	外・椅子目タタキ後ハケ目 内・タタキ
第33図1 R-7	松ノ本 A地点	SB-01 覆土	須恵器 甕		(15.7)		1/4	～6mmの片岩・石英の砂粒を含む	外・黄灰 内・灰	外・摩耗したカキ目、不明 内・ヨコナデ
第33図2 R-108	松ノ本 A地点	SB-01 覆土	須恵器 甕	(14.0)			口縁部片	精選されている	にぶい黄橙	外・ナデ、摩耗したヨコナデ 内・ナデ、ヨコナデ
第33図3 R-10	松ノ本 A地点	SB-01 覆土	須恵器 坪	(14.2)			口縁部片	精選されている	灰	外・回転ナデ 内・ヨコナデ
第33図4 R-101	松ノ本 A地点	SB-01 下層	須恵器 坪身	(12.4)			口縁部片	精選されている	灰	外・ヨコナデ、ナデ、回転ヘラミガキ 内・ヨコナデ、ナデ
第33図5 R-8	松ノ本 A地点	SB-01 No.3	須恵器 坪	(14.8)			口縁部片	やや精選されている。～1mm大の片岩の砂粒を僅かに含む	灰	内外共に回転ナデ
第33図6 R-3	松ノ本 A地点	SB-01 No.1	須恵器？ 坪身	(14.0)			口縁部細片	精選されている。赤色粒子を含む	にぶい橙	内外共にヨコナデ
第33図7 R-102	松ノ本 A地点	SB-01 覆土	土師器 坪	(17.0)			口縁部片	～0.5mm大の片岩・砂粒をわずかに、赤色粒子も含む	外・赤 内にぶい黄橙	内外共にナデ

第1表 国伏遺跡・松ノ本遺跡 出土遺物観察表 (3/9)

神田 遺物番号 発掘調査号	調査区	遺構	種類 等	口縁 径等 O内径は実寸 (cm)	底径 径等 O内径は実寸 (cm)	壁厚 厚さ等 O内径は実寸 (cm)	残存	胎土素地	色調	調整
第33図8 R-4	松ノ木 A地点	SB-01 覆土	土師器 甕	(20.0)			口縁部片	～1.5mmの片岩・石英の 砂粒、8mm大の石英・赤色 粒子を含む	外にぶい襷 内襷	外ハケ目後ヨコナデ 内襷 純したハケ目
第33図9 R-112	松ノ木 A地点	SB-01 覆土	土師器				口縁部小 片	～2mmの片岩の砂粒、赤 色粒子を含む	外襷黄緑 内にぶい襷	外ハケ目 内ヘラケズリ
第33図10 R-107	松ノ木 A地点	SB-01 覆土	土師器 壺	(13.4)			口縁部～ 胴部片	～3mmの片岩・石英・赤 色粒子、8mm大の石英を 含む	にぶい襷	外襷純したハケ目、内明・内 ヘラ調整
第33図11 R-5	松ノ木 A地点	SB-01 覆土	瓦葺土器 甕	(17.2)			口縁部片	～4mmの片岩・石英を含 む	黄灰	外ハケ目 内不明
第33図12 R-104	松ノ木 A地点	SB-01 覆土	土師器 甕	(18.2)	(5.5)	14.4	3/5	5mm大のもの、片岩・石 英・長石を含む	淡黄緑	外ハケ目後ヨコナデ、ハケ 目、タテヨコ方向にハケ目 内ハケ目後ヘラケズリ、ヘラ ケズリ
第33図13 R-1	松ノ木 A地点	SB-01 覆土	土師器 甕	(30.0)			口縁部片	～4mmの片岩・石英・砂 粒、赤色粒子を含む	襷	外不明 内ヘラケズリ
第33図14 R-109	松ノ木 A地点	SB-01 覆土	土師器 甕?		(7.2)		底部片	2mm大の片岩・石英・赤色 粒子を含む	外にぶい黄 内襷黄緑	外ハケ目 内ヘラケズリ
第33図15 R-110	松ノ木 A地点	SB-01 覆土	土師器 甕	(12.1)			口縁部片	片岩・長石・角閃石・赤色 粒子を含む	外にぶい襷 内襷	外不明、摩耗したハケ目 内: ナデ、ヘラケズリ
第33図16 R-9	松ノ木 A地点	SB-01 覆土	土師器 取手	5.5	9.2	4.1	把手片	～2mmの石英、～3mmの 片岩を含む	にぶい襷	摩耗したナデ
第33図17 R-6	松ノ木 A地点	SB-01 覆土	土師器 把手	8.0	3.5	4.1	把手部	～2mmの石英・砂粒、赤色 粒子を多く含む	淡黄緑	ナデ後ハケ目
第33図18 R-113	松ノ木 A地点	SB-01 覆土	土師器 把手	9.2	3.7	4.2	把手部		襷	摩耗のため不明
第33図19 R-111	松ノ木 A地点	SB-01 覆土	手づくね土 器				底部片	～1.5mmの片岩・石英の 砂粒を含む	にぶい襷	ナデ
第34図1 R-103	松ノ木 A地点	SB-01 方マド内	須恵器 高坪	(18.0)	(13.7)	14.0	微丸完形	～2.5mm大の片岩・石英 の砂粒、赤色粒を含む	外明赤褐 内襷	外カキ目、やや摩耗したカ キ目、内明・内不明、ナデ
第34図2 R-190	松ノ木	SB-01 No.2	須恵器 脚部片				脚部片	赤色粒子を多く、長石も 少々含む	襷	内外共ナデ
第34図3 R-108	松ノ木 A地点	SB-01 方マド内	土師器 甕	(22.8)			口縁部片	～2mmの片岩・石英の砂 粒を含む	外にぶい襷 内にぶい黄褐	外ハケ目 内ヘラケズリ
第34図4 R-183	松ノ木	SB-01 東側土層	土師器 甕	(18.2)	(4.7)	14.2	1/3片	片岩・石英・長石を含む	外にぶい黄褐 内明黄褐	外ハケ目、体部下ヘラ調整 内ヘラケズリ
第37図1 R-115	松ノ木 A地点	SB-02 覆土	須恵器 杯身	(13.1)			口縁部片	精選されている、赤色粒 子を含む	外にぶい黄 内にぶい黄褐	外ヨコナデ、ヘラ調整 内襷 純のため不明
第37図2 R-114	松ノ木 A地点	SB-02 No.1	須恵器 杯身	(16.0)			口縁部片	～1mm大の片岩の砂粒を 含む	襷	外襷純のため不明 内ナデ
第37図3 R-123	松ノ木 A地点	SB-03 西側下層	須恵器 杯身				1/4	精選されている	灰	外回転ナデ、回転ヘラケズ リ 内回転ナデ
第37図4 R-12	松ノ木 A地点	SB-03 No.4	須恵器 杯	(14.3)			口縁部片	精選されている		外ヨコナデ、回転ナデ、回転 ヘラケズリ 内回転ヨコナデ
第37図5 R-11	松ノ木 A地点	SB-03 北側覆土	須恵器 杯身	(13.9)			口縁部片	～2mm大の長石の砂粒を 含む		外ヨコナデ、ナデ 内ヨコナデ
第37図6 R-124	松ノ木 A地点	SB-03 下層	土師器 下層	(13.4)		4.6	4/5	片岩・砂粒、赤色粒子を 多く含む	外にぶい黄褐 内襷	外ヨコナデ、ヘラ調整 内ヨコ ナデ、やや摩耗したナデ
第37図7 R-105	松ノ木 A地点	SB-03 東側覆土	土師器 杯	(14.0)			口縁部片	精選されている、～1mm 大の石英を僅かに含む	明赤褐	内外共不明
第37図8 R-120	松ノ木 A地点	SB-02 覆土	須恵器 杯	(14.0)			口縁部片	精選されている、赤色粒 子を含む	外明赤褐 内にぶい黄褐	外襷純のため不明 内不明
第37図9 R-116	松ノ木 A地点	SB-02 覆土	土師器 甕	(20.2)			口縁部片	～3mmの片岩・石英、～6 mm大のものを含む	外明赤褐 内襷	外襷純のため不明 内不明 一部ハケ目、ヘラケズリ
第37図10 R-122	松ノ木 A地点	SB-03 No.3	土師器 甕	(18.7)			口縁部片	～3mm大の片岩を含む	にぶい襷	外ハケ目 内ヘラケズリ
第37図11 R-119	松ノ木 A地点	SB-02 覆土	土師器 甕	(20.2)			口縁部片	～2mmの片岩・長石を含 む	襷	外ハケ目後ヨコナデ 内ナ デ
第37図12 R-186	松ノ木	SB-03 南側覆土	土師器 甕				口縁部片	～2mm大の片岩・石英・ 長石、赤色粒子を含む	外襷 内にぶい襷	外ハケ目 内ヘラ調整
第37図13 R-117	松ノ木 A地点	SB-02 覆土	土師器 甕	(24.1)			口縁部片	～2mmの片岩・石英を含 む	外襷 内黄褐	外襷純のため不明 内ヘラ 調整

第1表 国伏遺跡・松ノ木遺跡 出土遺物観察表 (4/9)

標記 遺物番号 測図番号	調査区	遺構	種類 器種	口径 長さ等 O内は底元 (cm)	底径 幅等 O内は底元 (cm)	高さ 厚さ等 O内は底元 (cm)	残存	胎土素地	色調	調整
第37図14 R-121	松ノ本 A地点	SB-03 No.1	土師器 甕	(14.0)			口縁部片	～2mm大の石英・赤色粒 子を含む	外明赤褐色 内にふい煙	外ヨコナデ、ハケ目、不明 内不明、ヘラケズリ
第37図15 R-118	松ノ本 A地点	SB-02 覆土	土師器 甕	(16.0)			口縁部片	1.5mm大の片岩・石英と 小さな長石を含む	外にふい煙 内にふい煙	外ヨコナデ、ハケ目後ナデ 内不明、ヘラケズリ
第37図16 R-14	松ノ本 A地点	SB-03 No.2	土師器 甕	(32.3)			口縁部片	～3mmの片岩・赤色粒 子を含む	煙	外ハケ目 内タテ方向へう 調整
第37図17 R-15	松ノ本 A地点	SB-03 東側覆土	土師器 取手	5.5	4.0	2.8	把手片	～6mm大の片岩・石英 を含む	明赤褐色	
第37図18 R-13	松ノ本 A地点	SB-03 No.4	土師器 取手	8.3	4.4	3.8	把手片	片岩・赤色粒子を含む	にふい煙	
第38図 R-19	松ノ本 A地点	SB-02 覆土	石製品 石版	2.3	1.5	0.6			暗灰	
第41図1 R-136	松ノ本 A地点	SK-01 2段下層	土師器？ 須恵器？ 杯	(12.3)			口縁部片	精選されている、赤色粒 子を含む	にふい煙	外不明 内ミガキがかかる
第41図2 R-134	松ノ本 A地点	SK-01 下層	土師器 甕				口縁部片	片岩・石英・赤色粒子を 含む	外煙 内にふい煙	外不明 内ハミガキ
第41図3 R-131	松ノ本 A地点	SD-03 東側	土師器 甕				口縁部片	～2mm大の片岩・石英を 含む	にふい煙	外ヨコナデ、キザミ、ナデ 内ナデ
第41図4 R-184	松ノ本 A地点	SD-09 東側上層	土師器 甕	(21.9)			口縁部片	1～2mm大の片岩・石英・ 長石を含む	外明黄褐色 内にふい煙	外ナデ、摩耗したキザミ 内ナデ
第41図5 R-127	松ノ本 A地点	SD-09 南側覆土	土師器 甕	(24.4)			口縁部片	片岩・石英・長石を含む	にふい煙	内外共ヨコナデ、ナデ
第41図6 R-128	松ノ本 A地点	SD-09 南側覆土	土師器 甕	(8.4)			底部片	～5mm大の小石、片岩・石 英を含む	外淡黄褐色 内暗褐色	外摩耗のため不明、底部ナ デ 内不明
第41図7 R-188	松ノ本 A地点	SD-09 南側下層	土師器 甕	(7.7)			底部片	4mm大の石英・赤色粒 子を含む	外にふい煙 内暗褐色	
第41図8 R-185	松ノ本 A地点	SD-09 東側上層	土師器 甕	(7.8)			底部片	～7mmの砂粒、片岩・石 英・長石を含む	外煙 内明黄褐色	外ハケ目の工具による調整 内ナデ
第41図9 R-130	松ノ本 A地点	SD-09 南側覆土	弥生土器 甕	(9.8)			底部片	～3mmの片岩・石英・長 石・角閃石を含む	煙	外不明 内ハケ目
第41図10 R-129	松ノ本 A地点	SD-09 南側覆土	土師器 小鉢	(8.0)			1/4片	石英・片岩・角閃石を含む	外明暗灰 内灰白	外ナデ、へう調整 内ナデ
第41図11 R-192	松ノ本 A地点	SD-10 No.1	土師器 甕	(21.2)			口縁部一 部片	～4mmの砂粒、片岩・石 英・赤色粒子を含む	煙	外ハケ目、広いハケ目 内 ハケ目、ヘラケズリ
第42図1 R-132	松ノ本 A地点	SD-11 東側	土師器 短頸甕	(12.3)			口縁部片	片岩・石英を含む	にふい煙	外摩耗のため不明 内ナデ
第42図2 R-16	松ノ本 A地点	SD-11 西上層	弥生土器 甕	(13.8)			口縁部片	～2mm大の片岩・石英・角 閃石の砂粒を多く含む	煙	不明、キザミ、ハケ目
第42図3 R-187	松ノ本 A地点	SD-11 北側覆土	弥生土器 甕	(20.4)			口縁部片	2mm未満の赤色粒子・雲 母・石英を含む	外にふい煙 内にふい煙	外摩耗のため不明 内ヨコ ナデ
第42図4 R-126	松ノ本 A地点	SD-11 No.1	弥生土器 甕	13.6	6.9	26.6	ほぼ完形 (口縁部 1/2欠損)	～2.5mm大の片岩・石英 の砂粒を多く含む	明黄褐色	外体部にハケ目、指圧痕。 底部摩耗のため不明 内ハ ケ目、不明
第42図5 R-189	松ノ本 A地点	SD-11 下層	弥生土器 甕	(9.4)			底部片	1～2mm大の石英・片岩・ 角閃石を含む	にふい煙	外ハケ目、ヨコナデ、底部摩 耗のため不明 内ハケ目
第42図6 R-17	松ノ本 A地点	SD-11 No.3	土師器 甕	(7.3)			底部片	～4mm大の片岩・石英・ 赤色粒子を含む	煙	外摩耗したハケ目 内不明
第43図1 R-151	松ノ本 A地点	SB-01 No.3	石製品 砥石	8.4	5.8	3.8			灰白	
第43図2 R-149	松ノ本 A地点	SD-11 下層	石製品 砥石	5.5	4.6	3.7				
第43図3 R-150	松ノ本 A地点	SX-01	石製品 すり石	8.1		7.1				
第44図1 R-137	松ノ本 A地点	SX-01 No.1	土師器 二重口縁甕	(17.0)			口縁部片	～4mm大の片岩・石英の 砂粒を含む	淡黄褐色	外摩耗したハケ目、ナデ 内 ヨコナデ、ナデ
第44図2 R-133	松ノ本 A地点	西側覆土	土師器 杯	(14.0)			口縁部片	～1mm大の片岩、赤色粒 子を含む	にふい煙	外摩耗のため不明 内不明
第44図3 R-18	松ノ本 A地点	SX-02 最下層	土師器 甕		10.4		底部片	～3mm大の片岩・石英・ ミナコ、赤色粒子も含む	外淡黄褐色 内黄褐色	外ハケミガキ 内ハケ目

第1表 国史遺跡・松ノ本遺跡 出土遺物観察表 (5/9)

国 道 遺 跡 調 査 区 分 調 査 区 分 調 査 区 分	調査区	遺構	遺構 種類	口縁 長さ等 (円内は復元 cm)	底縁 幅等 (円内は復元 cm)	断面 高さ等 (円内は復元 cm)	残存	出土品	色調	調査
第44図4 R-125	松ノ本 A地点	SB-03 付近表層	土師器 蓋?	(28.2)			口縁部片	4mm大の小石を含む	橙	外ヨコナデ、ハケ目 内不明、ヘラ調整
第46図 R-154	松ノ本 B地点	SB-03 No.7 No.8	土師器 蓋		(8.4)		1/8		灰青	ナデ
第47図1 R-28	松ノ本 B地点	SB-03 No.8	弥生土器 蓋	(32.0)			口縁部片	～1mm大の片岩・角閃石の砂粒、赤色粒子を含む	橙	外キザミ目、ナデ、ヨコナデ内ナデ
第47図2 R-29	松ノ本 B地点	SB-03 No.8	弥生土器 蓋	(25.9)			口縁部片	～2mm大の片岩・石英の砂粒、5mm大のものを含む	にぶい黄橙	外ヨコナデ、不明 内不明、ヨコナデ
第47図3 R-30	松ノ本 B地点	SB-03 No.8	土師器 蓋		(9.0)		底部片	～3mmの石英を含む	淡黄橙	外・底縁したミガキ 内・底縁したヘラ調整
第47図4 R-153	松ノ本 B地点	SB-03 No.8	弥生土器 蓋		5.6		底部、胴部片	～3mm大の片岩・角閃石の砂粒を多く含む	外・底縁ににぶい黄橙	外不明、ハケ目 内・底縁のため不明
第47図5 R-152	松ノ本 B地点	SB-03 No.8	弥生土器 蓋	(26.1)			口縁～胴部片	～6mm大とやや大きめの片岩・石英の砂粒を多く含む	外・底縁 内・淡黄	外・底縁したハケ目、ヨコナデ、キザミ目、不明 内不明、ハケ目
第47図6 R-31	松ノ本 B地点	SB-03 No.3	土師器 高杯		(15.7)		胴部片	～3mmの小石を含む	外・底縁ににぶい黄橙	外ミガキ、ヨコナデ 内ミガキ、ナデ
第49図 R-316	松ノ本 下層(北)	K-02 下層(北)	弥生土器 蓋	57.6	12.2	82.8	3/4	～3mm大の片岩、石英、角閃石の砂粒を含む	にぶい黄橙	外ヨコナデ、ナデ 内ヨコナデ、ハケ目
第49図 R-317	松ノ本 B地点	K-02	弥生土器 蓋	58.2	10.8	84.9	5/6	～2.5mm大の片岩、石英の砂粒を含む	外・底縁ににぶい黄橙	ヨコナデ、ナデ
第50図 R-306	松ノ本 B地点	K-02 上層	蓋	(40.0)			口縁～胴部片	～1.5mm大の砂粒を含む。赤色粒子を含む	外ににぶい黄橙 内・淡黄	外ナデ、ハケ目 内ナデ
第50図 R-310	松ノ本 B地点	K-02	蓋			(5.7)	小片	～2mm大の片岩、石英、角閃石の砂粒を含む	外・底縁 内・淡黄	ナデ
第50図 R-311	松ノ本 B地点	K-02	蓋	31.8	6.2	35.2	3/5	～1.5mm大の片岩の砂粒を含む	明橙	外ヨコナデ、ハケ目 内ヨコナデ、ナデ
第51図 R-309	松ノ本 B地点	K-02	弥生土器 蓋	10.5		(9.1)	口縁部片	～1.5mm大の片岩、石英の砂粒を含む	橙	
第52図 R-314	松ノ本 B地点	K-03 上層	弥生土器 蓋	(71.4)		(74.0)	口縁～胴部片	～2.5mm大の片岩、石英の砂粒を含む。赤色粒子を含む	外・明橙 内・にぶい黄橙	ナデ、ハケ目
第52図 R-501	松ノ本 B地点	K-03 下層	蓋	(78.0)		(71.0)	口縁～胴部片	～1mm大の片岩、石英、角閃石の砂粒を含む。赤色粒子を含む	外・底縁ににぶい黄橙	ヨコナデ、ハケ目
第53図 R-300	松ノ本 B地点	K-03	縄文土器 鉢			(2.1)	口縁部小片	～1mm大の片岩、石英、角閃石の砂粒を含む	外ににぶい黄橙 内・黒褐	キザミ
第54図 R-302	松ノ本 B地点	K-04 下層	蓋	(39.0)		(52.0)	口縁～胴部片	～3mm大の片岩を含む。赤色粒子を含む	にぶい黄橙	ハケ目、ヨコナデ
第55図 R-313	松ノ本 B地点	K-05 上層	弥生土器 蓋	(59.3)		(35.2)	口縁～胴部片	～3mmの片岩と石英の砂粒を含む	橙	ナデ
第55図 R-303	松ノ本 B地点	K-05 下層	蓋	(61.8)	13.2	80.8	1/2	～4mm大の片岩、石英、角閃石の砂粒を含む	外・底縁ににぶい黄橙	
第56図 R-505	松ノ本 B地点	K-06 上層	弥生土器 蓋	(63.0)		(22.0)	口縁～胴部片	片岩を多く含む	外・底縁ににぶい黄橙	ハケ目
第56図 R-506	松ノ本 B地点	K-06 上層	弥生土器 蓋			(24.8)	胴部片	片岩を多く含む	外・底縁ににぶい黄橙	
第56図 R-301	松ノ本 B地点	K-06 下層	蓋			(76.8)	口縁～胴部片	～2.5mm大の片岩・石英の砂粒を含む。赤色粒子を含む		
第57図 R-504	松ノ本 B地点	K-08 上層	土師器 蓋	(32.2)		(29.0)	口縁～胴部片	片岩、赤色粒子を多く含む	外・淡黄橙 内・淡黄	ヨコナデ
第57図 R-502	松ノ本 B地点	K-08 下層	蓋	(32.6)		(35.8)	口縁～胴部片 1/3	～3mm大の片岩とわずかに角閃石を含む		外ヨコナデ、ハケ目 内ヨコナデ
第59図 R-507	松ノ本 B地点	K-09 上層	蓋	(56.4)		(29.7)	口縁～胴部片	～3mmの片岩、石英、長石をやや多く含む		
第59図 R-307	松ノ本 B地点	K-09 下層	蓋			(76.0)	口縁～胴部片	～4mm大の片岩、石英、角閃石の砂粒を含む		
第60図 R-315	松ノ本 B地点	K-10 下層	弥生土器 蓋	(65.6)	10.8	79.0	底部と口縁部片	～2mm大の片岩、石英の砂粒を含む。赤色粒子を含む	橙	ハケ目
第60図 R-304	松ノ本 B地点	K-10 上層	蓋	(68.)		(80.0)	2/5	～4mm大の片岩、石英の砂粒を含む	外・底縁ににぶい黄橙	ヨコナデ、ハケ目

第1表 国史遺跡・松ノ本遺跡 出土遺物観察表 (6/9)

探跡 遺物番号 表層図番号	調査区	遺構	種類 器種	口縁 径・等 O内は復元 (cm)	底径 径・等 O内は復元 (cm)	最大 厚さ等 O内は復元 (cm)	残存	胎土質地	色調	調整
第61図 R-305	松ノ本 B地点	K-11		(52.)			口縁部片 と胴部片	～2.5mm大の片岩・角閃 石の砂粒を含む		
第62図 R-308	松ノ本 B地点	K-12		(30.1)			口縁部片	～3.5mm程の片岩・石英 をやや多く含む		
第63図 R-308	松ノ本 B地点	K-13					2/3	～2.5mm大の片岩・石英 の砂粒を含む		
第64図 R-312	松ノ本 B地点	K-13					底部片	～3mm大の片岩・石英の 砂粒を含む		
第65図1 R-160	松ノ本 B地点	SK-01 土坑	土師器 蓋	-	6.	-	底部、胴 部片		外・透黄褐色 内にふい黄褐色	外・やや摩耗したミガキが かかる。底部ナデ 内・摩耗して 不明、指圧痕
第66図2 R-35	松ノ本 B地点	SK-04	弥生土器 蓋	(22.)	-	-	口縁部片	～4mm大の片岩・石英の 砂粒を多く、赤色粒子も 含む	にふい黄褐色	外・ヨコナデ、指圧痕 内・不明
第66図3 R-159	松ノ本 B地点	SK-10 土器蓋	土師器 蓋	-	(8.)	-	底部片	～3mm程の小石を含む	外・明赤褐色 内・外	外・ナデ、不明 内・不明
第66図4 R-155	松ノ本 B地点	SD-01 ②	土師器 蓋	-	(9.2)	-	底部片	～4mmの石英等を含む	外・にふい黄褐色 内にふい黄褐色	外・不明一部ハケ目、不明 内・不明
第66図5 R-157	松ノ本 B地点	SD-03 No.2	土師器 蓋	-	10.	-	底部片	～4mmの石英・長石・角 閃石を含む	外・淡赤褐色 内にふい黄褐色	外・摩耗したハケ目、ヨコナ デ、ナデ 内・ハケ目調整
第66図6 R-158	松ノ本 B地点	SD-03	土師器 蓋	-	8.	-	底部片	～5mmの石英・長石を含 む	外・透黄褐色 内・透黄褐色	外・やや摩耗したハケ目、不 明 内・ハケ目、ナデ
第66図7 R-32	松ノ本 B地点	SD-05 ①中P01	土師器 蓋	-	(7.2)	-	底部片	6mm大の小石を含む	外・明黄褐色 内・透黄褐色	外・ハケ目後ヨコナデ、ハケ 目 内・ハケ目、指圧痕
第66図8 R-34	松ノ本 B地点	SD-17 遺土北側	土師器 蓋	(13.8)	-	-	口縁部片	片岩の細砂粒を含む	灰	外・回転ヘラケズリ、ナデ 内・ ヨコナデ
第66図9 R-156	松ノ本 B地点	SD-10 ①	土師器 二重口縁蓋	(16.5)	-	-	口縁部片	～3mmの小石を多く含む	外・にふい黄 内・黒褐色	外・不明 内・ヨコナデ
第66図10 R-33	松ノ本 B地点	SD-13 ①	土師器 蓋	(10.2)	-	-	口縁部片	～8mm大の小石を含む	外・透黄褐色 内・灰白	外・大小混ざったハケ目 内・摩 耗したへう調整
第71図 R-9	松ノ本 B地点	SK-31	石製品 石皿	4.9	1.7	4			灰	
第74図1 R-163	松ノ本 B地点	P-06	弥生土器 蓋	(28.)	-	-	口縁部片	～2.5mm大の片岩・石英 の砂粒、赤色粒子を含む	にふい黄褐色	外・ヨコナデ、摩耗 内・ヨコナ デ、不明
第74図2 R-164	松ノ本 B地点	P-08	弥生土器 蓋	6.8	-	-	底部	～2mm大の片岩・石英・長 石の砂粒を含む	外・明黄褐色 内にふい黄褐色	外・摩耗したハケ目、へう調 整、不明 内・ナデ
第74図3 R-166	松ノ本 B地点	P-45	弥生土器 蓋	-	(8.7)	-	底部片	～3mm大の片岩・石英の 砂粒を多く含む	外・にふい黄褐色 内にふい黄褐色	外・摩耗のため不明 内・不明
第74図4 R-181	松ノ本 B地点	P-05	弥生土器 蓋	-	(7.8)	-	底部片	～5.5mm大の片岩・石英・ 角閃石の砂粒を含む	外・外 内・灰白	外・不明 内・へう状工具によ る調整
第74図5 R-182	松ノ本 B地点	P-06	弥生土器 鉢	-	-	-	口縁部片	片岩の細砂粒、赤色粒 子を僅かに含む	にふい黄褐色	外・ハケ目 内・ナデ
第74図6 R-185	松ノ本 B地点	P-23	弥生土器 器台	7.4	10.7	9.5	1/2	～2mm大の片岩・石英の 砂粒を含む	外・外 内にふい黄褐色	外・へう調整 内・ナデ、へう調 整、不明
第76図1 R-37	松ノ本 B地点	トレンチ 4号	弥生土器 蓋	(18.2)	-	-	口縁部片	赤色粒子を含む	にふい黄褐色	外・不明 内・ハケ目
第76図2 R-38	松ノ本 B地点	トレンチ 4号中層	弥生土器 蓋	(22.6)	-	-	口縁部片	小石を含む	外・にふい黄 内・外	内・外共口縁部付近ハケ目 後ヨコナデ、ハケ目
第76図3 R-177	松ノ本 B地点	トレンチ 3号	縄文土器 深鉢	(22.6)	-	-	口縁部片	長石・石英・角閃石を含 む	外・にふい黄褐色 内にふい黄褐色	外・ヨコナデ、ギザミ目、不明 内・ナデ
第76図4 R-42	松ノ本 B地点	トレンチ 6号下層	縄文土器 蓋	-	-	-	口縁部片	～3mm大の片岩・石英の 砂粒を含む	外・にふい黄褐色 内・外	外・ギザミ目、不明 内・不明
第76図5 R-175	松ノ本 B地点	トレンチ 3号	弥生土器 蓋	(18.)	-	-	口縁部片	～2.5mm大の片岩の砂粒 を多く含む	外・明黄褐色 内にふい黄褐色	外・摩耗のため不明 内・ヨコ ナデ
第76図6 R-44	松ノ本 B地点	トレンチ 3号道土	弥生土器 蓋	-	-	-	口縁部片	～3mm大の片岩・石英・ 角閃石を含む	にふい黄褐色	外・へう調整後ヨコナデ 内・不 明
第76図7 R-176	松ノ本 B地点	トレンチ 3号	弥生土器 蓋	-	-	-	口縁部小 片	～3mm大の片岩・石英の 砂粒を多く含む	明黄褐色	外・不明 内・摩耗のため不明
第76図8 R-170	松ノ本 B地点	トレンチ 1号道土	土師器 蓋	-	-	-	口縁部片		外・透黄褐色 内・灰白	外・透い沈着、ヨコナデ 内・ナ デ

第1表 国伏遺跡・松ノ本遺跡 出土遺物観察表 (7/9)

検出 遺物番号 実測図番号	調査区	遺構	種類 器種	口縁 最上径 O内径 (cm)	底径 最下径 O内径 (cm)	胎土 最上径 O内径 (cm)	残存	胎土質地	色調	調整
第76図9 R-39	松ノ本 B地点	トレンチ 4号中層	弥生土器 鉢	(28.2)	-	-	口縁部片	赤色粒子を含む	外明黄褐色 内淡黄	外ヨコナデ、ハケ目後ヨコナ デ、ハケ目 内ハケ目、ヨコナ デ
第76図10 R-171	松ノ本 B地点	トレンチ 1号西側 最下層	土師器 甕	(14.3)	-	-	口縁部片	-	灰黄褐色	外ヨコナデ、ややミガキがか かる。速く強い沈降が入る 内ミガキ、ヘラ調整
第76図11 R-169	松ノ本 B地点	トレンチ 1号覆土	土師器 甕	(5.8)	-	-	口縁部片	-	外明赤褐色 内淡黄褐色	外不明 内ヨコナデ
第76図12 R-43	松ノ本 B地点	トレンチ 3号覆土	弥生土器 甕	-	3.5	-	底部片	～3mm次の片岩・石英・ 角閃石の砂粒をやや多く 含む	にぶい黄褐色	外不明 内ヘラ調整
第76図13 R-168	松ノ本 B地点	トレンチ 1号覆土	土師器 甕	-	9.4	-	底部片	石英・角閃石を含む	外澄 内灰白	外指押えナデ 内ナデ
第76図14 R-36	松ノ本 B地点	トレンチ 4号最下 層	弥生土器 甕	-	(7.)	-	底部片	～4mm次の小石、石英・ 角閃石を含む	外澄 内暗褐色	外ハケ目、ヨコナデ、底部ナ デ 内不明
第76図15 R-172	松ノ本 B地点	トレンチ 2号覆土	縄文土器 甕	-	(7.2)	-	底部片	～2mm次の片岩・石英の 砂粒を含む	外にぶい黄褐色 内黒	外摩耗のため不明 内ナデ
第76図16 R-174	松ノ本 B地点	トレンチ 3号	土師器 甕	-	(9.)	-	底部片	～3mm次の石英、～1mm 次の角閃石を含む	外澄 内褐色	外摩耗のため不明 内不明
第76図17 R-173	松ノ本 B地点	トレンチ 3号	弥生土器 甕	-	(10.7)	-	底部片	～3mm次の片岩・石英の 砂粒を多く、赤色粒子も 含む	外にぶい黄褐色 内にぶい黄	外ハケ目後ヘラ調整摩耗し ている 内摩耗のため不明
第76図18 R-40	松ノ本 B地点	トレンチ 6号	弥生土器 高杯	-	(16.4)	-	底部片	～3mmの小石を含む	灰白	外ハケ目、摩耗、ナデ 内ナ デ
第76図19 R-41	松ノ本 B地点	トレンチ 6号下層	弥生土器 甕	-	(13.)	-	底部片	赤色粒子を含む	外澄 内灰白	外摩耗したハケ目、不明、ヨ コナデ 内不明
第76図20 R-167	松ノ本 B地点	表掘	土師器 甕	-	12.	-	底部片	石英・長石を少し含む	外澄 内明黄褐色	外摩耗したハケ目、不明 内 ナデ調整、ハケ目
第81図1 R-21	松ノ本 C地点	SK-01 覆土	弥生土器 甕	-	-	-	口縁部小 片	～1.5mm次の片岩・石英 の砂粒を多く、5mm次の石 英、赤色粒子も含む	灰黄	外ヨコナデ 内不明
第81図2 R-20	松ノ本 C地点	SK-01 覆土	弥生土器 甕	-	(8.1)	-	底部片	～2mm次の片岩・石英・ 角閃石の砂粒、4.5mm次の ものも僅かに含む	灰黄	内外共に不明
第81図3 R-23	松ノ本 C地点	P-03	縄文土器 鉢	(21.)	-	-	口縁部細 片	～2.5mm次の片岩・石英・ 角閃石の砂粒、5.5mm次の 石英も含む	外にぶい黄褐色 内にぶい黄褐色	外口縁部ナデ、キザミ目、ヨ コナデ、不明 内指押え
第81図4 R-22	松ノ本 C地点	SD-03 ④最下層	土師器 甕	(8.)	-	-	1/2片	赤色粒子を含む	外淡黄褐色 内灰白	外ヨコナデ、摩耗したハケ目 内ヘラ調整
第81図5 R-191	松ノ本 C地点	トレンチ 北側	須恵器 甕	-	-	-	底部、明 部片	やや精選されている、 ～1mm次の片岩の砂粒を含 む	灰	外帯線状文、速い2本の 沈降、カキ目後、体下部回転 ヘラズリ 内ヨコナデ、ナデ
第82図1 R-27	松ノ本 C地点	P-16	石製品 石包丁	3.7	9.	.5	-	-	灰白	-
第82図2 R-26	松ノ本 C地点	SD-03 覆土	石製品 磨石	8.6	6.8	-	-	-	灰	-
第87図1 R-146	松ノ本 E地点	SK-01	弥生土器 甕	(25.1)	-	-	口縁、胴 部片	～2mm次の片岩・石英の 砂粒、赤色粒子を含む	にぶい黄褐色	外口縁部付近ヨコナデ、摩 耗のため不明 内不明
第87図2 R-147	松ノ本 E地点	SK-01	弥生土器 甕	-	(7.3)	-	底部片	～3mm次の片岩・角閃石 の砂粒をやや多く含む	外にぶい黄褐色 内にぶい黄褐色	外摩耗のため不明 内不明
第87図3 R-148	松ノ本 E地点	SK-52	須恵器(生 産)	(13.4)	-	-	口縁部片	精選されている、～1mm 次の長石の砂粒を僅かに 含む、僅かに含む	にぶい黄	内外共に回転ナデ
第87図4 R-24	松ノ本 E地点	SD-01 ①覆土	土師器 甕	(16.)	-	-	口縁部片	石英・赤色粒子を多く含 む	黄	外摩耗したキザミ目、不明 内不明
第87図5 R-25	松ノ本 E地点	SD-03 ①覆土	土師器 甕	(18.5)	-	-	口縁部片	～3mm次の石英を含む	黄	外ハケ目 内ヘラ調整
第87図6 R-145	松ノ本 E地点	SD-13	土師器 甕	(13.8)	-	-	口縁部片	角閃石を含む	外淡黄褐色 内にぶい黄	外摩耗のため不明 内不明
第87図7 R-144	松ノ本 E地点	SD-13 ④	？ 甕	(16.4)	-	-	口縁部片	～1mm程度の長石を含む	黄	外不明、キザミ目 内摩耗の ため不明
第87図8 R-143	松ノ本 E地点	SD-13	土師器 甕	(20.8)	-	-	口縁部片	小石が多く混ざる	外黄褐色 内にぶい黄褐色	外口縁部ヨコナデ、ナデ 内 ヨコナデ
第87図9 R-142	松ノ本 E地点	SD-13 ④	弥生土器 甕	-	(9.)	-	底部片	～2.5mm次の片岩・石英 の砂粒を多く含む	にぶい黄褐色	外不明 内不明(指押え有)
第87図10 R-141	松ノ本 E地点	SD-13	土師器 甕	-	(18.)	-	底部片	角閃石を含む	にぶい黄褐色	外ハケ目、ナデ、ヨコナデ 内 ナデ、ハケ目後ヨコナデ

第1表 国伏遺跡・松ノ本遺跡 出土遺物観察表 (8/9)

母国 遺物番号 資料図番号	調査区	遺構	種類 器種	口径 最大径 O内は底元 (cm)	底径 最小径 O内は底元 (cm)	高さ 最大径 O内は底元 (cm)	残存	胎土質地	色調	調整
第87図11 R-138	松ノ本 E地点	SD-15	弥生土器 甕	・	(8.1)	・	底部辺	~4.5mm大の片岩・石英 長石の砂粒をやや多く 含む	外・明赤褐 内にぶい黄褐	外・ナデ 内・ナデ(指押え有)
第87図12 R-139	松ノ本 E地点	SD-14 ①	須恵器 坏蓋	(14.)	・	・	1/5	やや粗選されている。~ 2mm大の片岩の砂粒・赤 色粒子を含む	橙	外・不明、ヨコナデ 内・不明
第87図13 R-140	松ノ本 E地点	SD-14 ②	弥生土器 甕	(15.5)	・	・	口縁部片	~5mm大の片岩・石英、少 し小さめの長石をやや多 く含む	橙	外・ヨコナデ、ハケ目 内・ナデ、 厚底のため不明
第7図 R-503	松ノ本	K-04 上段	弥生土器 甕棺	(42.8)	・	(44.6)	口縁~胴 部片	~3mm大の片岩、雲母、 赤色粒子を含む	外・淡黄 内・灰白	外・ヨコナデ、ハケ目 内・ヨコ ナデ
第8図 R-135	松ノ本 A地点	SD-08 北側覆土	石製品 石融	2.2	1.3	.3				
第8図 R-2	松ノ本 A地点	SB-01	土師器 高坏	・	(11.9)	・	脚部片	~2mmの石英・砂粒を少 なく、赤色粒子も含む	外にぶい橙 内・橙	内外共に不明

第1表 国伏遺跡・松ノ本遺跡 出土遺物観察表 (9/9)

圖版

図版 1 国伏遺跡 1



1.国伏遺跡 全景 (西から)



2.国伏遺跡 1号竪穴住居 (SB01)(西から)



3.国伏遺跡 3号竪穴住居 (SB03)(南から)



4.国伏遺跡 4号竪穴住居 (SB04)(南西から)



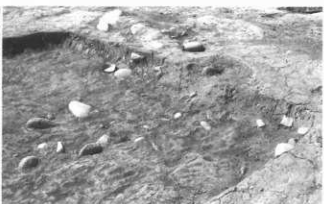
5.国伏遺跡 5号竪穴住居 (SB05)(西から)



6.国伏遺跡 6号竪穴住居 (SB06)(南から)



7.国伏遺跡 7・8号竪穴住居 (SB07・08)(東から)



8.国伏遺跡 7号竪穴住居 (SB07) カマド (南西から)

図版2 国伏遺跡2



1.国伏遺跡 8号竪穴住居 (SB08)(東から)



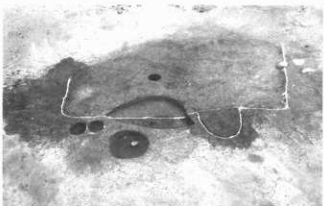
2.国伏遺跡 9号竪穴住居 (SB09)(南から)



3.国伏遺跡 10号竪穴住居 (SB10)(東から)



4.国伏遺跡 11号竪穴住居 (SB11)(西から)



5.国伏遺跡 12号竪穴住居 (SB12)(北から)



6.国伏遺跡 13号竪穴住居 (SB13)(西から)



7.国伏遺跡 1号土坑 (SK01)(東から)



8.国伏遺跡 1号溝状遺構 (SD01)(西から)

図版 3 松ノ本遺跡 1



1. 松ノ本遺跡 調査前 (東から)



2. 松ノ本遺跡 A 地点 全景 (南西から)



3. 松ノ本遺跡 A 地点 全景



4. 松ノ本遺跡 A 地点 1 号竪穴住居 (SB01) (南東から)



5. 松ノ本遺跡 A 地点 1 号竪穴住居 (SB01) (カマド) (南から)



6. 松ノ本遺跡 A 地点 1 号竪穴住居 (SB01) (南から) h



7. 松ノ本遺跡 A 地点 3 号竪穴住居 (SB03) (南東から)



8. 松ノ本遺跡 A 地点 3 号竪穴住居 (SB03) (南東から)

図版 4 松ノ本遺跡 2



1.松ノ本遺跡 A 地点 1 号土坑 (SK01)(南東から)



2.松ノ本遺跡 A 地点 4 号土坑 (SK04)(北から)



3.松ノ本遺跡 A 地点 4 号溝状遺構 (SD04)(北西から)



4.松ノ本遺跡 A 地点 6 号溝状遺構 (SD06)(西から)



5.松ノ本遺跡 A 地点 7 号溝状遺構 (SD07)(南西から)



6.松ノ本遺跡 A 地点 8 号溝状遺構 (SD08)(北から)



7.松ノ本遺跡 A 地点 9 号溝状遺構 (SD09)(南西から)



8.松ノ本遺跡 A 地点 10 号溝状遺構 (SD10)(南西から)

図版 5 松ノ本遺跡3



1.松ノ本遺跡A地点1号不明遺構(SX01 西側)(南東から)



2.松ノ本遺跡A地点1号不明遺構(SX01 中央付近)(南西から)



3.松ノ本遺跡A地点1号不明遺構(SX-01) 東側(南から)



4.松ノ本遺跡B地点 全景(西から)



5.松ノ本遺跡B地点 全景(南から)



6.松ノ本遺跡B地点1号竪棺(南から)



7.松ノ本遺跡B地点1号竪棺(北西から)



8.松ノ本遺跡B地点1号竪棺(南東から)

図版 6 松ノ本遺跡 4



1. 松ノ本遺跡 B 地点 2 号墓棺 (北西から)



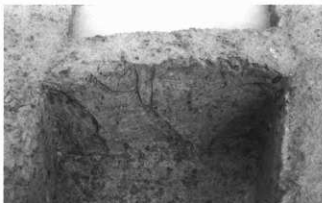
2. 松ノ本遺跡 B 地点 2 号墓棺 (北西から)



3. 松ノ本遺跡 B 地点 3 号墓棺 (南西から)



4. 松ノ本遺跡 B 地点 5 号墓棺 (北西から)



5. 松ノ本遺跡 B 地点 6 号墓棺 (南西から)



6. 松ノ本遺跡 B 地点 8 号墓棺 (南東から)

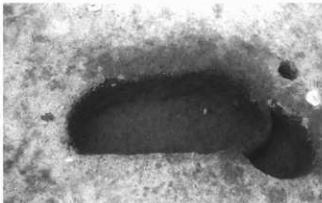


7. 松ノ本遺跡 B 地点 9 号墓棺 (南東から)



8. 松ノ本遺跡 B 地点 10 号墓棺 (西から)

図版 7 松ノ本遺跡 5



1. 松ノ本遺跡 B 地点 11 号墓 (北西から)



2. 松ノ本遺跡 B 地点 13 号墓 (南西から)



3. 松ノ本遺跡 B 地点 2 号土坑墓 (北西から)



4. 松ノ本遺跡 B 地点 7 号土坑墓 (南東から)



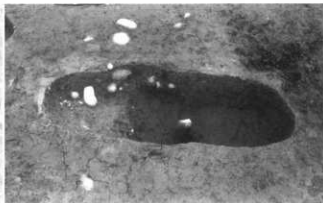
5. 松ノ本遺跡 B 地点 8 号土坑墓 (南西から)



6. 松ノ本遺跡 B 地点 8 号土坑墓 (南東から)



7. 松ノ本遺跡 B 地点 9 号土坑墓 (南東から)

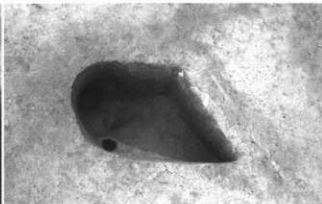


8. 松ノ本遺跡 B 地点 13 号土坑墓

図版 8 松ノ本遺跡 6



1. 松ノ本遺跡 B 地点 18 号土坑墓 (SK06)



2. 松ノ本遺跡 B 地点 19 号土坑墓 (SK09) (東から)



3. 松ノ本遺跡 B 地点 20 号土坑墓 (SK07)



4. 松ノ本遺跡 B 地点 22 号土坑墓 (SK08) (南から)



5. 松ノ本遺跡 B 地点 23 号土坑墓 (北西から)



6. 松ノ本遺跡 B 地点 24 号土坑墓 (北西から)



7. 松ノ本遺跡 B 地点 25 号土坑墓 (南西から)



8. 松ノ本遺跡 B 地点 26 号土坑墓 (SK12) (南東から)

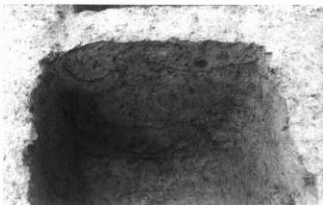
図版 9 松ノ本遺跡 7



1. 松ノ本遺跡 B 地点 30 号土坑墓 (SK29) (北西から)



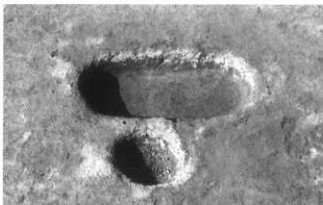
2. 松ノ本遺跡 B 地点 31 号土坑墓 (南西から)



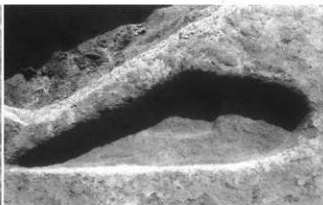
3. 松ノ本遺跡 B 地点 32 号土坑墓 (南西から)



4. 松ノ本遺跡 B 地点 32 号土坑墓 (北西から)



5. 松ノ本遺跡 B 地点 33 号土坑墓 (南東から)



6. 松ノ本遺跡 B 地点 34 号土坑墓 (北西から)

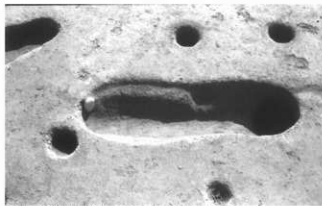


7. 松ノ本遺跡 B 地点 35 号土坑墓 (南東から)



8. 松ノ本遺跡 B 地点 36 号土坑墓 (北西から)

図版 10 松ノ本遺跡 8



1. 松ノ本遺跡 B 地点 37 号土坑墓 (北西から)



2. 松ノ本遺跡 B 地点 39 号土坑墓 (北西から)



3. 松ノ本遺跡 B 地点 41 号土坑墓 (南西から)



4. 松ノ本遺跡 B 地点 41 号土坑墓 (北西から)



5. 松ノ本遺跡 B 地点 42 号土坑墓 (南西から)



6. 松ノ本遺跡 B 地点 42 号土坑墓 (南東から)



7. 松ノ本遺跡 B 地点 43 号土坑墓 (南東から)



8. 松ノ本遺跡 B 地点 44 号土坑墓 (西から)

図版 11 松ノ本遺跡9



1.松ノ本遺跡B地点45号土坑墓(南西から)



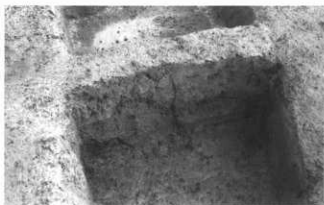
2.松ノ本遺跡B地点45号土坑墓(南東から)



3.松ノ本遺跡B地点46号土坑墓(北西から)



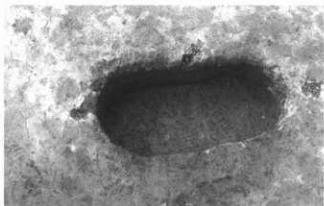
4.松ノ本遺跡B地点46号土坑墓(北西から)



5.松ノ本遺跡B地点47号土坑墓(南西から)



6.松ノ本遺跡B地点47号土坑墓(南東から)

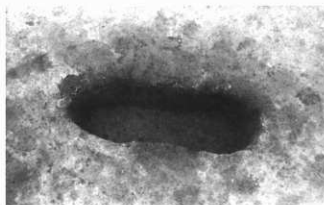


7.松ノ本遺跡B地点48号土坑墓(東から)



8.松ノ本遺跡B地点48号土坑墓(南東から)

図版 12 松ノ本遺跡 10



1. 松ノ本遺跡 B 地点 50 号土坑墓



2. 松ノ本遺跡 B 地点 51 号土坑墓 (東から)



3. 松ノ本遺跡 B 地点 1 号土坑 (SK01) (南西から)



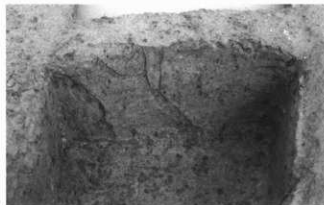
4. 松ノ本遺跡 B 地点 1 号土坑 (SK01) (北東から)



5. 松ノ本遺跡 B 地点 2 号土坑 (SK02) (東から)



6. 松ノ本遺跡 B 地点 2 号土坑 (SK02) (北東から)



7. 松ノ本遺跡 B 地点 4 号土坑 (SK04)



8. 松ノ本遺跡 B 地点 5 号土坑 (SK05)

図版 13 松ノ本遺跡 11



1.松ノ本遺跡 B 地点 16 号土坑 (SK16)(北西から)



2.松ノ本遺跡 B 地点 1 号溝状遺構 (SD01)(南から)



3.松ノ本遺跡 B 地点 2 号溝状遺構 (SD02)



4.松ノ本遺跡 B 地点 5 号溝状遺構 (SD05)(北西から)



5.松ノ本遺跡 B 地点 8 号溝状遺構 (SD08)(南西から)



6.松ノ本遺跡 B 地点 15 号溝状遺構 (SD15)(北西から)

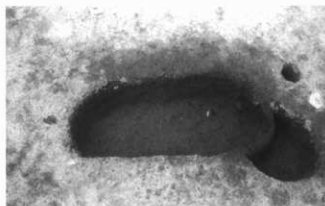


7.松ノ本遺跡 B 地点 1 号不明遺構 (SX01)(南西から)

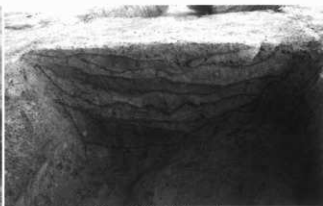


8.松ノ本遺跡 B 地点 3 号不明遺構 (SX03)

図版 14 松ノ本遺跡 12



1. 松ノ本遺跡 B 地点 3 号不明遺構 (SX03)(北西から)



2. 松ノ本遺跡 C 地点 3 号溝状遺構 (SD03)



3. 松ノ本遺跡 D 地点 全景 (南東から)



4. 松ノ本遺跡 D 地点 全景 (南から)



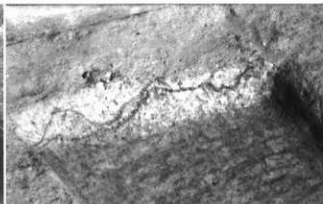
5. 松ノ本遺跡 D 地点 1 号土坑 (SK01)



6. 松ノ本遺跡 D 地点 1 号土坑 (SK01)(西から)



7. 松ノ本遺跡 D 地点 2 号溝状遺構 (SD02)



8. 松ノ本遺跡 D 地点 5 号溝状遺構 (SD05)

図版 15 松ノ本遺跡 13



1. 松ノ本遺跡 D 地点 10 号溝状遺構 (SD10) (南西から)



2. 松ノ本遺跡 E 地点 全景



3. 松ノ本遺跡 E 地点 波板状遺構 (南から)



4. 松ノ本遺跡 E 地点 波板状遺構 (北から)



5. 松ノ本遺跡 E 地点 1 号溝状遺構 (SD01)



6. 松ノ本遺跡 E 地点 1・3・9・10 号溝状遺構 (SD1・3・9・10) (南西から)



7. 松ノ本遺跡 E 地点 11 号溝状遺構 (SD11) (南から)



8. 松ノ本遺跡 E 地点 12・13 号溝状遺構 (SD12・13) (南東から)

図版 16 国伏遺跡 出土遺物 1



1.国伏遺跡 9 図4



7.国伏遺跡 18 図1



2.国伏遺跡 11 図1



8.国伏遺跡 18 図2



3.国伏遺跡 11 図2



9.国伏遺跡 18 図5



4.国伏遺跡 13 図1



10.国伏遺跡 18 図6



5.国伏遺跡 13 図2



11.国伏遺跡遺跡 18 図10



6.国伏遺跡 13 図6



12.国伏遺跡 18 図11

図版 17 国伏遺跡 出土遺物 2



1.国伏遺跡 21 図2



6.国伏遺跡 24 図4



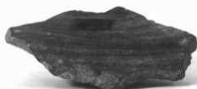
2.国伏遺跡 21 図3



7.国伏遺跡 24 図6



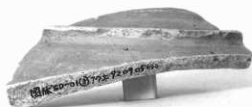
3.国伏遺跡 21 図4



8.国伏遺跡 24 図7



4.国伏遺跡 21 図5



9.国伏遺跡 24 図8



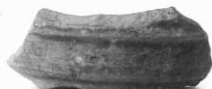
10.国伏遺跡 24 図9



11.国伏遺跡 24 図13



5.国伏遺跡 23 図2



12.国伏遺跡 24 図15



1.国伏遺跡 25 図 16



6.国伏遺跡 28 図 1



2.国伏遺跡 25 図 18



7.国伏遺跡 28 図 2



3.国伏遺跡 25 図 19



8.国伏遺跡 30 図 2



4.国伏遺跡 25 図 21



9.国伏遺跡 33 図 13



5.国伏遺跡 25 図 27

図版 19 松ノ本遺跡 出土遺物 1



1.松ノ本遺跡 9図1



6.松ノ本遺跡 34図1



2.松ノ本遺跡 9図7



7.松ノ本遺跡 34図3



3.松ノ本遺跡 33図3



4.松ノ本遺跡 33図5



5.松ノ本遺跡 33図11



8.松ノ本遺跡 34図4



1.松ノ本遺跡 37 遺跡 2



6.松ノ本遺跡 42 図 2



2.松ノ本遺跡 37 図 4



3.松ノ本遺跡 37 図 14



7.松ノ本遺跡 42 図 4



4.松ノ本遺跡 41 図 3



5.松ノ本遺跡 41 図 11



8.松ノ本遺跡 43 図 2



9.松ノ本遺跡 43 図 3



10.松ノ本遺跡 44 図 1

図版 21 松ノ本遺跡 出土遺物 3



1. 松ノ本遺跡 44 図 3



2. 松ノ本遺跡 46 図



3. 松ノ本遺跡 47 図 4



4. 松ノ本遺跡 47 図 5



5. 松ノ本遺跡 3号甕棺 上:上甕 下:下甕



3. 松ノ本遺跡 3号墓棺 上壁



1. 松ノ本遺跡 2号墓棺



4. 松ノ本遺跡 4号墓棺 上壁



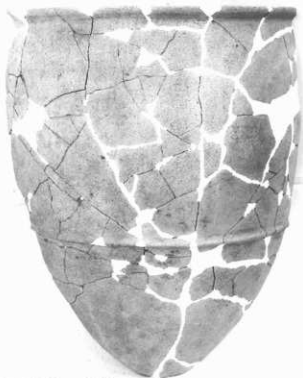
2. 松ノ本遺跡 2号墓棺墓出土遺物



1. 松ノ本遺跡 5号甕棺 下壁



3. 松ノ本遺跡 8号甕棺 下壁



2. 松ノ本遺跡 6号甕棺 下壁



1. 松ノ本遺跡 9号甕棺 上: 上甕 下: 下甕



2. 松ノ本遺跡 10号甕棺 上: 上甕 下: 下甕

図版 25 松ノ本遺跡 出土遺物 6



1. 松ノ本遺跡 11号甕棺



4. 松ノ本遺跡 66図1



2. 松ノ本遺跡 12号甕棺



5. 松ノ本遺跡 66図5



3. 松ノ本遺跡 13号甕棺



6. 松ノ本遺跡 66図10



7. 松ノ本遺跡 71図



1. 松ノ本遺跡 74 図 2



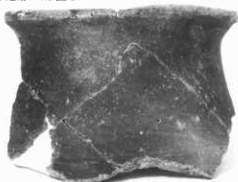
2. 松ノ本遺跡 74 図 6



3. 松ノ本遺跡 76 図 3



4. 松ノ本遺跡 76 図 9



5. 松ノ本遺跡 76 図 10



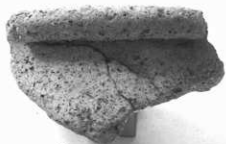
6. 松ノ本遺跡 81 図 3



7. 松ノ本遺跡 81 図 4



1. 松ノ本遺跡 81 図 5



4. 松ノ本遺跡 87 図 6



5. 松ノ本遺跡 87 図 12



2. 松ノ本遺跡 82 図 1



3. 松ノ本遺跡 87 図 4

報告書抄録

ふりがな	やめしないいせきぐん							
書名	八女市内遺跡群16							
副書名	福岡県八女市酒井田・柳瀬所在遺跡の調査報告書							
巻次								
シリーズ名	八女市文化財調査報告書							
シリーズ番号	第124集							
編著者名	永田 寧(ながた やすし)							
編集機関	八女市教育委員会							
所在地	〒834-8585 福岡県八女市本町647 TEL 0943-23-1982							
発行年月日	西暦2019年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査 原因
		市町村	遺跡番号	° ' "	° ' "			
佐々木 国伏	福岡県 八女市 酒井田	40210	406005-12	33° 11' 14"	130° 32' 00"	平成4年8月10日～平成4年10月2日	約2,300	圃場 整備
まつ 松ノ本	A地点		406013-04	33° 11' 45"	130° 33' 45"	平成5年7月5日～平成5年9月16日	約1,600	
	B地点		-05 33° 11' 41"	130° 33' 44"	平成5年10月25日～平成6年1月31日	約2,800		
	C地点		-06 33° 11' 43"	130° 33' 44"	平成5年10月23日～平成5年11月16日	約1,500		
	D地点		-07 33° 11' 46"	130° 33' 45"	平成5年12月3日～平成5年12月22日	約500		
	E地点		-08 33° 11' 45"	130° 33' 47"	平成6年1月25日～平成6年2月22日	約1,900		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項		
佐々木 国伏	集落	古墳時代	竪穴住居 土坑 掘立柱建物		須恵器 土師器			
まつ 松ノ本	A地点	集落	古墳時代	竪穴住居 土坑		須恵器 土師器		
	B地点	墓地	弥生時代	甕棺墓 土壇墓 土坑		弥生土器		
	C地点	集落	弥生～古墳	土坑 溝状遺構		須恵器 土師器		
	D地点	集落		溝状遺構				
	E地点	集落	弥生～古墳	波板状遺構		須恵器 土師器		
要約	B地点では土壇墓・甕棺墓列がまとまった形で検出できたが、周辺に弥生時代の集落は無く、墓地と考えられる。E地点では波板状遺構が検出された。							

八女市内遺跡群 16
八女市文化財調査報告書
第124集

平成31年3月31日

発行 八女市教育委員会
八女市本町 647
印刷 (株) 東 兄 弟
八女市祈祷院 563